



LIXIL

フーゴF 2台用3台用 異形対応

取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

▲ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補足

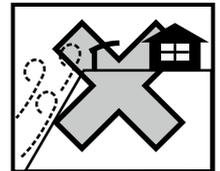
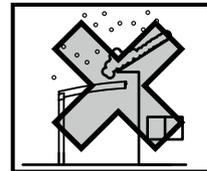
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

▲ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪(新雪)20cm(600N/m²)を超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。



お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離はくりのおそれがあります。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- ・フーゴF 2台用3台用 異形対応を施工する場合は、本取付説明書と合わせて下記の取付説明書もご確認ください。
 - ※「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書(D588)」
 - ※「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書(D680)」

<基礎工事について>

⚠ 注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

<施工上のご注意>

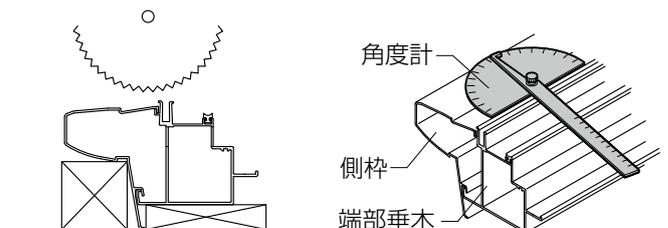
⚠ 注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に堅樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。堅樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にはゆるみがないか確認してください。
※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm） ※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・形材を切断する際は、形材の向きを考慮してください。
- ・形材を切断する際は、当て木（角材）を使用し、安定する状態で行なってください。
- ・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所にあてがいけがいてください。



<施工の後に>

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。

INDEX

■ 複合異形 組み合わせ可否	4	■ ブラケットと梁の組立て	48
■ 梱包明細表	5	■ 4 端部垂木固定金具の取付け	49
■ 正面台形	7	■ 5 端部垂木・前枿・後枿の取付け	49
■ 施工の流れ	7	■ 6 前枿コーナーキャップの取付け	50
■ 各部の名称	7	■ 7 後枿コーナーキャップの取付け	50
■ 施工制限	8	■ 入隅	51
■ 1 部材の加工	9	■ 施工の流れ	51
□ 前枿側 正面台形	9	■ 各部の名称	52
□ 後枿側 正面台形	16	■ 施工制限	54
■ 2 前枿コーナーキャップの取付け	23	■ 確認事項	55
■ 3 後枿コーナーキャップの取付け	23	■ 1 部材の加工	57
■ 4 中骨の取付け	23	■ 2 端部垂木・垂木の取付け(切詰め側)	71
■ 側面台形	24	■ 3 前枿・後枿・側枿の取付け(切詰め側)	74
■ 施工の流れ	24	■ 4 対角寸法の確認(切詰め側)	74
■ 各部の名称	24	■ 5 中骨・屋根材・垂木カバー・側枿カバーの取付け(切詰め側)	75
■ 施工制限	25	■ 6 側枿連結材の仮置き	76
■ 1 基礎位置の墨出し	26	■ 7 基本側の屋根の取付け	77
■ 2 部材の加工	27	■ 8 屋根連結部の施工	78
□ 前枿側切詰め	27	■ 9 竪樋の取付け	80
□ 後枿側切詰め	38		

表示マーク



前枿側 正面台形
施工の場合



後枿側 正面台形
施工の場合



前枿側 側面台形
施工の場合



後枿側 側面台形
施工の場合



シーリング箇所

複合異形に関する注意事項

- 2つの異形種類を組み合わせると複合異形にする場合、下記に注意してください。
- ・ 各部材の加工は各異形種類の項目の加工説明を参照してください。
 - ・ 加工が全て完了してから、組付けを行ってください。
 - ・ 同じ部材を2度加工することがありますので、部材の方向や使い分けに十分注意してください。

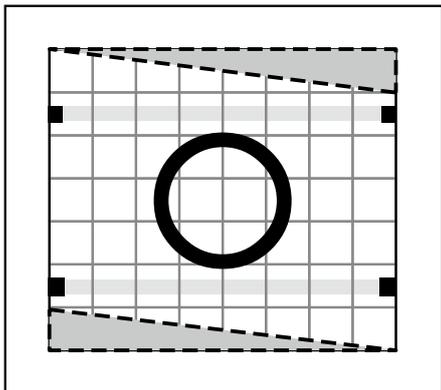
複合異形 組み合わせ可否

■複合異形が可能な組み合わせ

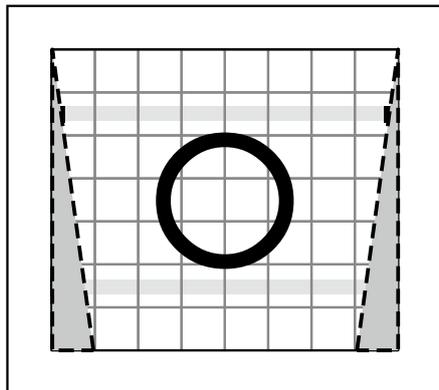
・異形対応同士が異なる面であり干渉しないこと  : 異形対応範囲

補 足

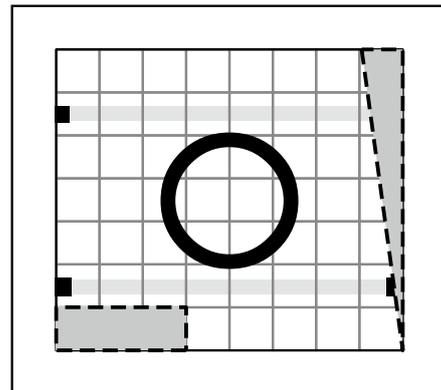
・3台用は正面台形には対応していません。



正面台形
+
正面台形



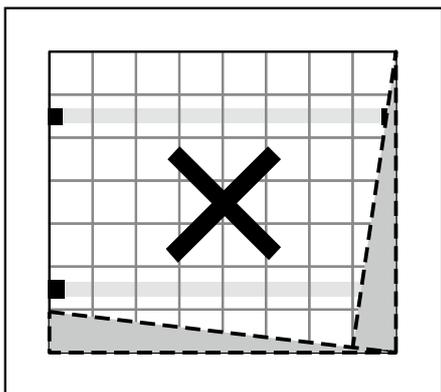
側面台形
+
側面台形



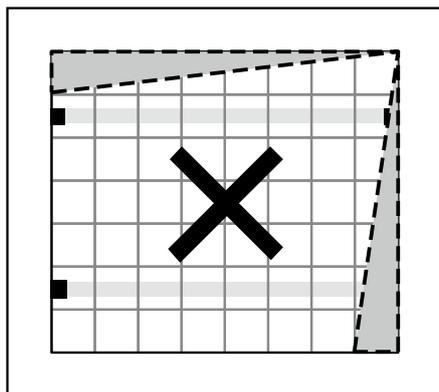
側面台形
+
入隅

■複合異形が不可能な組み合わせ

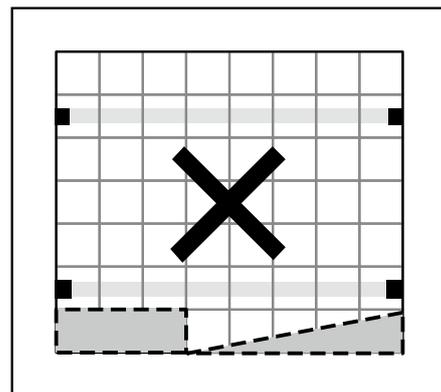
・異形対応同士が接続し干渉する場合  : 異形対応範囲



正面台形
+
側面台形

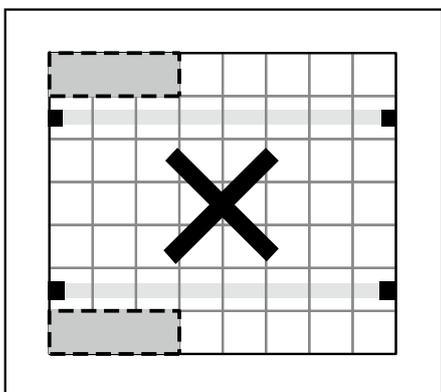


正面台形
+
側面台形



正面台形
+
入隅

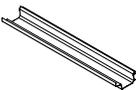
・2カ所以上の入隅



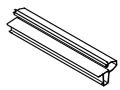
入隅
+
入隅

梱包明細表

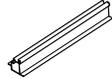
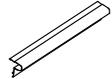
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】正面台形（前枠側）異形対応 前枠セット		
名称	略 図	員 数
前枠・異形用		1

【2】正面台形（前枠側）異形対応 台形部品セット		
名称	略 図	員 数
穴隠しシール（φ15）		4
【2-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種		5
取付説明書〈D600〉	—	1

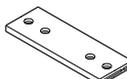
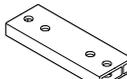
【3】正面台形（後枠側）異形対応 後枠セット		
名称	略 図	員 数
後枠・異形用		1
後枠屋根材受け・異形用		1

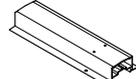
【4】正面台形（後枠側）異形対応 台形部品セット		
名称	略 図	員 数
穴隠しシール（φ15）		4
【4-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種		5
取付説明書〈D600〉	—	1

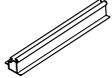
【5】側面台形 異形対応 側枠セット		
名称	略 図	員 数
端部垂木・異形用		1
側枠・異形用		1
側枠カバー・異形用		1

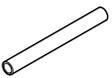
【6】側面台形 異形対応 台形部品セット		
名称	略 図	員 数
穴隠しシール（φ15）		4
【6-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種		5
取付説明書〈D600〉	—	1

【7】連結部材セット		
名称	略 図	員 数
側枠連結材 上		1
側枠連結材 下		1

【8】異形対応 入隅部品セット		員 数	
名称	略 図	W48~60	W72~78
92° エルボ（φ60）		2	—
でんでん（φ60）		3	—
ドレンエルボ（φ60）		1	—
雨樋アタッチメント		1	—
雨樋パッキン		2	1
雨樋穴ふさぎキャップ		1	1
後枠コーナーキャップ		左右各1	左右各1
前枠コーナーキャップ		左右各1	左右各1
端部垂木固定金具		4	4
束A 6mm		—	2
束B 12mm		—	2
屋根連結端部キャップ		2	2
梁スペーサー端部キャップ		—	8
【8-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種		32	154
【8-2】φ4×13ナベドリルネジ		10	10
【8-3】φ4×16ナベドリルネジ		6	—
取付説明書〈D600〉	—	1	1

【9】梁スペーサーセット		
名称	略 図	員 数
梁スペーサーA		1
梁スペーサーB		1

【10】側枠セット		員数
名称	略図	
側枠カバー		2
端部垂木		左右各1
側枠		2

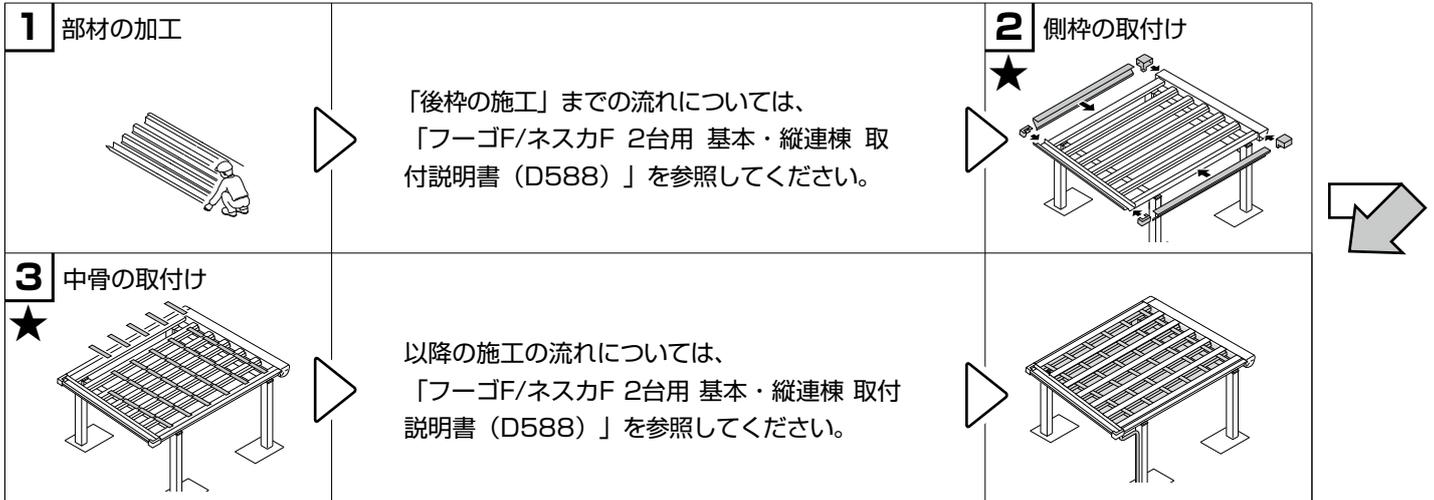
【11】 縦樋セット		員数
名称	略図	
縦樋φ60 L=3000		1

正面台形

施工の流れ

お願い

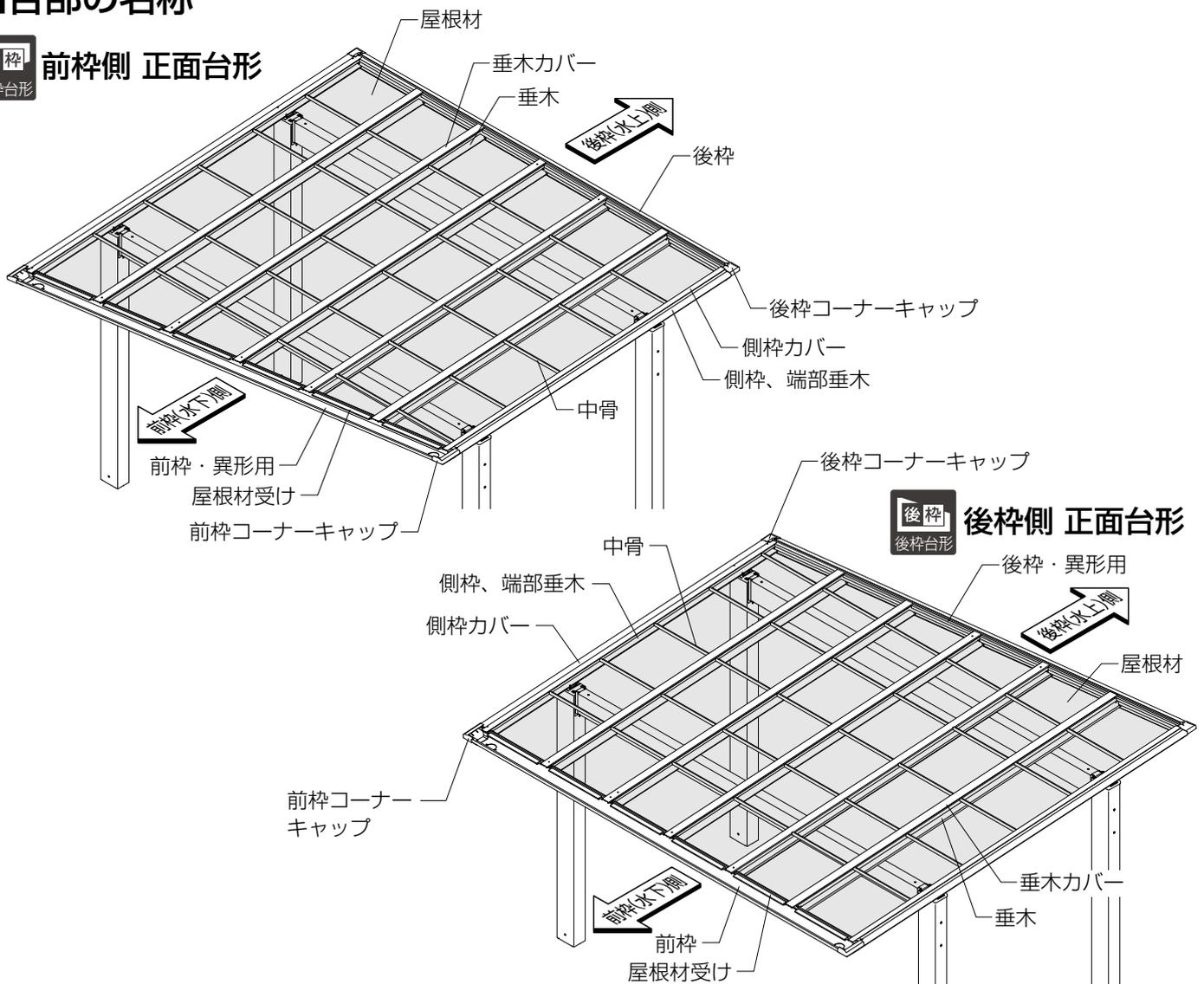
「★」記載されている手順は本書と【フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)】を参照して施工を行ってください。



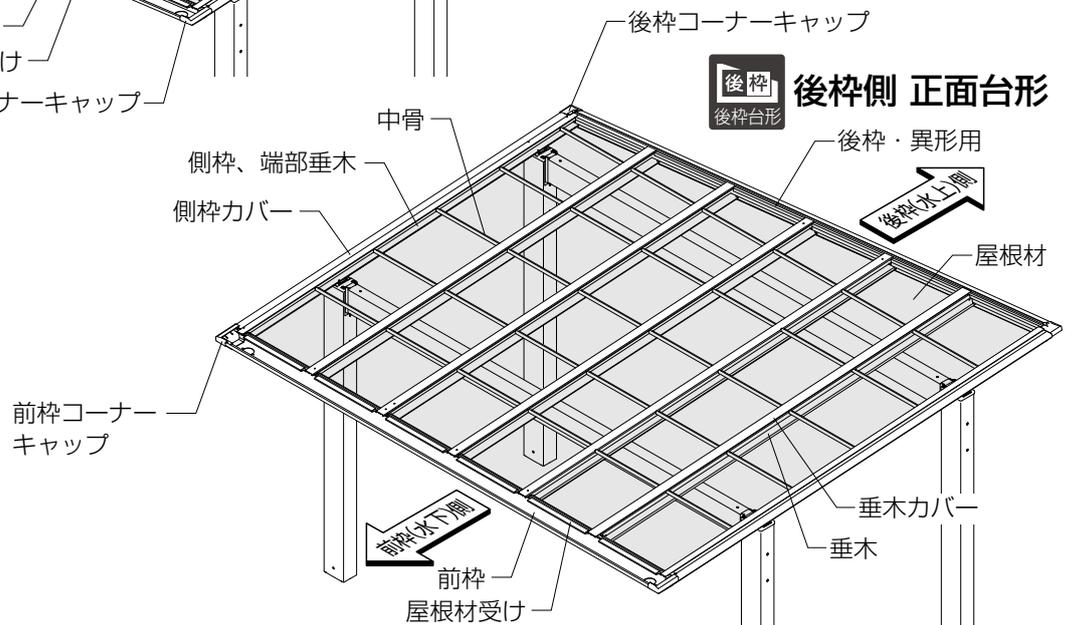
各部の名称



前枠側 正面台形



後枠側 正面台形



■ 施工制限

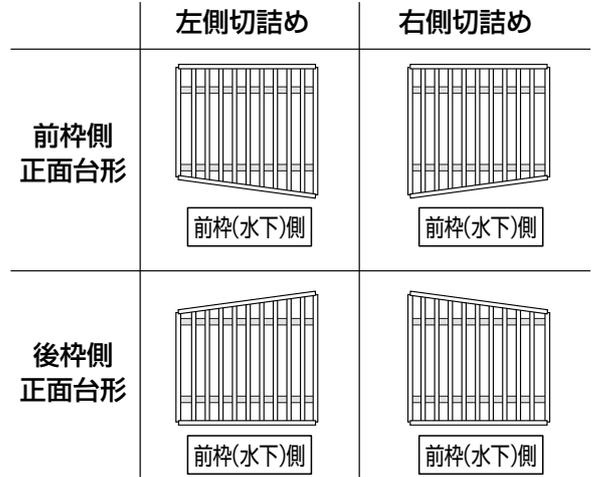
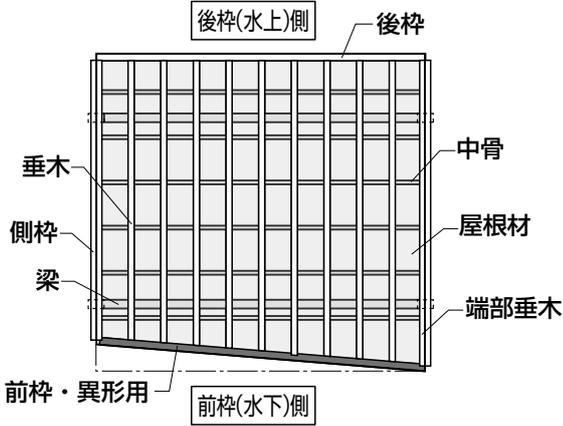
お願い

下記の内容を確認の上、必ずお守りください。

□ 用語、部材名称について

補足

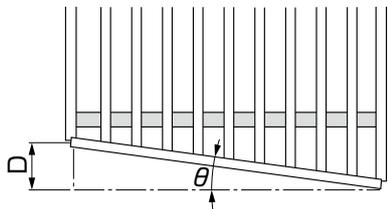
・本手順では各部品の名称および用語を下図のように示します。



□ 傾斜角の選定について

お願い

・表を目安として最適な傾斜角 (θ) を選定してください。



奥行：L50

θ	D		
	W48	W54	W60
1°	80	90	100
2°	170	190	210
3°	250	280	310
4°	340	380	420
5°	420	470	530
6°	510	570	630
7°	590	670	740
8°	680	760	-
9°	760	-	-

奥行：L54

θ	D		
	W48	W54	W60
1°	80	90	100
2°	170	190	210
3°	250	280	310
4°	340	380	420
5°	420	470	530
6°	510	570	630
7°	590	670	740
8°	680	760	840
9°	760	860	-
10°	850	-	-

奥行：L57

θ	D		
	W48	W54	W60
1°	80	90	100
2°	170	190	210
3°	250	280	310
4°	340	380	420
5°	420	470	530
6°	510	570	630
7°	590	670	740
8°	680	760	840
9°	760	860	950
10°	850	960	-
11°	940	-	-

□ 切詰めについて

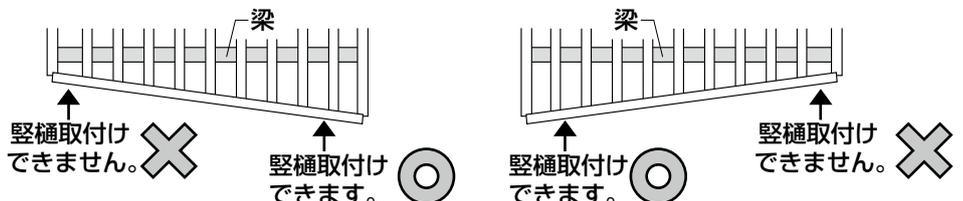
お願い

・梁を越えての施工はできません。



・前枠側正面台形の場合、縦樋は切詰めしない側のみに取付け可能です。

【前枠側正面台形】の場合の作業です。

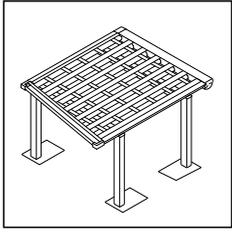


1 部材の加工

前枠側 正面台形

(1) 全体配置確認

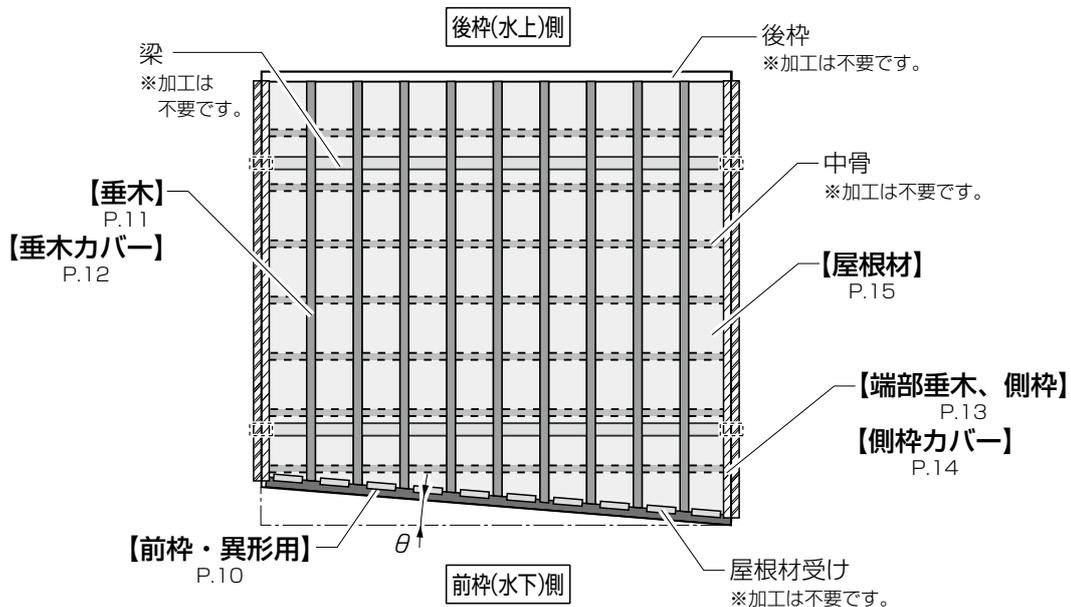
前枠
前枠台形
本項目は【前枠側 正面台形】の場合の作業です。



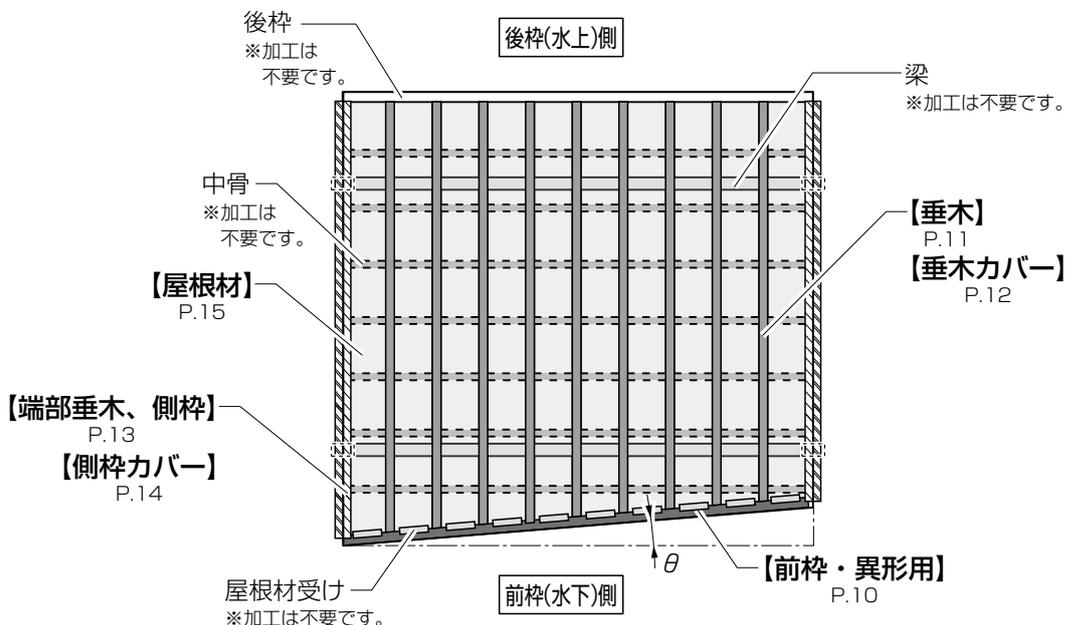
お願い

- ・前枠側 正面台形には前枠側から見て、[右側切り詰め] [左側切り詰め] があります。形材の切断する向きと部材の配置を確認して、加工を行なってください。
- ・前枠側 正面台形を施工の場合は【前枠・異形用】【垂木】【垂木カバー】【屋根材】【端部垂木】【側枠】【側枠カバー】の加工が必要です。

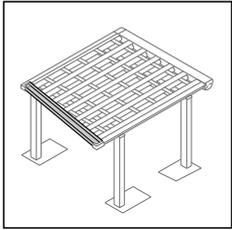
【左側切り詰め】の場合



【右側切り詰め】の場合



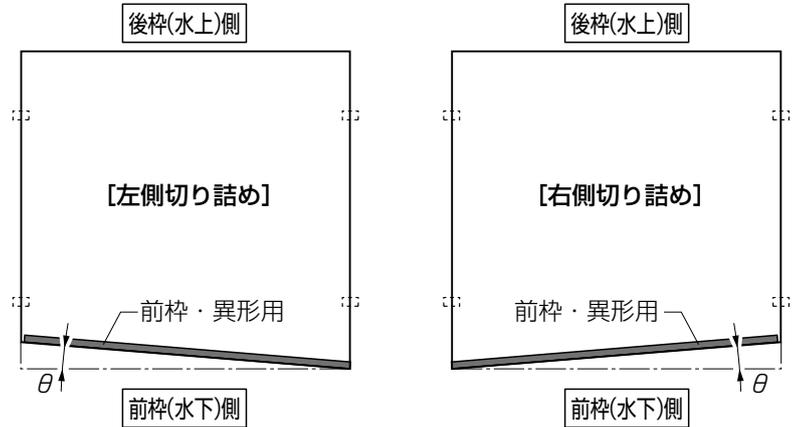
(2) 前枠・異形用の加工



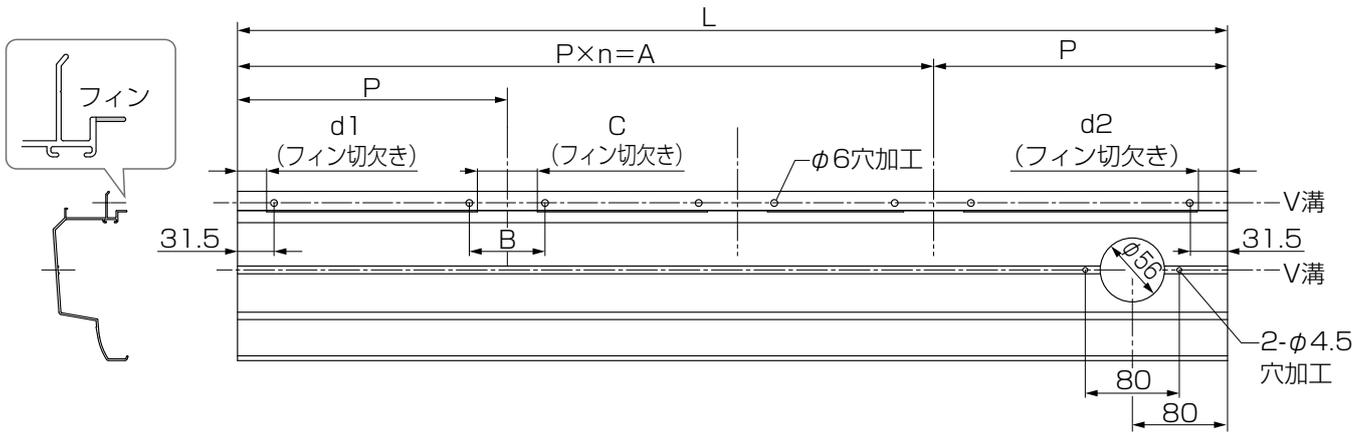
①前枠を加工してください。

お願い

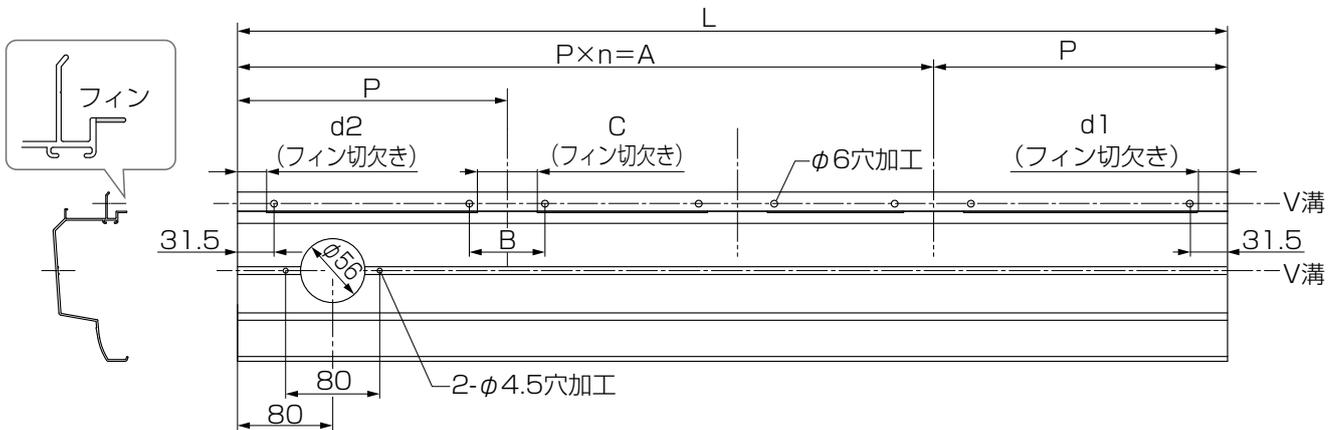
加工後に、標準の前枠に付いている「屋根材受け」を外し、前枠・異形用に付け替えてください。



[左側切り詰め] の場合

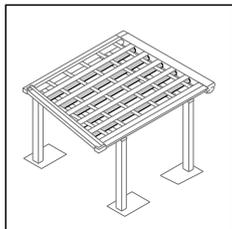


[右側切り詰め] の場合



間口 θ	W48				W54				W60				共通			
	L	P	n	A	L	P	n	A	L	P	n	A	B	C	d1	d2
1°	4721	590.1	7	4130.4	5311	590.1	8	4720.5	5901	590.1	9	5310.6	63	52	26	25.5
2°	4723	590.3	7	4132.3	5313	590.3	8	4722.7	5904	590.3	9	5313.0	63	52	26	25.5
3°	4726	590.8	7	4135.5	5317	590.8	8	4726.3	5908	590.8	9	5317.1	63	52	26	25.5
4°	4731	591.4	7	4139.8	5323	591.4	8	4731.3	5914	591.4	9	5322.7	63	53	26.5	25.5
5°	4738	592.2	7	4145.5	5330	592.2	8	4737.7	5922	592.2	9	5330.0	63	53	26.5	25
6°	4746	593.2	7	4152.4	5339	593.2	8	4745.7	5932	593.2	9	5338.9	63	53	26.5	25
7°	4755	594.4	7	4160.6	5349	594.4	8	4755.1	5944	594.4	9	5349.5	63	54	27	25
8°	4766	595.7	7	4170.1	5362	595.7	8	4765.9	5957	595.7	9	5361.7	64	54	27	25
9°	4778	597.3	7	4181.0	5375	597.3	8	4778.3	5973	597.3	9	5375.7	64	54	27	25
10°	4792	599.0	7	4193.1	5391	599.0	8	4792.2	-	-	-	-	64	55	27.5	25
11°	4807	601.0	7	4207.0	-	-	-	-	-	-	-	-	64	55	27.5	25

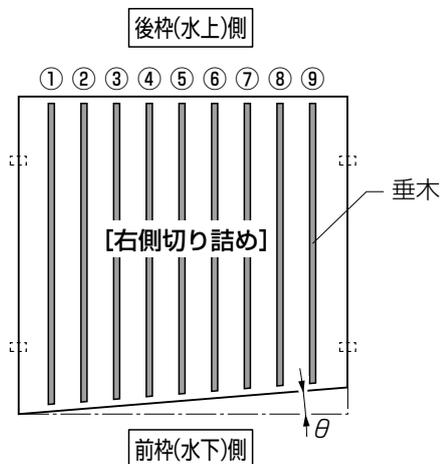
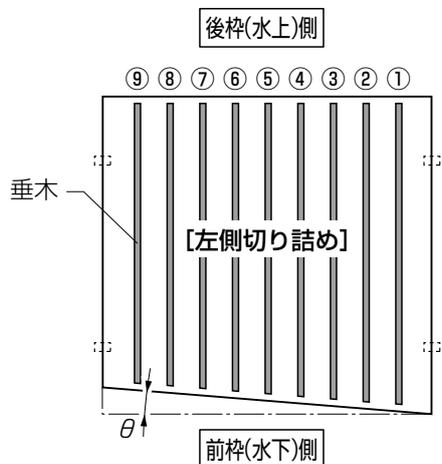
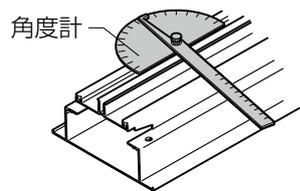
(3) 垂木の加工



①垂木を加工してください。

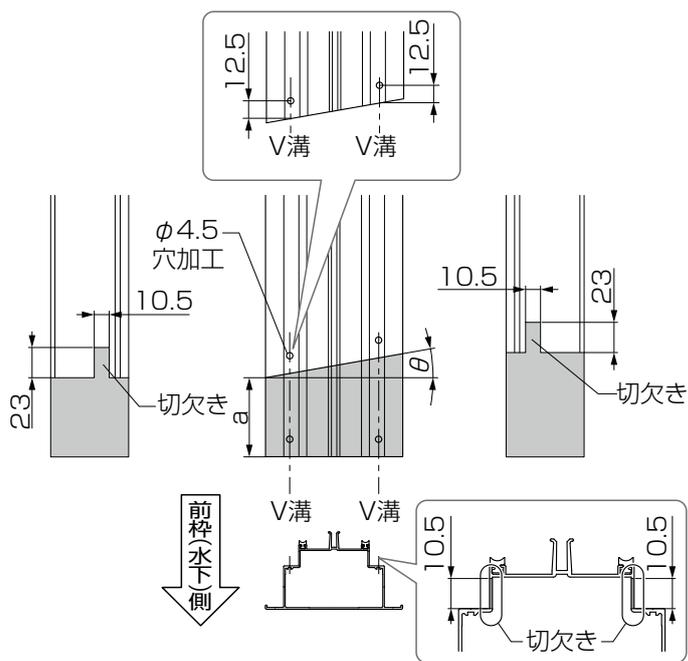
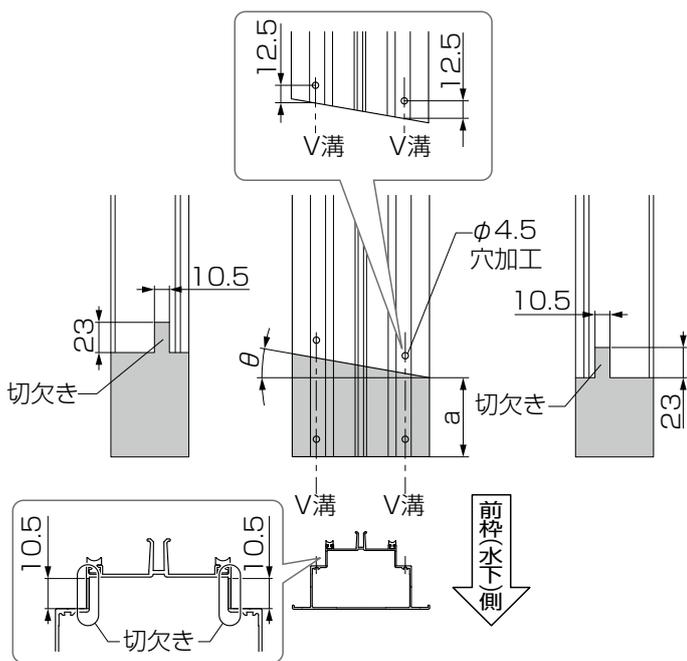
お願い

- ・切欠きのある方を加工してください。
- ・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所に当てがい、けがいてください。



[左側切り詰め] の場合

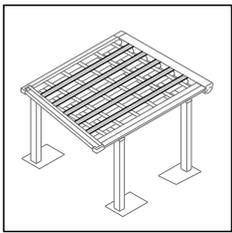
[右側切り詰め] の場合



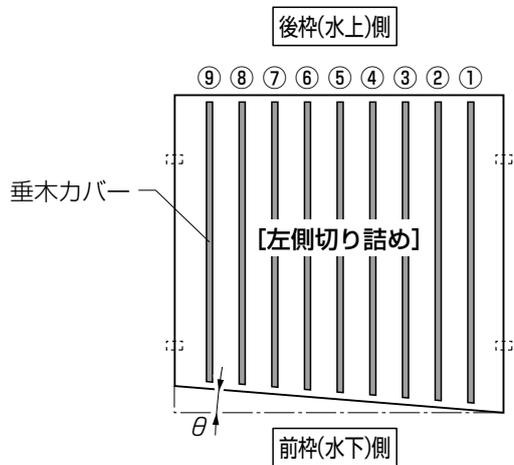
θ	a								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1°	15	26	36	46	57	67	77	87	98
2°	26	46	67	88	108	129	149	170	191
3°	36	67	98	129	160	191	222	253	284
4°	47	88	129	170	212	253	294	335	377
5°	57	109	160	212	264	315	367	418	470
6°	68	130	192	254	316	378	440	502	564
7°	78	150	223	295	368	440	513	585	658
8°	89	172	254	337	420	503	586	669	752
9°	99	193	286	380	473	566	660	753	847
10°	110	214	318	422	526	630	734	838	—
11°	121	235	350	465	579	694	809	923	—

※W48サイズは ~⑦までとなります。
 ※W54サイズは ~⑧の10°までとなります。

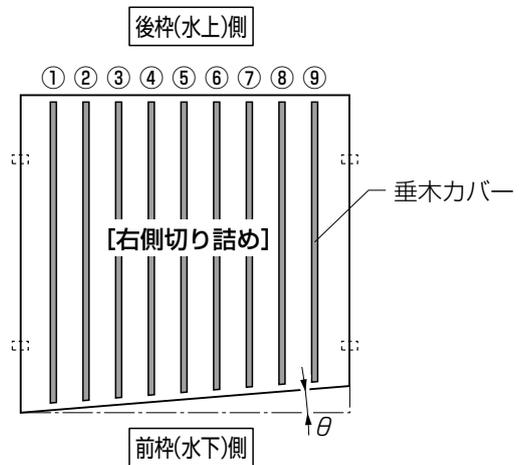
(4) 垂木カバーの加工



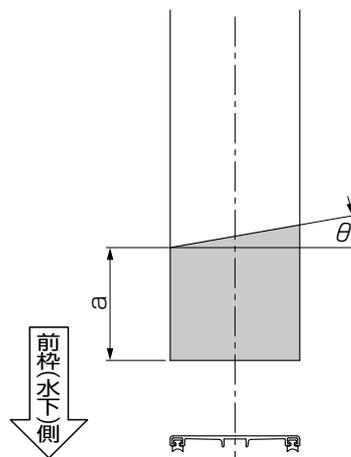
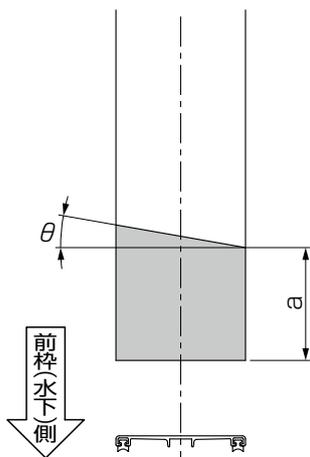
①垂木カバーを加工してください。



[左側切り詰め] の場合

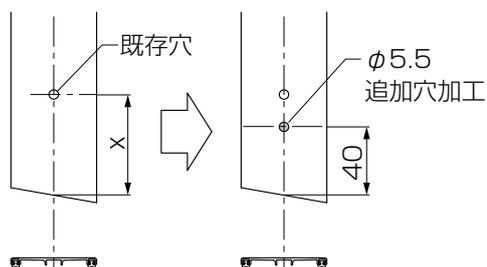


[右側切り詰め] の場合



お願い

切断面から1つ目のφ5.5穴の位置 (x) が、35mm～50mmの範囲にない場合、40mmの位置に追加穴加工してください。35mm以下の範囲にある穴は使用しません。コーキングで埋めてください。

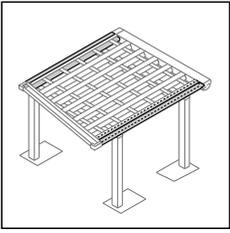


θ	a								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1°	16	26	36	47	57	67	78	88	98
2°	27	47	68	88	109	130	150	171	191
3°	37	68	99	130	161	192	223	254	285
4°	48	89	131	172	213	254	296	337	378
5°	59	111	162	214	266	317	369	420	472
6°	70	132	194	256	318	380	442	504	566
7°	81	153	226	298	371	443	515	588	660
8°	92	175	258	341	423	506	589	672	755
9°	103	196	290	383	477	570	663	757	850
10°	114	218	322	426	530	634	738	842	—
11°	125	240	354	469	584	698	813	928	—

※W48サイズは～⑦までとなります。

※W54サイズは～⑧の10°までとなります。

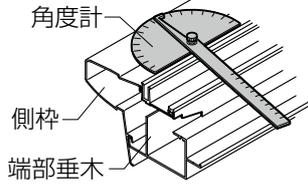
(5) 端部垂木、側枠の加工



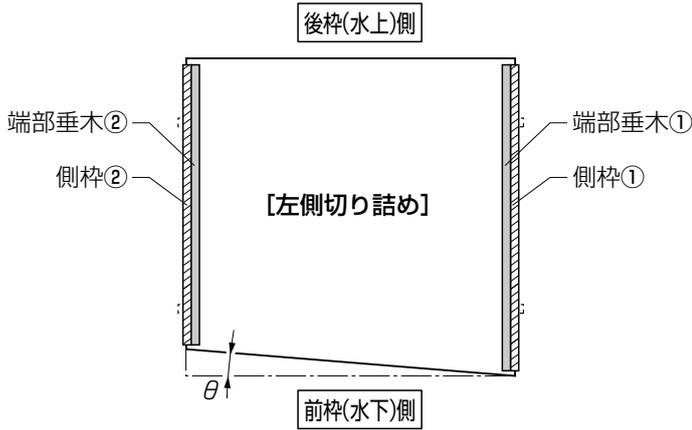
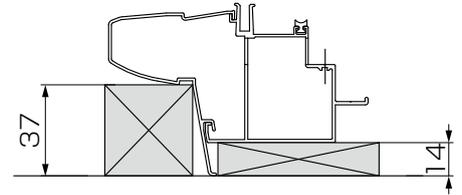
①端部垂木、側枠を加工してください。

お願い

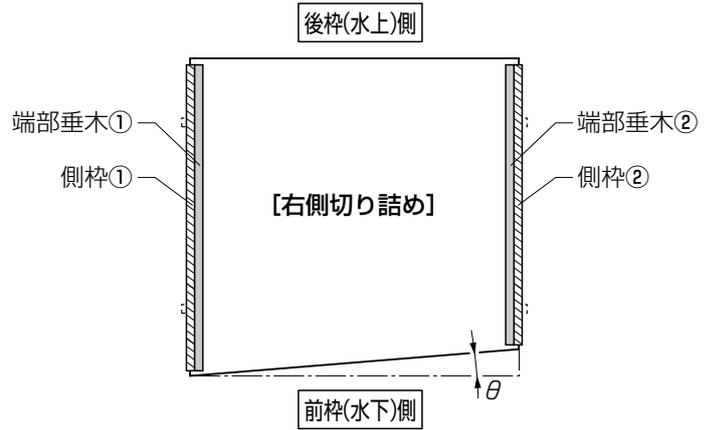
- ・切欠きのある方を加工してください。
- ・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所に当てがい、けがいてください。



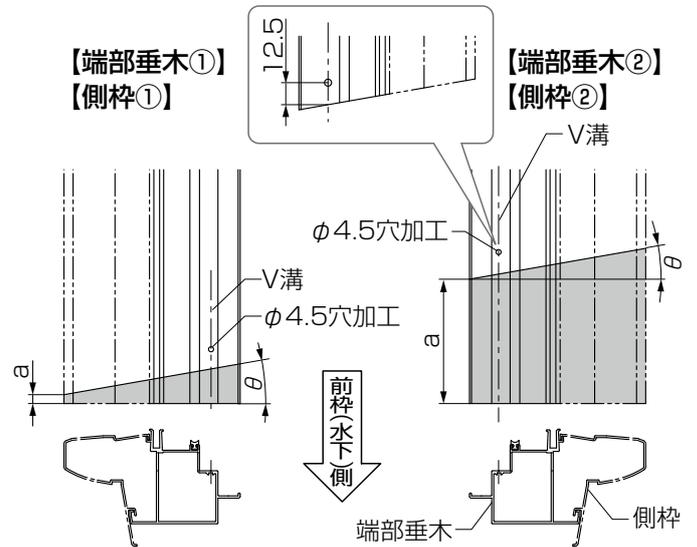
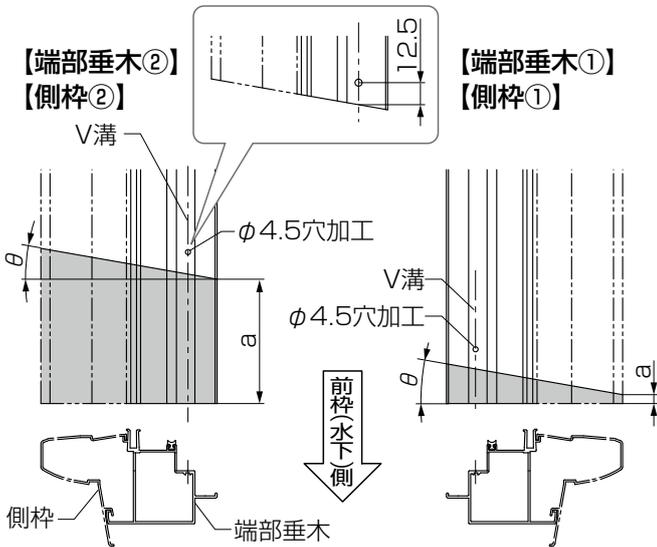
- ・切断の際は、図を参考に当て木などで水平を確保してください。



【左側切り詰め】の場合

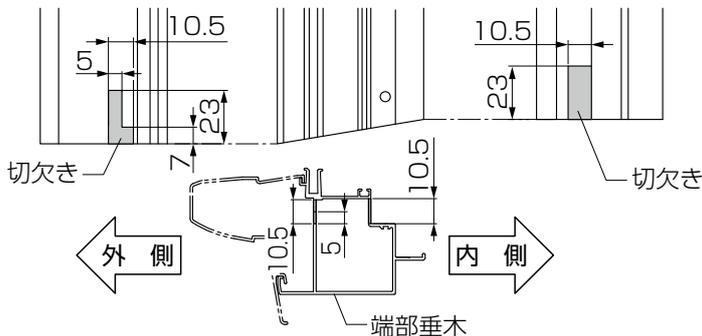


【右側切り詰め】の場合



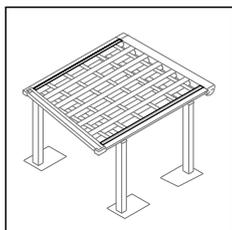
補足

- ・端部垂木外側のみ、切欠き形状が異なります。内側の加工は垂木と同じ加工になります。

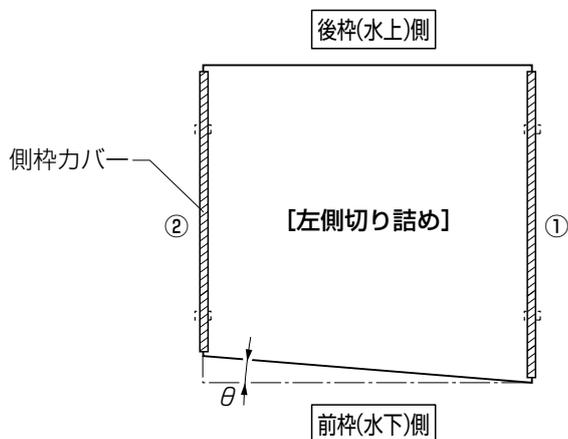


θ	a			
	①	②		
		W48	W54	W60
1°	5	87	98	108
2°	5	170	191	211
3°	5	253	284	314
4°	5	335	377	418
5°	5	418	470	522
6°	5	502	564	626
7°	5	585	658	730
8°	5	669	752	835
9°	5	753	847	940
10°	5	838	942	-
11°	5	923	-	-

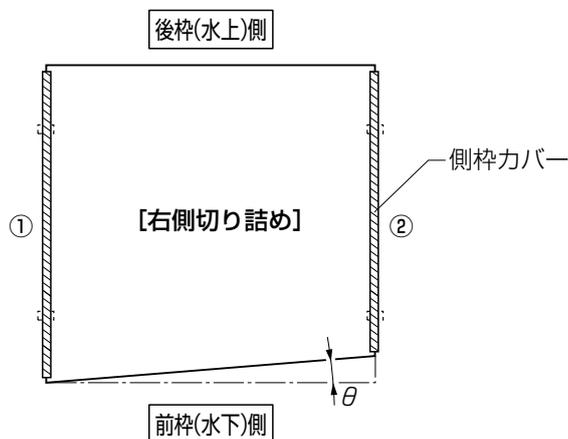
(6) 側枠カバーの加工



①側枠カバーを加工してください。



【左側切り詰め】の場合



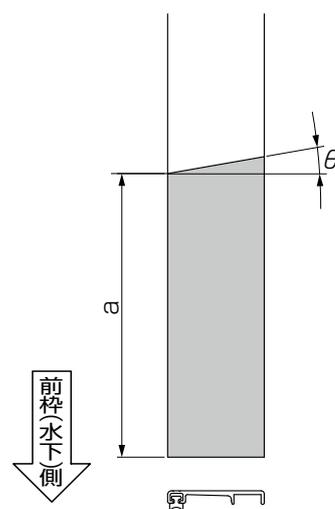
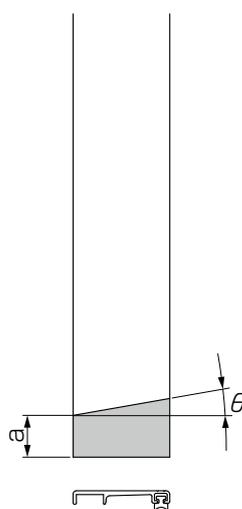
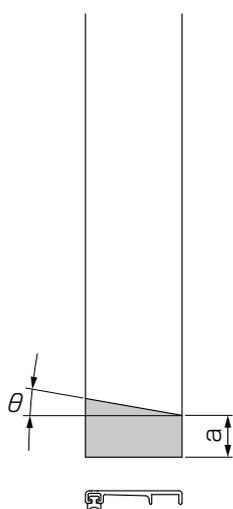
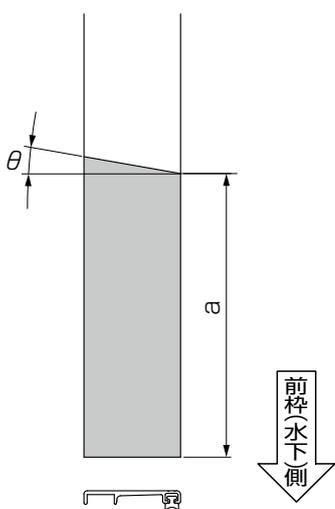
【右側切り詰め】の場合

【側枠カバー ②】

【側枠カバー ①】

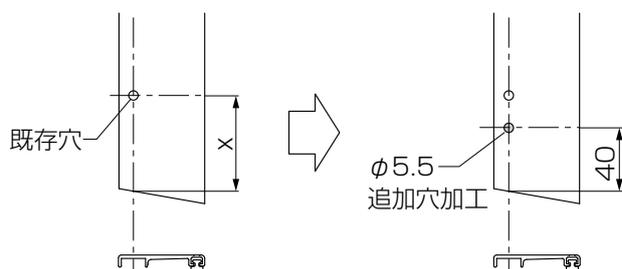
【側枠カバー ①】

【側枠カバー ②】



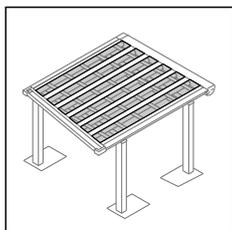
お願い

切断面から1つ目のφ5.5穴の位置 (x) が、35mm~50mmの範囲にない場合、40mmの位置に追加穴加工してください。35mm以下の範囲にある穴は使用しません。コーキングで埋めてください。



θ	a			
	①	②		
		W48	W54	W60
1°	6	88	98	108
2°	7	171	191	212
3°	8	254	285	316
4°	8	337	378	420
5°	9	420	472	524
6°	10	504	566	628
7°	11	588	660	733
8°	12	672	755	838
9°	12	757	850	944
10°	13	842	946	-
11°	14	928	-	-

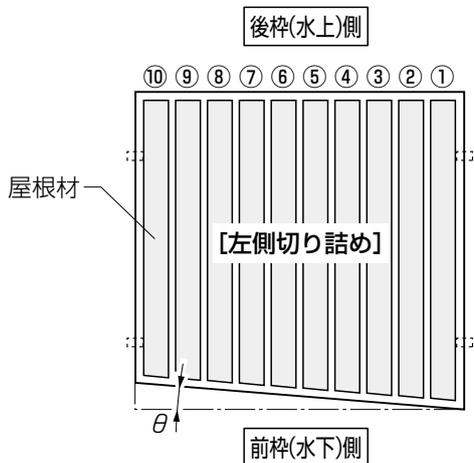
(7) 屋根材の加工



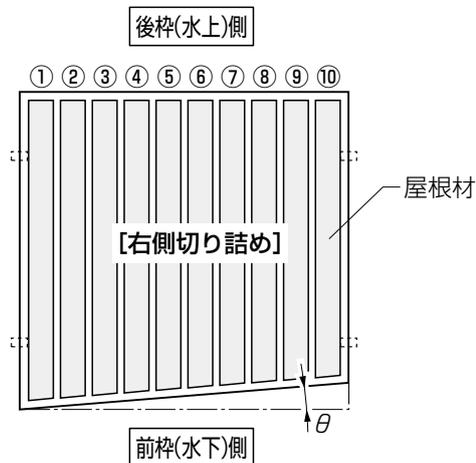
①屋根材を加工してください。

お願い

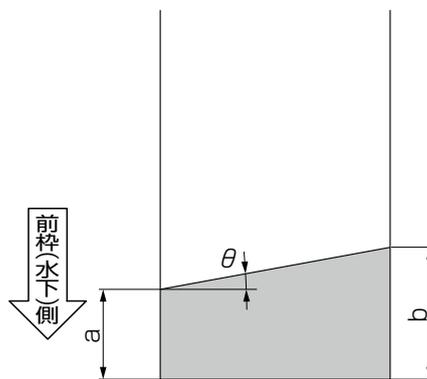
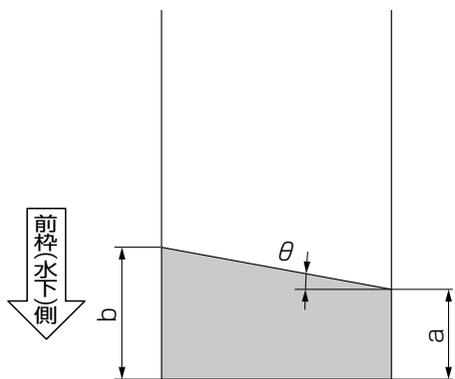
屋根材がブラックマット色の場合は、キズや汚れが目立ちやすいため、取扱いには注意してください。



[左側切り詰め] の場合



[右側切り詰め] の場合



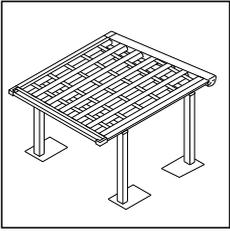
θ	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b
1°	6	16	16	26	27	37	37	47	47	57	58	68	68	78	78	88	88	98	99	109
2°	7	27	28	48	48	68	69	89	90	110	110	130	131	151	151	171	172	192	193	213
3°	8	38	39	69	70	100	101	131	132	162	163	193	194	224	225	255	256	286	286	316
4°	9	49	50	90	92	132	133	173	174	214	215	256	257	297	298	338	339	379	380	421
5°	10	60	62	112	113	164	165	215	217	267	268	318	320	370	371	422	423	473	475	525
6°	11	71	73	133	135	195	197	257	259	319	321	381	383	443	445	505	507	567	569	629
7°	12	82	85	155	157	227	229	300	302	372	374	445	447	517	519	590	592	662	664	734
8°	13	94	96	176	179	259	262	342	345	425	428	508	511	591	593	674	676	757	759	840
9°	14	105	107	198	201	292	294	385	388	478	481	572	575	665	668	759	762	852	855	946
10°	15	116	119	220	223	324	327	428	431	532	535	636	639	740	743	844	847	948	-	-
11°	16	127	130	242	245	356	360	471	474	586	589	701	704	815	819	930	933	1045	-	-

※W48サイズは ~⑧までとなります。

※W54サイズは ~⑨の10°までとなります。

□ 後枠側 正面台形
(1) 全体配置確認

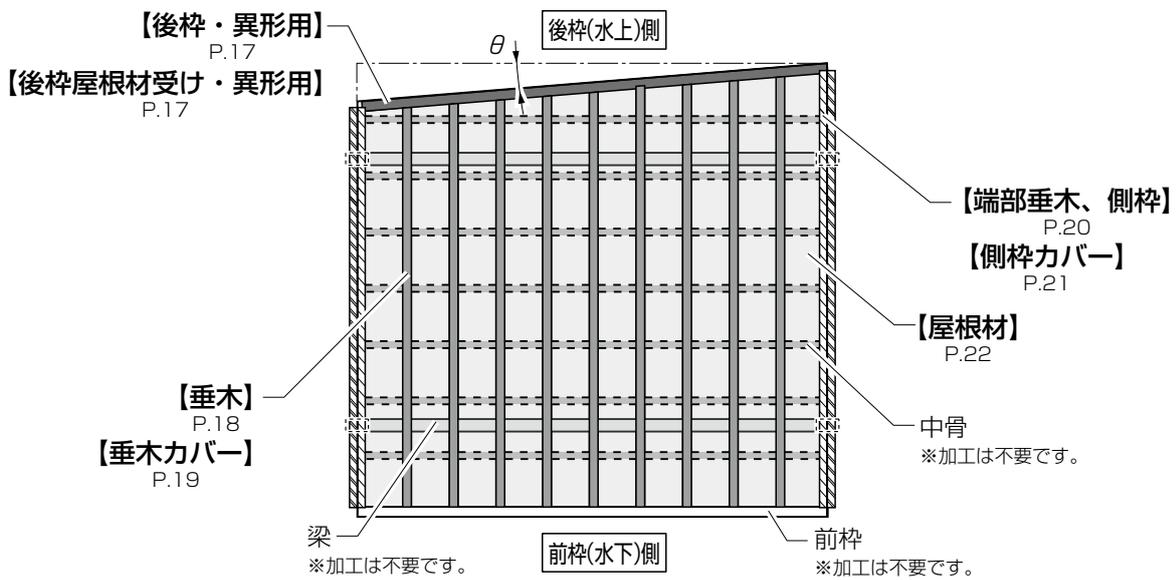
後枠 後枠台形 本項目は【後枠側 正面台形】の場合の作業です。



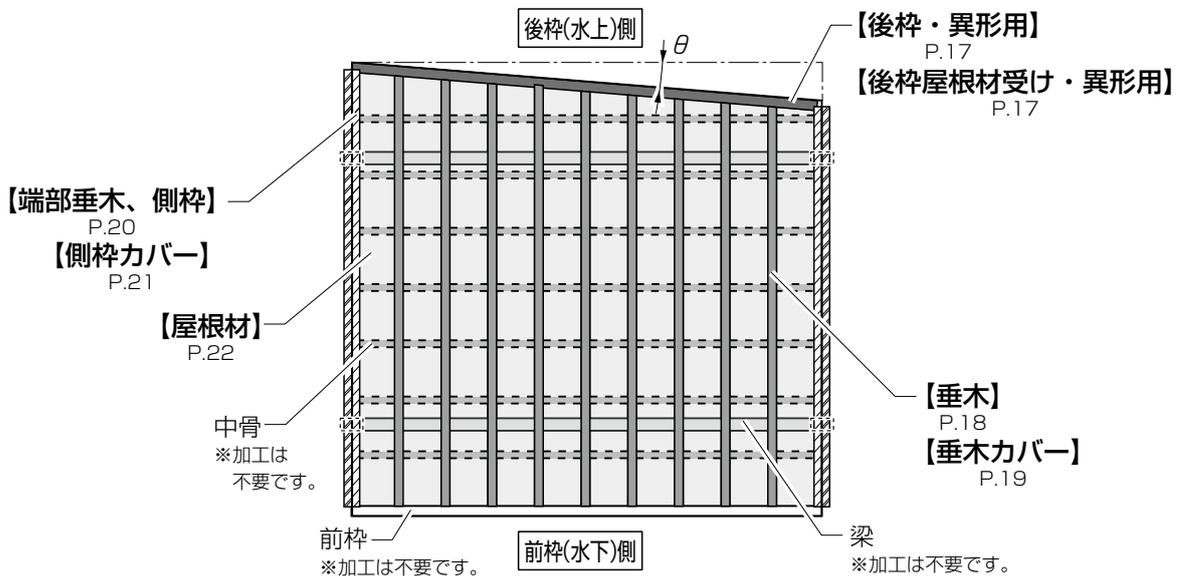
お願い

- ・後枠側 正面台形には前枠側から見て、[右側切り詰め] [左側切り詰め] があります。形材の切断する向きと部材の配置を確認して、加工を行なってください。
- ・後枠側 正面台形を施工の場合は【後枠・異形用】【後枠屋根材受け・異形用】【垂木】【垂木カバー】【屋根材】【端部垂木】【側枠】【側枠カバー】の加工が必要です。

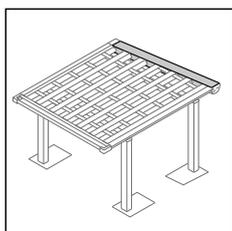
[左側切り詰め] の場合



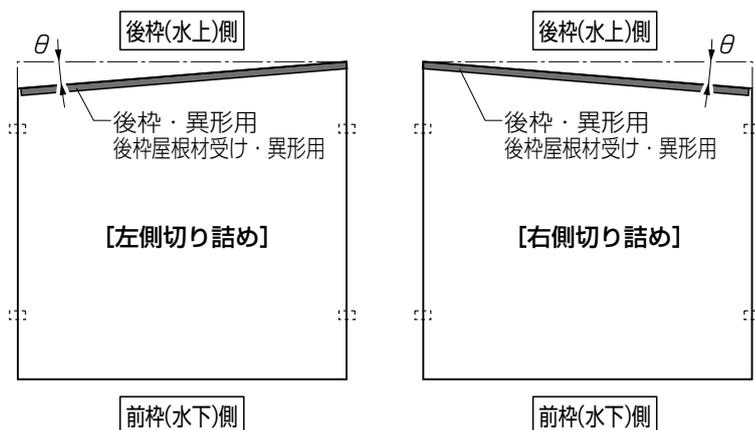
[右側切り詰め] の場合



(2) 後枠・異形用、後枠屋根材受け・異形用の加工



①後枠、後枠屋根材受けを加工してください。

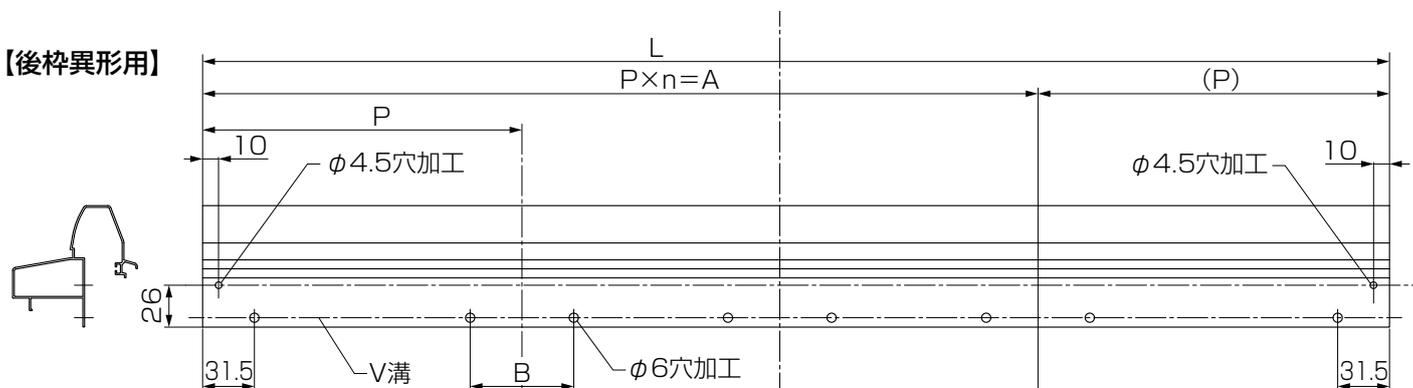


[左側切り詰め]、[右側切り詰め] 共通

【後枠屋根材受け・異形用】

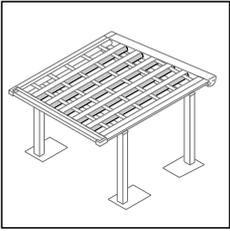


【後枠異形用】



間口 θ	W48					W54					W60				
	L	P	n	A	B	L	P	n	A	B	L	P	n	A	B
1°	4721	590.1	7	4130.4	63	5311	590.1	8	4720.5	63	5901	590.1	9	5310.6	63
2°	4723	590.3	7	4132.3	63	5313	590.3	8	4722.7	63	5904	590.3	9	5313.0	63
3°	4726	590.8	7	4135.5	63	5317	590.8	8	4726.3	63	5908	590.8	9	5317.1	63
4°	4731	591.4	7	4139.8	63	5323	591.4	8	4731.3	63	5914	591.4	9	5322.7	63
5°	4738	592.2	7	4145.5	63	5330	592.2	8	4737.7	63	5922	592.2	9	5330.0	63
6°	4746	593.2	7	4152.4	63	5339	593.2	8	4745.7	63	5932	593.2	9	5338.9	63
7°	4755	594.4	7	4160.6	63	5349	594.4	8	4755.1	63	5944	594.4	9	5349.5	63
8°	4766	595.7	7	4170.1	64	5362	595.7	8	4765.9	64	5957	595.7	9	5361.7	64
9°	4778	597.3	7	4181.0	64	5375	597.3	8	4778.3	64	5973	597.3	9	5375.7	64
10°	4792	599.0	7	4193.1	64	5391	599.0	8	4792.2	64	-	-	-	-	-
11°	4807	601.0	7	4207.0	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

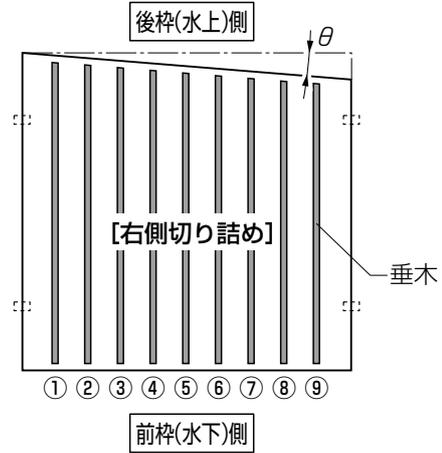
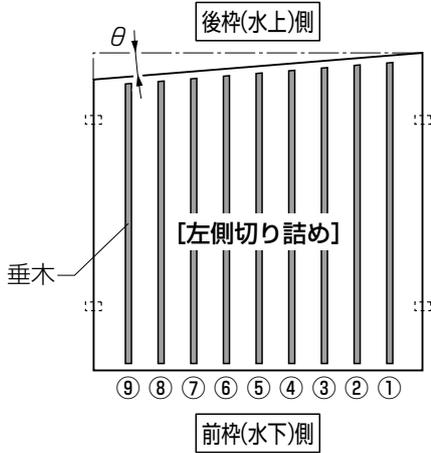
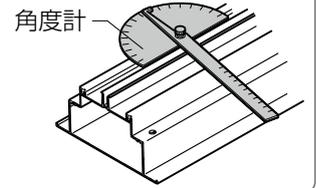
(3) 垂木の加工



①垂木を加工してください。

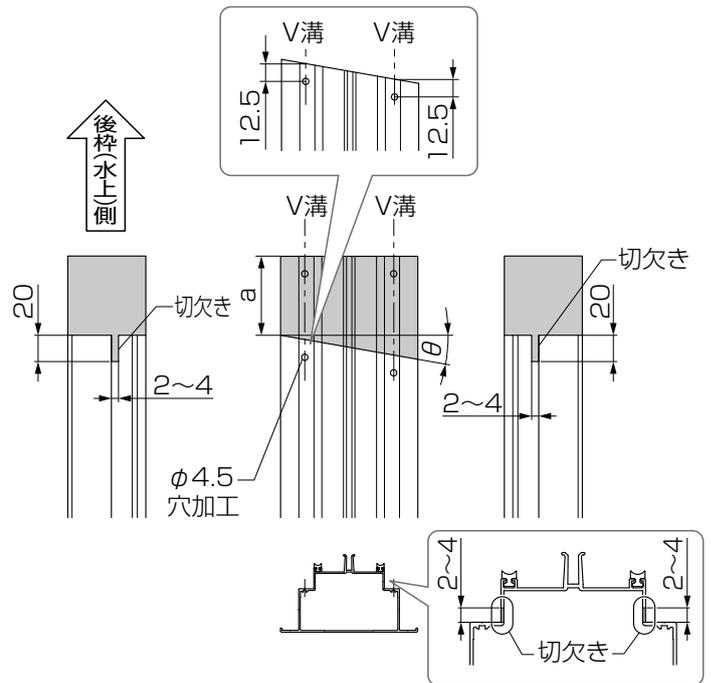
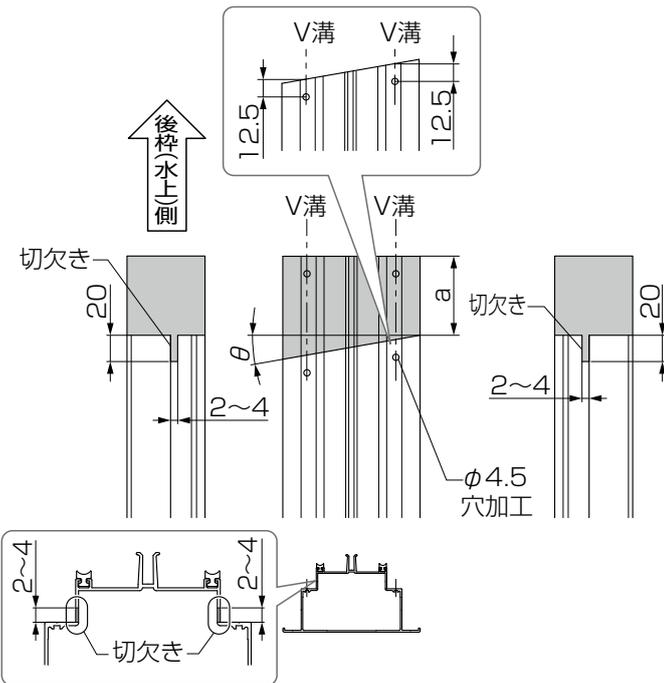
お願い

- ・切欠きのない方を加工してください。
- ・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所に当てがい、けがいてください。



[左側切り詰め]の場合

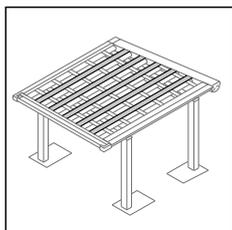
[右側切り詰め]の場合



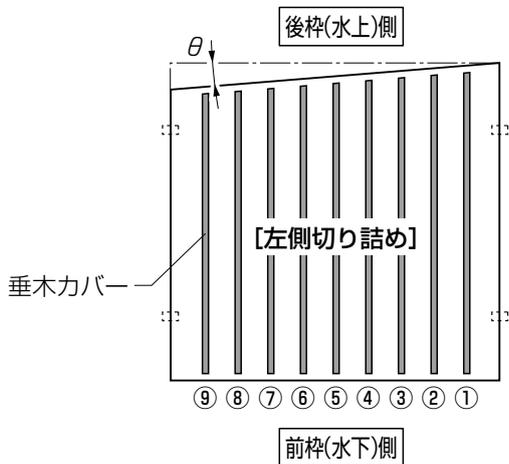
θ	a								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1°	15	26	36	46	57	67	77	87	98
2°	26	46	67	88	108	129	149	170	191
3°	36	67	98	129	160	191	222	253	284
4°	47	88	129	170	212	253	294	335	377
5°	57	109	160	212	264	315	367	418	470
6°	68	130	192	254	316	378	440	502	564
7°	78	150	223	295	368	440	513	585	658
8°	89	172	254	337	420	503	586	669	752
9°	99	193	286	380	473	566	660	753	847
10°	110	214	318	422	526	630	734	838	—
11°	121	235	350	465	579	694	809	923	—

※W48サイズは ~⑦までとなります。
 ※W54サイズは ~⑧の10°までとなります。

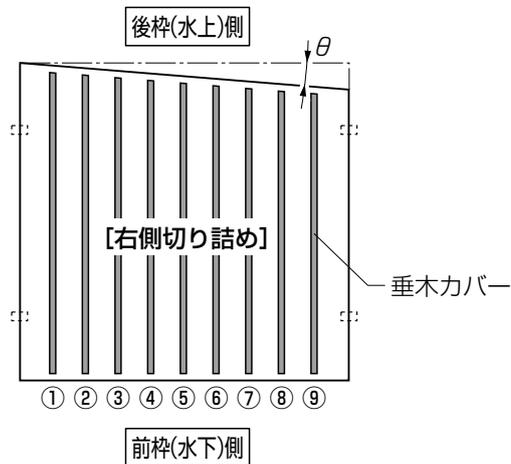
(4) 垂木カバーの加工



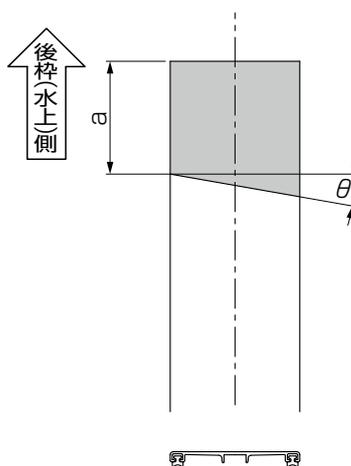
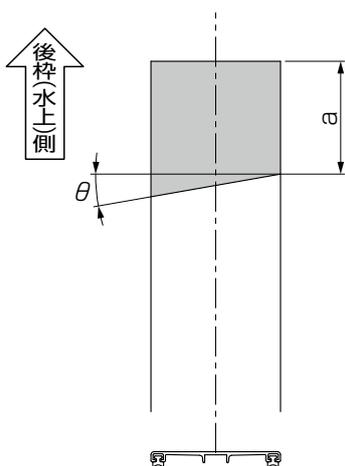
①垂木カバーを加工してください。



[左側切り詰め] の場合

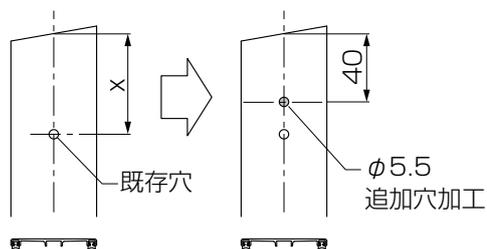


[右側切り詰め] の場合



お願い

- ・切断面から1つ目の $\phi 5.5$ 穴の位置 (x) が、35mm~50mmの範囲にない場合、40mmの位置に追加穴加工してください。
- ・35mm以下の範囲にある穴は、使用しません。コーキングで埋めてください。

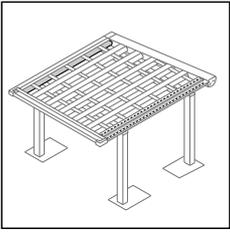


θ	a								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1°	16	26	36	47	57	67	78	88	98
2°	27	47	68	88	109	130	150	171	191
3°	37	68	99	130	161	192	223	254	285
4°	48	89	131	172	213	254	296	337	378
5°	59	111	162	214	266	317	369	420	472
6°	70	132	194	256	318	380	442	504	566
7°	81	153	226	298	371	443	515	588	660
8°	92	175	258	341	423	506	589	672	755
9°	103	196	290	383	477	570	663	757	850
10°	114	218	322	426	530	634	738	842	—
11°	125	240	354	469	584	698	813	928	—

※W48サイズは ~⑦までとなります。

※W54サイズは ~⑧の10°までとなります。

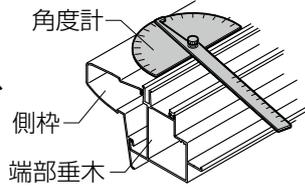
(5) 端部垂木、側枠の加工



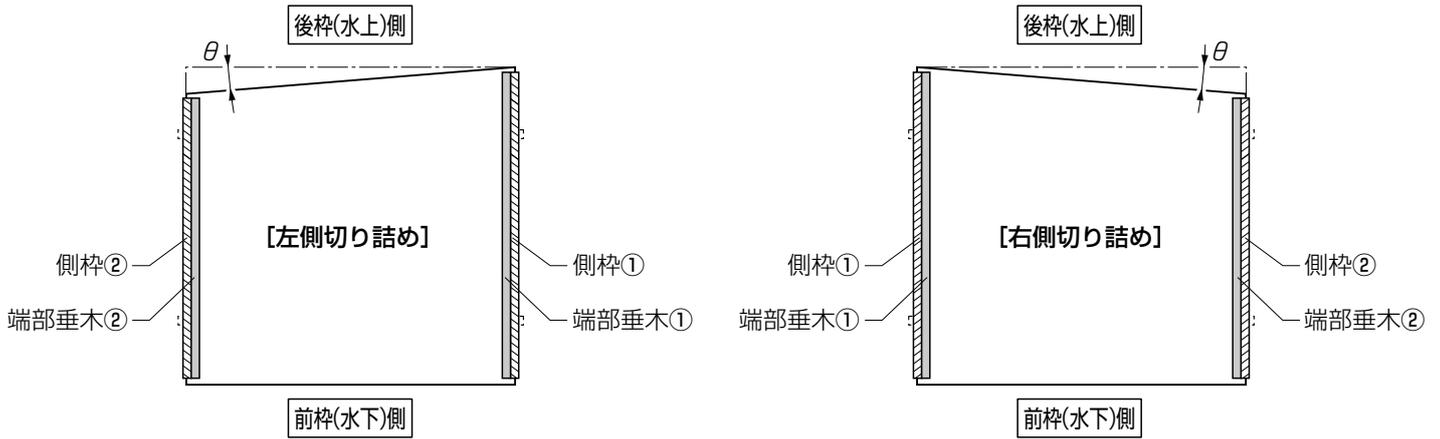
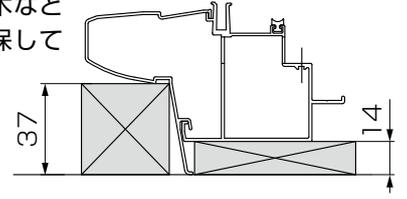
①端部垂木、側枠を加工してください。

お願い

- ・切欠きのない方を加工してください。
- ・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所に当てがい、けがいてください。



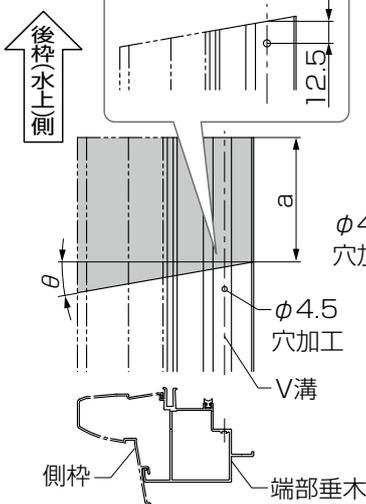
- ・切断の際は、図を参考に当て木などで水平を確保してください。



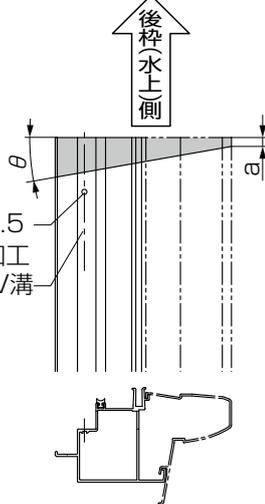
【左側切り詰め】の場合

【右側切り詰め】の場合

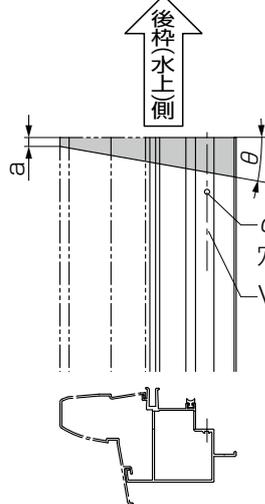
【端部垂木②】
【側枠②】



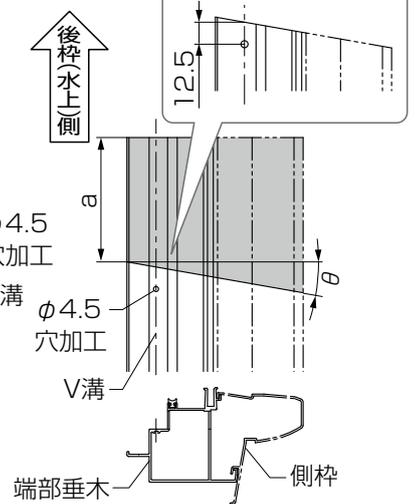
【端部垂木①】
【側枠①】



【端部垂木①】
【側枠①】

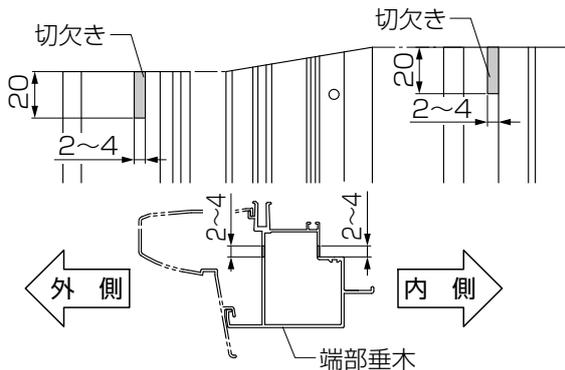


【端部垂木②】
【側枠②】



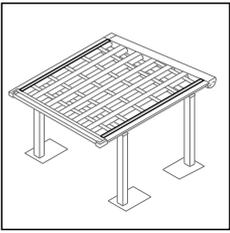
補足

- ・端部垂木外側、内側ともに切欠き形状は同じです。

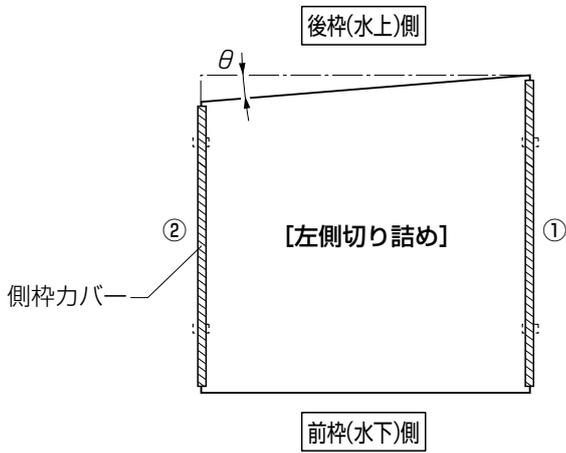


θ	a			
	①	②		
		W48	W54	W60
1°	5	87	98	108
2°	5	170	191	211
3°	5	253	284	314
4°	5	335	377	418
5°	5	418	470	522
6°	5	502	564	626
7°	5	585	658	730
8°	5	669	752	835
9°	5	753	847	940
10°	5	838	942	-
11°	5	923	-	-

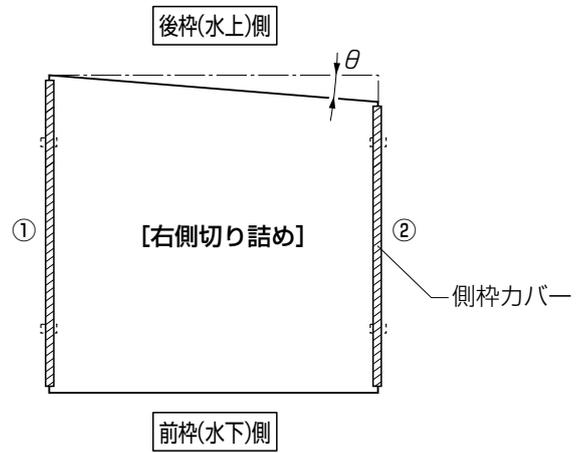
(6) 側枠カバーの加工



①側枠カバーを加工してください。



【左側切り詰め】の場合



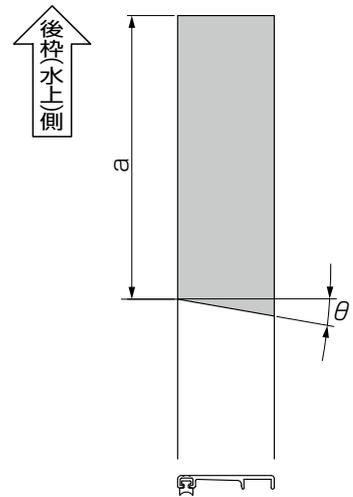
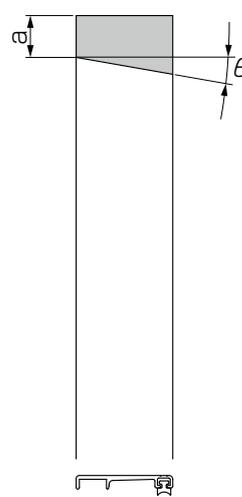
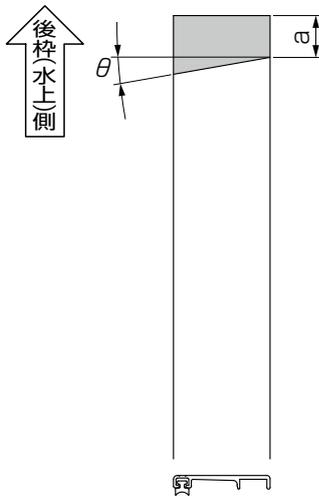
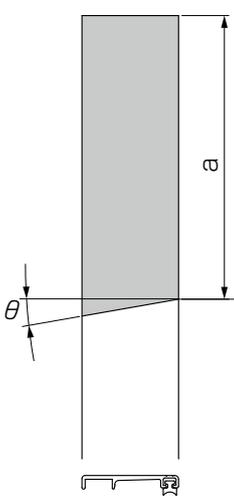
【右側切り詰め】の場合

【側枠カバー ②】

【側枠カバー ①】

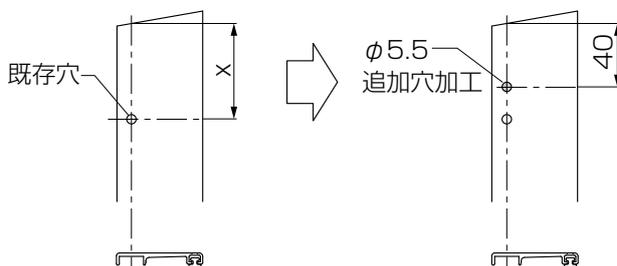
【側枠カバー ①】

【側枠カバー ②】



お願い

- ・切断面から1つ目の $\phi 5.5$ 穴の位置 (x) が、35mm~50mmの範囲にない場合、40mmの位置に追加穴加工してください。
- ・35mm以下の範囲にある穴は、使用しません。コーキングで埋めてください。



θ	a			
	①	②		
		W48	W54	W60
1°	6	88	98	108
2°	7	171	191	212
3°	8	254	285	316
4°	8	337	378	420
5°	9	420	472	524
6°	10	504	566	628
7°	11	588	660	733
8°	12	672	755	838
9°	12	757	850	944
10°	13	842	946	-
11°	14	928	-	-

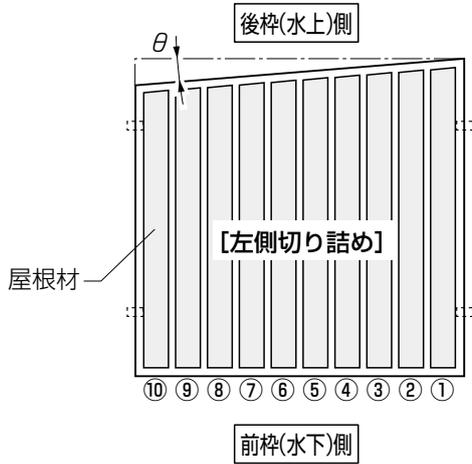
(7) 屋根材の加工



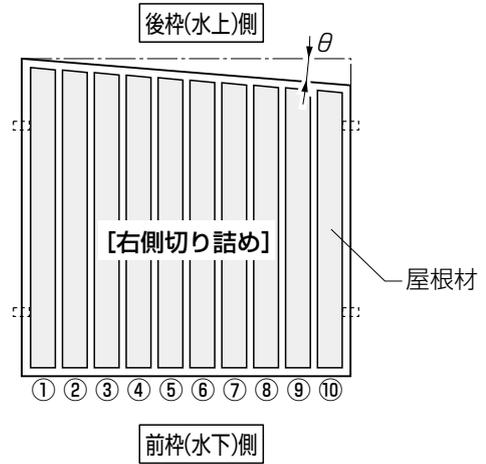
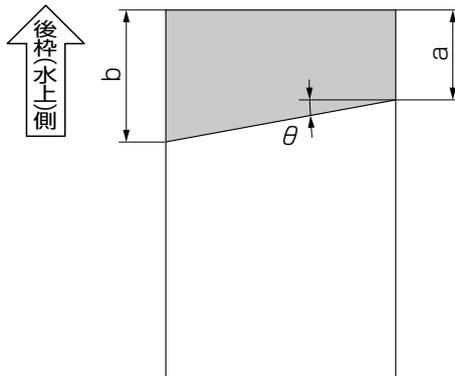
①屋根材を加工してください。

お願い

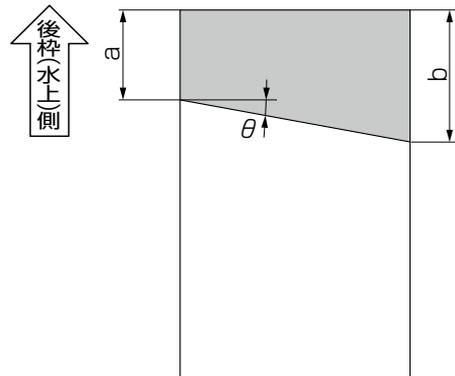
屋根材がブラックマット色の場合は、キズや汚れが目立ちやすいため、取扱いには注意してください。



【左側切り詰め】の場合



【右側切り詰め】の場合

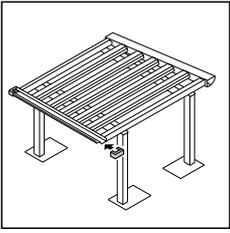


θ	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b
1°	6	16	16	26	27	37	37	47	47	57	58	68	68	78	78	88	88	98	99	109
2°	7	27	28	48	48	68	69	89	90	110	110	130	131	151	151	171	172	192	193	213
3°	8	38	39	69	70	100	101	131	132	162	163	193	194	224	225	255	256	286	286	316
4°	9	49	50	90	92	132	133	173	174	214	215	256	257	297	298	338	339	379	380	421
5°	10	60	62	112	113	164	165	215	217	267	268	318	320	370	371	422	423	473	475	525
6°	11	71	73	133	135	195	197	257	259	319	321	381	383	443	445	505	507	567	569	629
7°	12	82	85	155	157	227	229	300	302	372	374	445	447	517	519	590	592	662	664	734
8°	13	94	96	176	179	259	262	342	345	425	428	508	511	591	593	674	676	757	759	840
9°	14	105	107	198	201	292	294	385	388	478	481	572	575	665	668	759	762	852	855	946
10°	15	116	119	220	223	324	327	428	431	532	535	636	639	740	743	844	847	948	951	-
11°	16	127	130	242	245	356	360	471	474	586	589	701	704	815	819	930	933	1045	1048	-

※W48サイズは～⑩までとなります。

※W54サイズは～⑨の10°までとなります。

2 前枠コーナーキャップの取付け



前枠 【前枠側正面台形】の場合
前枠台形

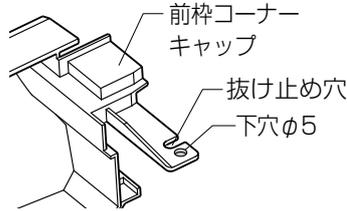


取付け方法とシーリングについては【フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)】も参照して取付けてください。

①前枠コーナーキャップを正規位置より外側へ0mm~5mmずらし取付けてください。

お願い

- ・コーナーキャップのずらした距離に応じてφ5の下穴をあけ直すか、抜け止め穴を拡張してください。

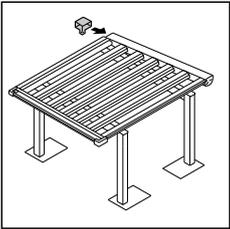


0~5mm
ずらす



前枠

3 後枠コーナーキャップの取付け



後枠 【後枠側正面台形】の場合
後枠台形

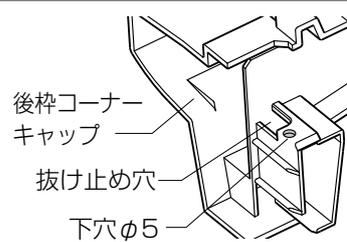


取付け方法とシーリングについては【フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)】も参照して取付けてください。

①後枠コーナーキャップを正規位置より外側へ0mm~5mmずらし取付けてください。

お願い

- ・コーナーキャップのずらした距離に応じてφ5の下穴をあけ直すか、抜け止め穴を拡張してください。

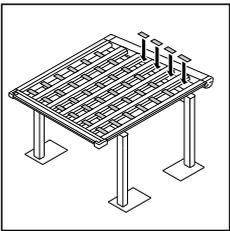


0~5mm
ずらす



後枠

4 中骨の取付け



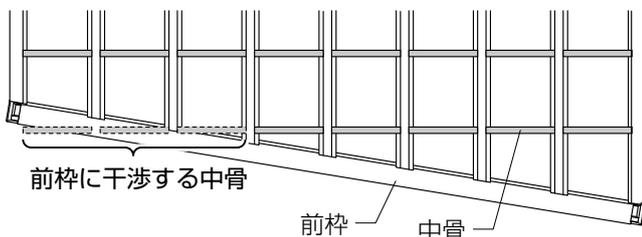
取付け方法とシーリングについては【フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)】も参照して取付けてください。

①中骨を端部垂木、垂木に取付けてください。

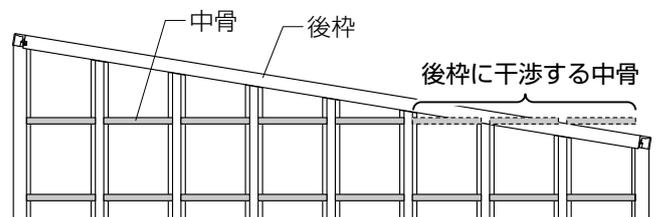
お願い

- ・前枠・後枠に干渉する中骨は取付けません。

前枠 【前枠側正面台形】の場合
前枠台形



後枠 【後枠側正面台形】の場合
後枠台形

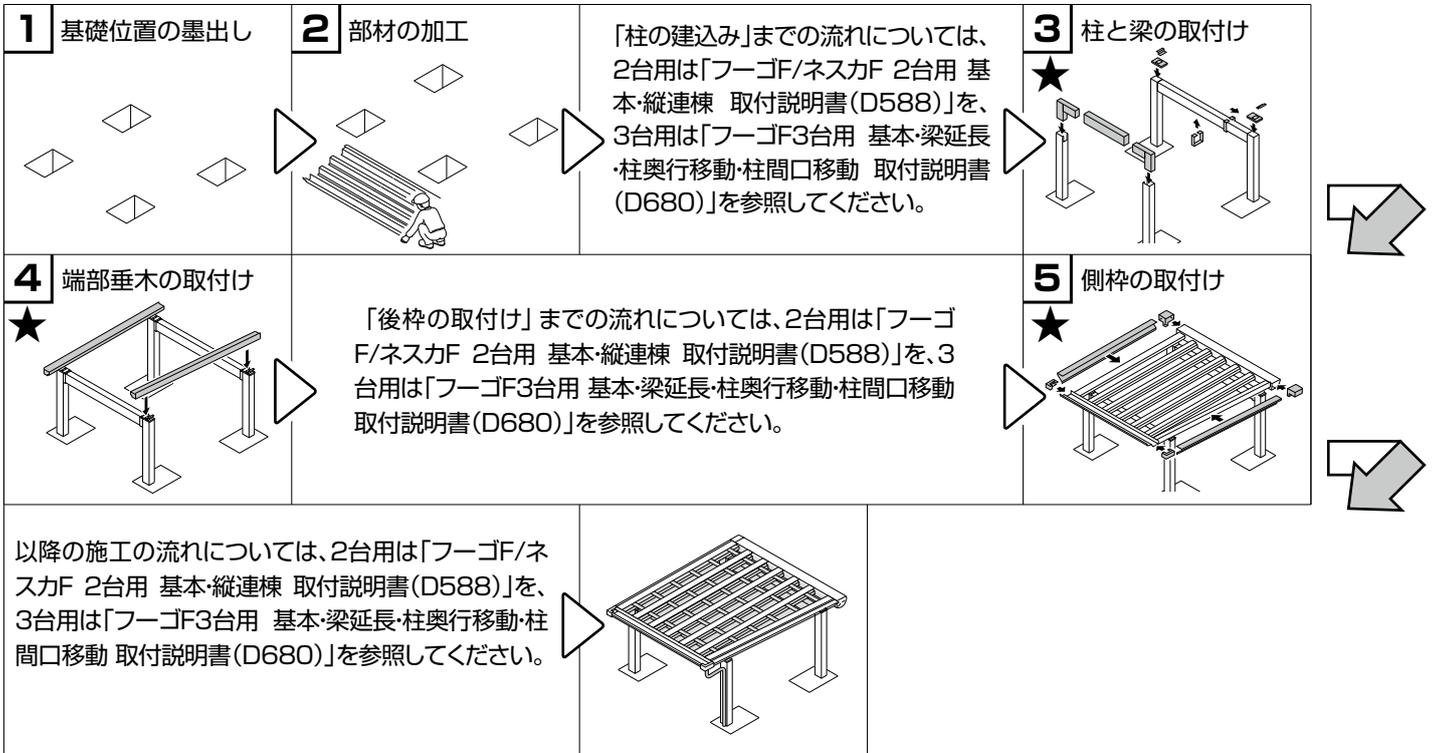


側面台形

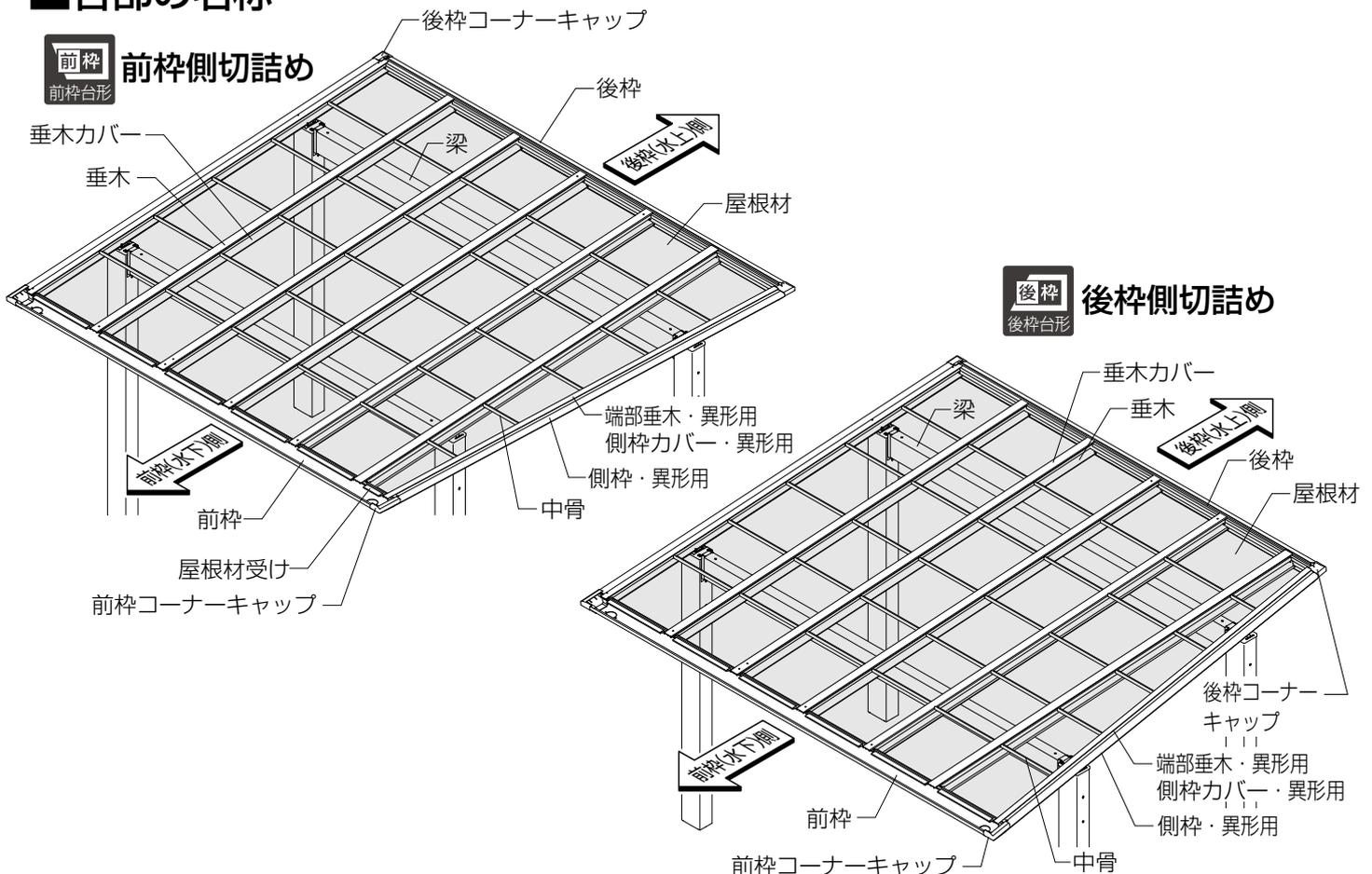
施工の流れ

お願い

「★」記載されている手順は本書と、2台用は「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)」を、3台用は「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書 (D680)」を参照して施工を行ってください。



各部の名称



■ 施工制限

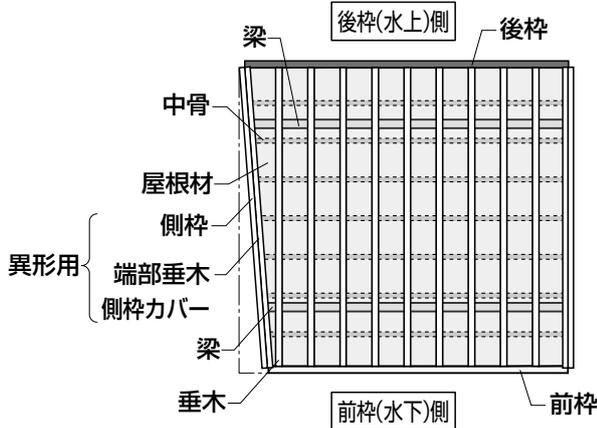
お願い

下記の内容を確認の上、必ずお守りください。

□ 用語、部材名称について

補足

・本手順では各部品の名称および用語を下図のように示します。

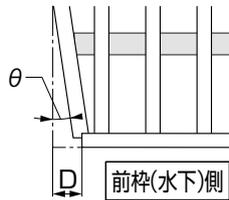


	左側切詰め	右側切詰め
前枠側切詰め側面台形	 前枠(水下)側	 前枠(水下)側
後枠側切詰め側面台形	 前枠(水下)側	 前枠(水下)側

□ 傾斜角の選定について

お願い

・表を目安として最適な傾斜角 (θ) を選定してください。



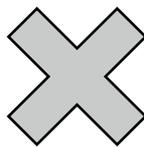
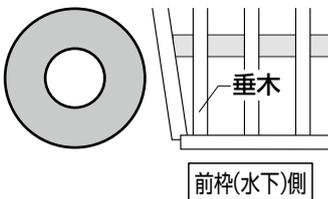
θ	D		
	L50	L54	L57
1°	90	90	100
2°	180	190	200
3°	260	280	300
4°	350	380	400
5°	440	470	500(※)

※：前枠側切詰め側面台形に $L57/\theta = 5^\circ$ の設定はありません。

□ 切詰めについて

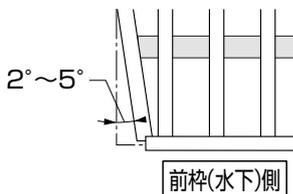
お願い

・垂木を越えての施工はできません。



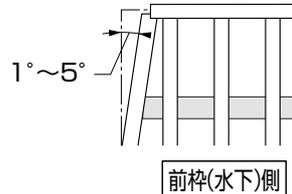
【前枠側切詰め側面台形】の場合

・前枠側切詰めの切詰め角度は $2^\circ \sim 5^\circ$ です。



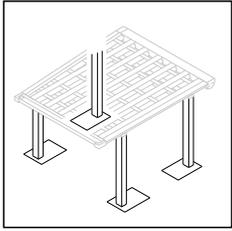
【後枠側切詰め側面台形】の場合

・後枠側切詰めの切詰め角度は $1^\circ \sim 5^\circ$ です。



1 基礎位置の墨出し

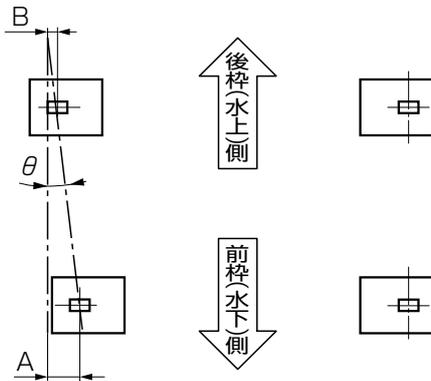
1 基礎位置の確認



その他の寸法については
 2台用：「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書(D588)」
 3台用：「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書(D680)」
 をご覧ください。

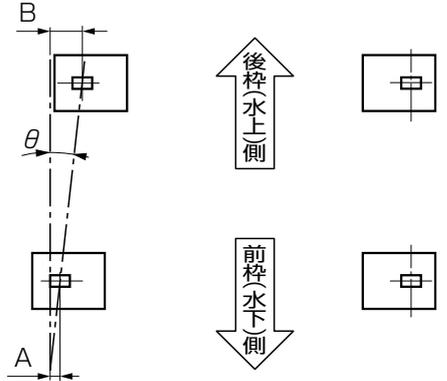
①標準本体基礎位置より θ に応じA・Bの距離分ずらして、柱の埋込み位置を出し基礎穴を掘ってください。

前枠 前枠側切詰め側面台形の場合



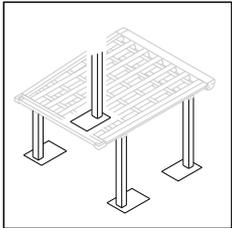
θ	L50		L54		L57	
	A	B	A	B	A	B
2°	134	33	144	37	153	38
3°	201	49	217	55	230	57
4°	268	65	289	74	307	76
5°	336	82	362	92	-	-

後枠 後枠側切詰め側面台形の場合



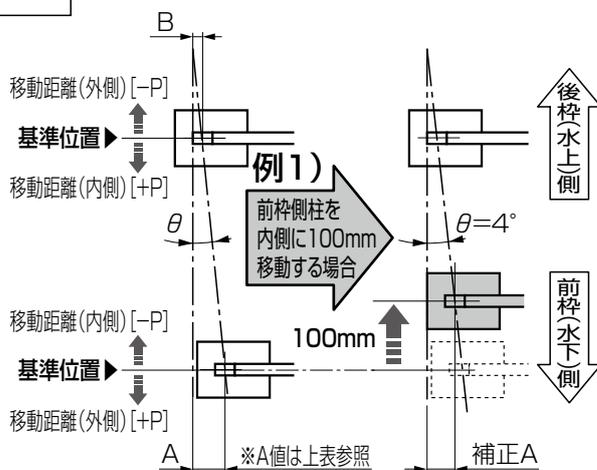
θ	L50		L54		L57	
	A	B	A	B	A	B
1°	17	68	19	73	20	77
2°	34	135	37	146	39	154
3°	51	203	56	219	59	232
4°	68	271	75	292	78	309
5°	85	339	94	365	98	387

2 柱移動の場合



①柱移動した場合の補正値を算出し、柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

前枠 前枠側切詰め側面台形の場合



θ	補正係数(α)
1°	0.02
2°	0.03
3°	0.05
4°	0.07
5°	0.09

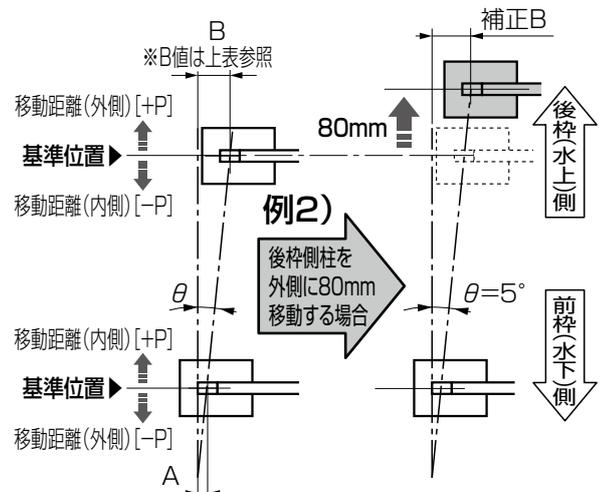
補足

例1) L50 前枠側切詰め側面台形 $\theta=4^\circ$ で、前枠側の柱を内側に100mm移動した場合の補正A

$$\text{補正A} = A \pm \text{移動距離 [P]} \times \text{補正係数} (\alpha)$$

$$268 - 100 \times 0.07 = \underline{261}$$

後枠 後枠側切詰め側面台形の場合



補足

例2) L50 後枠側切詰め側面台形 $\theta=5^\circ$ で、後枠側の柱を外側に80mm移動した場合の補正B

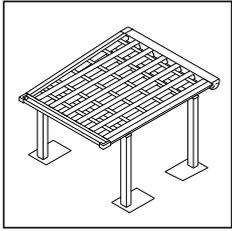
$$\text{補正B} = B \pm \text{移動距離 [P]} \times \text{補正係数} (\alpha)$$

$$339 + 80 \times 0.09 = \underline{346.2}$$

2 部材の加工

前枠側切詰め

(1) 全体配置確認



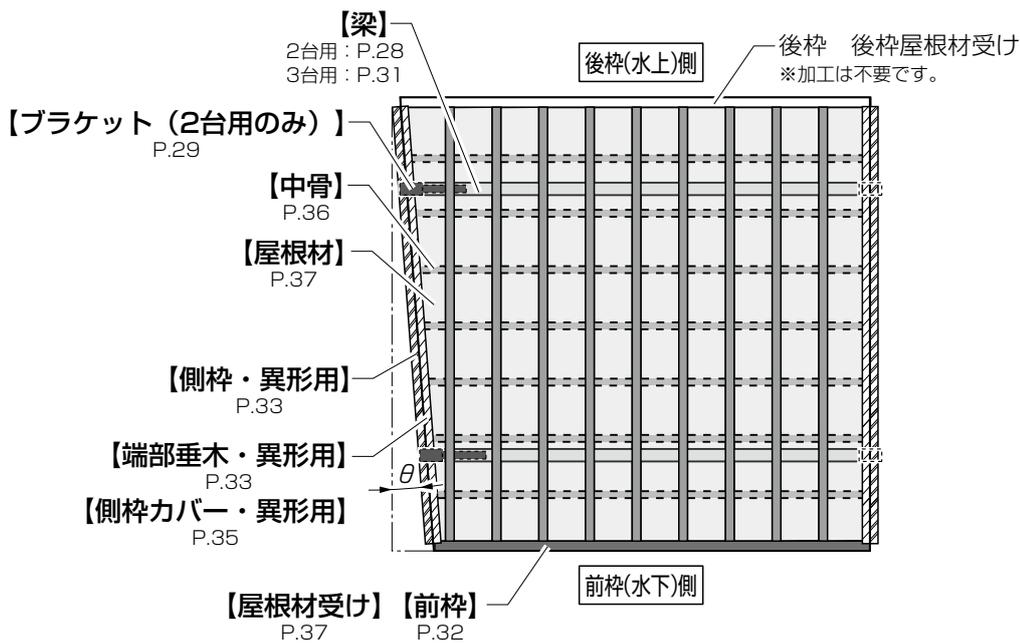
前枠
前枠台形

本項目は【前枠側切詰め側面台形】の場合の作業です。

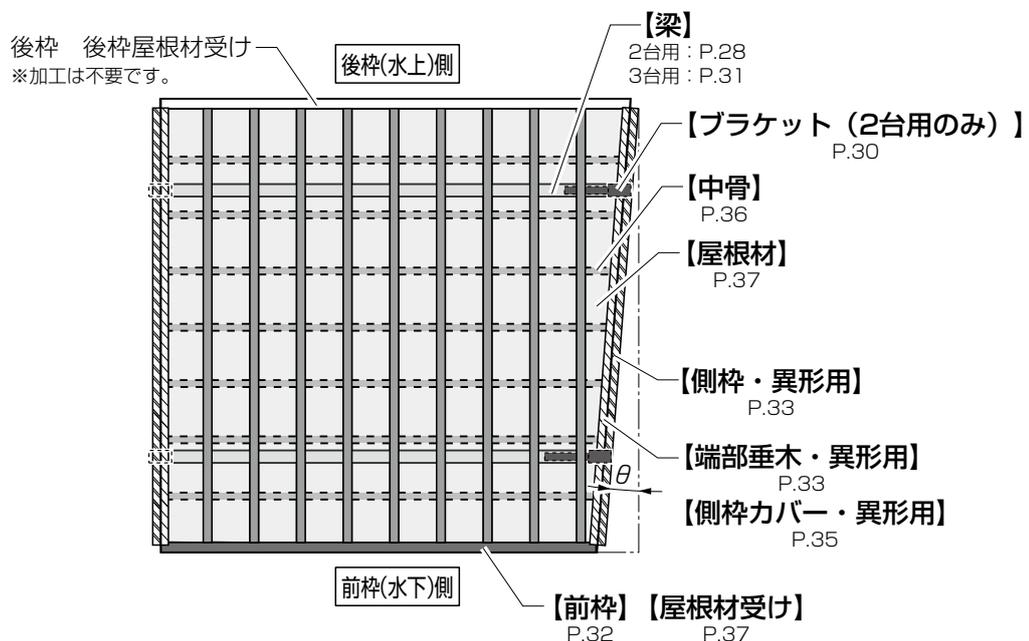
お願い

- ・前枠側 側面台形には前枠側から見て、【右側切り詰め】 【左側切り詰め】があります。形材の切断する向きと部材の配置を確認して、加工を行なってください。
- ・前枠側 側面台形を施工の場合は【梁】 【ブラケット (2台用のみ)】 【側枠・異形用】 【側枠カバー・異形用】 【端部垂木・異形用】 【前枠】 【屋根材受け】 【中骨】 【屋根材】の加工が必要です。

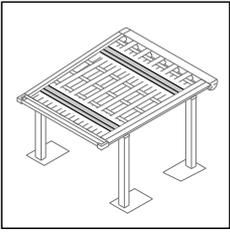
【左側切り詰め】の場合



【右側切り詰め】の場合



(2) 梁の加工【2台用の場合】

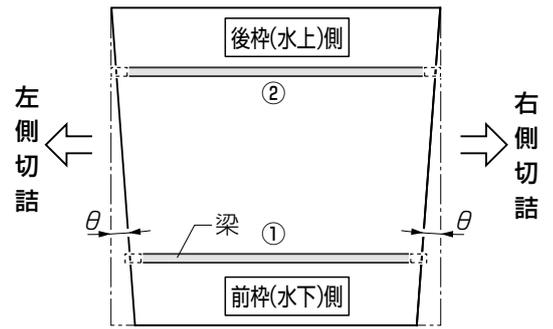


①梁を加工してください。

お願い

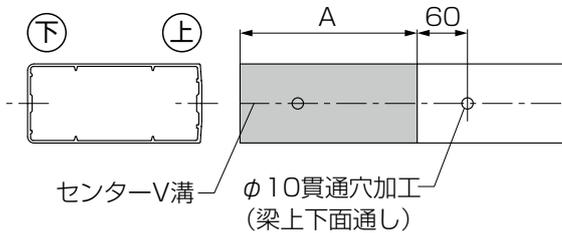
柱移動した場合のAは、P.26で算出した『補正值』を適用してください。また、 $\theta = 5^\circ$ の場合の $\phi 6$ 穴加工（ブラケットボルト穴と垂木が重なる場合の回避）も現場合わせにて調整してください。

θ	A					
	L50		L54		L57	
	①	②	①	②	①	②
2°	134	33	145	36	153	38
3°	201	49	217	54	230	57
4°	268	66	289	73	307	76
5°	336	82	362	91	-	-



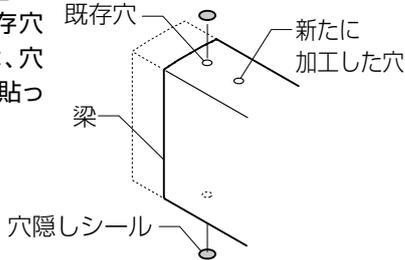
【左側切り詰め】の場合

【 $\theta = 2^\circ \sim 4^\circ$ の場合】



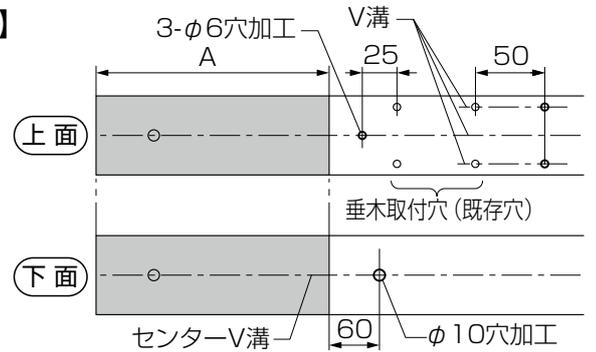
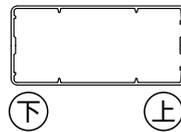
お願い

梁切断後、既存穴が残る場合は、穴隠しシールを貼ってください。

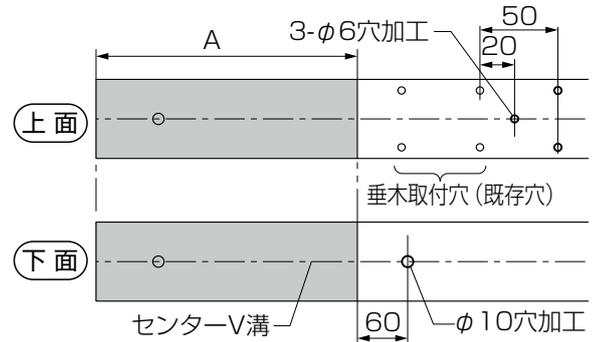
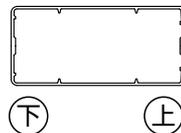


【 $\theta = 5^\circ$ の場合】

●L50、L54

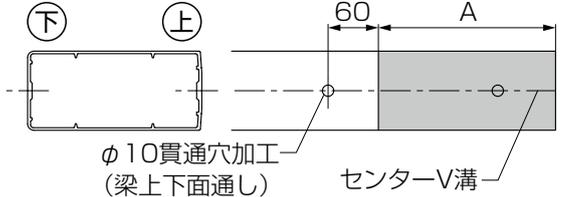


●L57



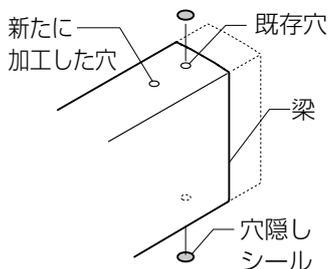
【右側切り詰め】の場合

【 $\theta = 2^\circ \sim 4^\circ$ の場合】



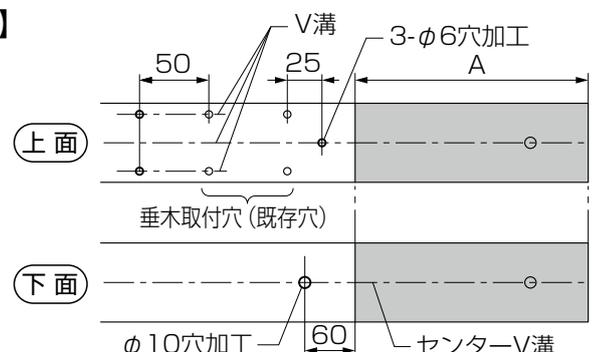
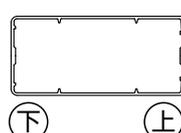
お願い

梁切断後、既存穴が残る場合は、穴隠しシールを貼ってください。

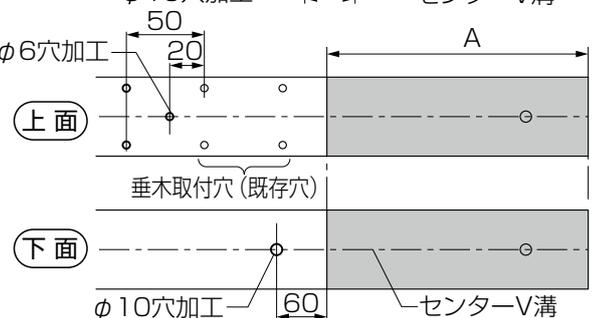
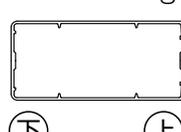


【 $\theta = 5^\circ$ の場合】

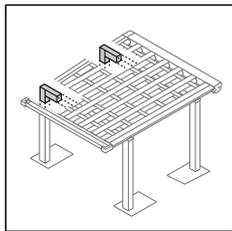
●L50、L54



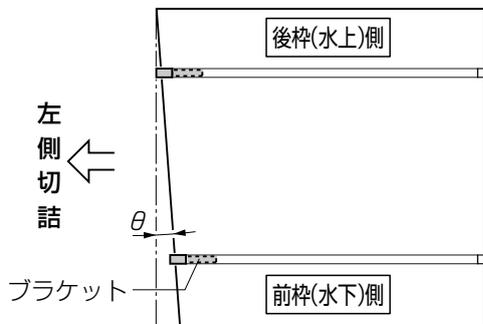
●L57



(3) ブラケットの加工【2台用の場合】



① ブラケットを加工してください。

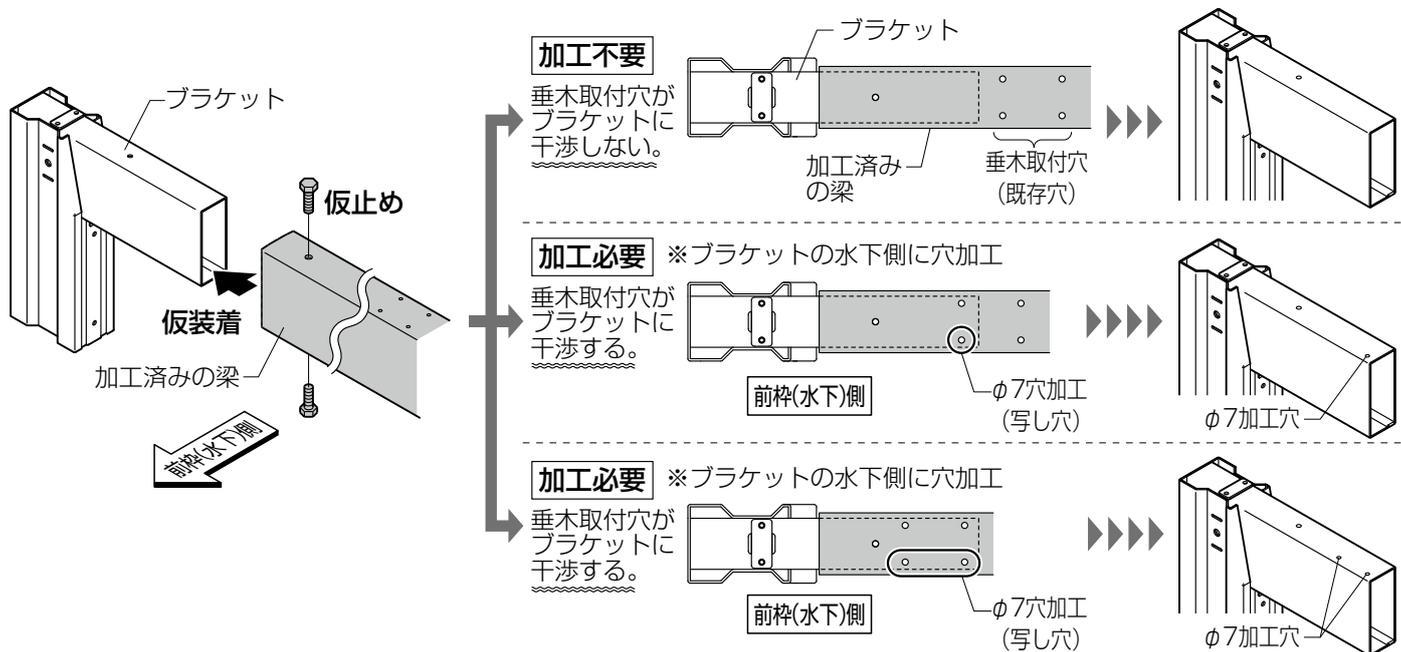


【左側切り詰め】の場合

【 $\theta = 2^\circ \sim 4^\circ$ の場合】

お願い

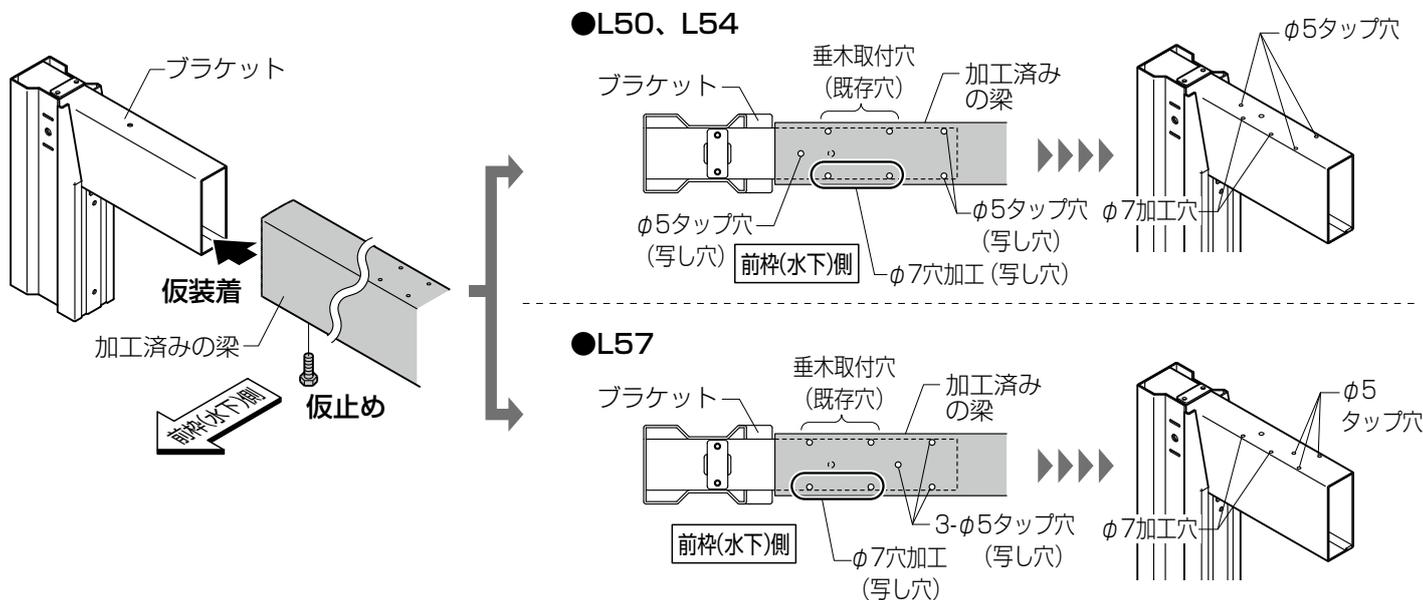
・「(2) 梁の加工」で加工済みの梁をブラケットに仮装着し、垂木取付ネジの逃げ穴 ($\phi 7$) を加工してください。



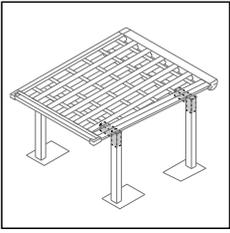
【 $\theta = 5^\circ$ の場合】

お願い

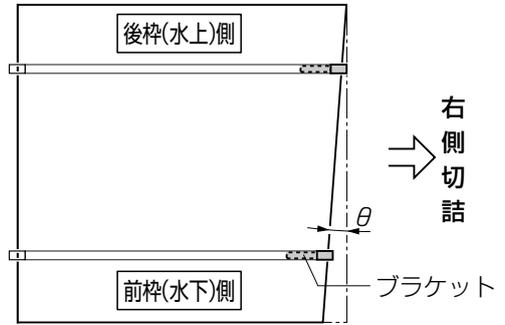
・「(2) 梁の加工」で加工済みの梁をブラケットに仮装着し、垂木取付ネジの逃げ穴 ($\phi 7$) と梁取付用の下穴 ($\phi 5$ タップ穴) を加工してください。



(3) ブラケットの加工 つづき



① ブラケットを加工してください。

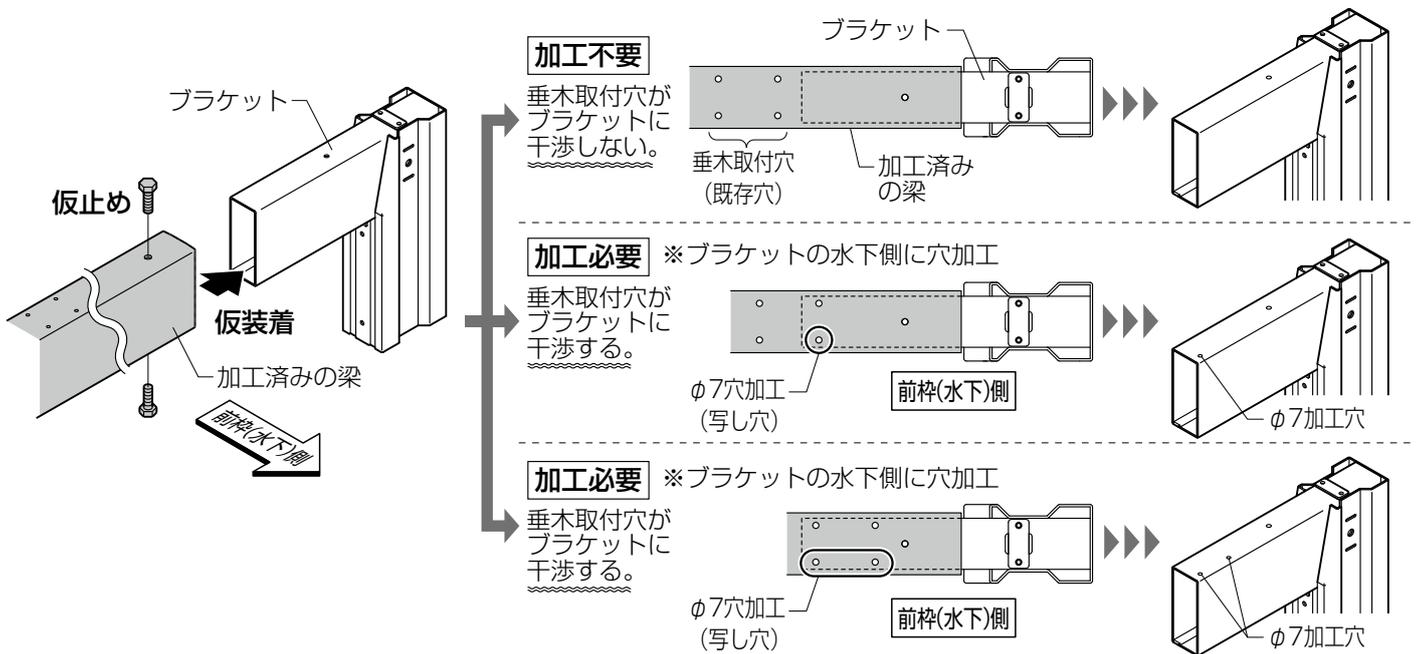


【右側切り詰め】の場合

【 $\theta = 2^\circ \sim 4^\circ$ の場合】

お願い

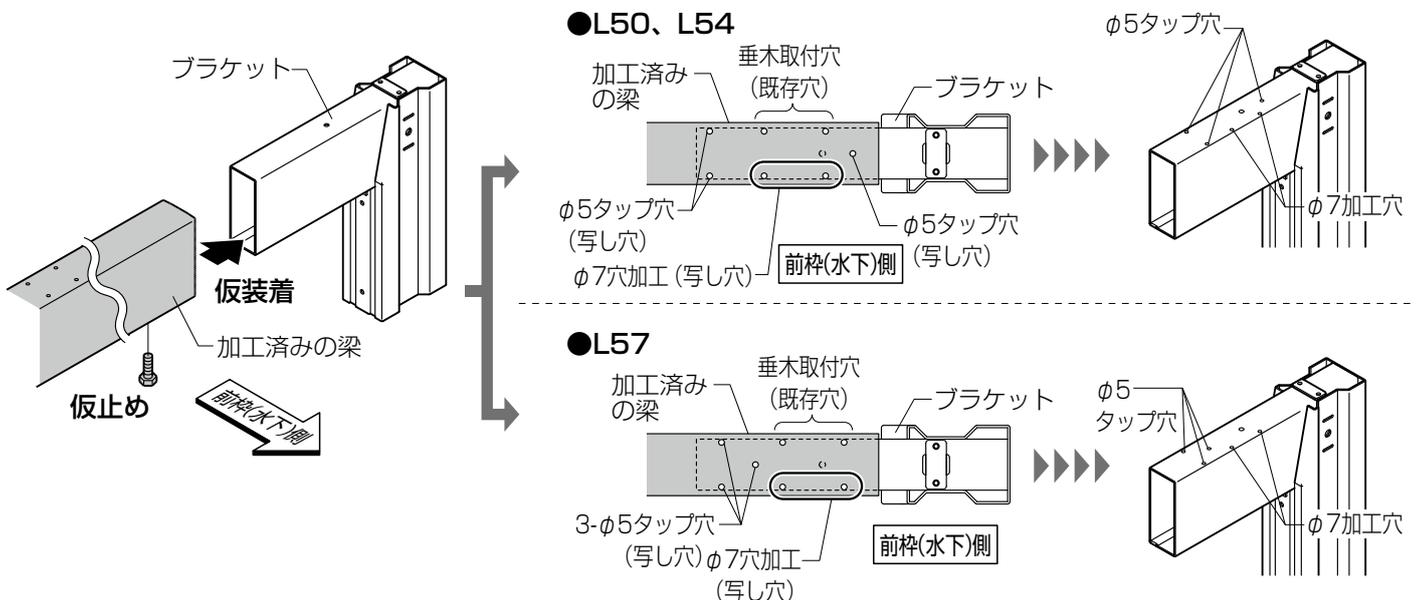
・「(2) 梁の加工」で加工済みの梁をブラケットに仮装着し、垂木取付ネジの逃げ穴 ($\phi 7$) を加工してください。



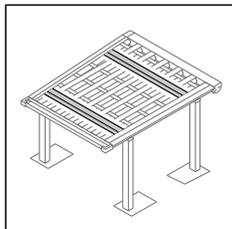
【 $\theta = 5^\circ$ の場合】

お願い

・「(2) 梁の加工」で加工済みの梁をブラケットに仮装着し、垂木取付ネジの逃げ穴 ($\phi 7$) と梁取付用の下穴 ($\phi 5$ タップ穴) を加工してください。

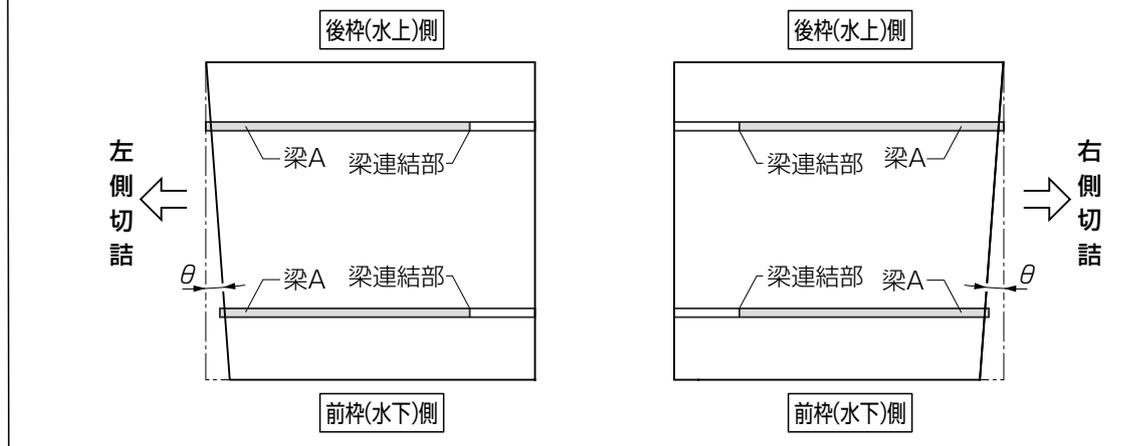


(4) 梁の加工【3台用の場合】



確認

・長い方の梁（梁A）を加工し、切詰め側に使用します。

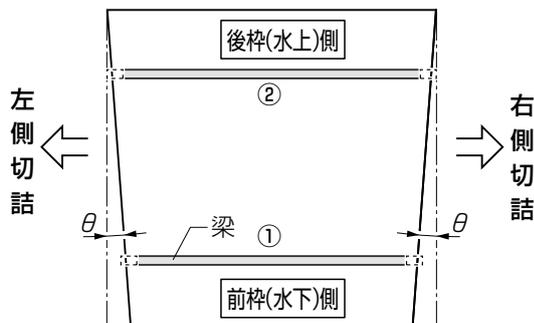


①梁を加工してください。

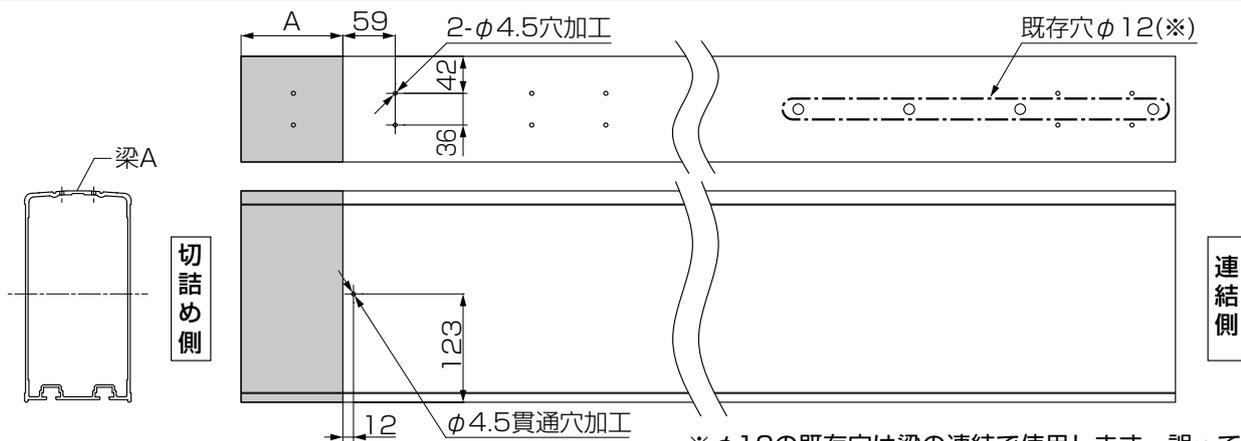
お願い

柱移動した場合のAは、P.26で算出した「補正值」を適用してください。

θ	A					
	L50		L54		L57	
	①	②	①	②	①	②
2°	134	33	145	36	153	38
3°	201	49	217	54	230	57
4°	268	66	289	73	307	76
5°	336	82	362	91	-	-

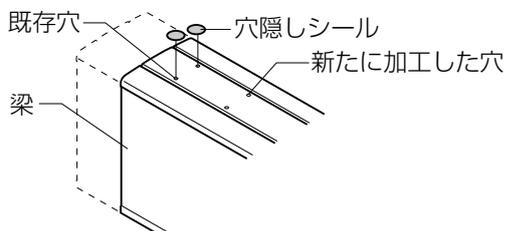


【左側切り詰め】、【右側切り詰め】共通



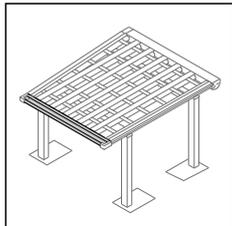
お願い

梁切断後、既存穴が残る場合は、穴隠しシールを貼ってください。



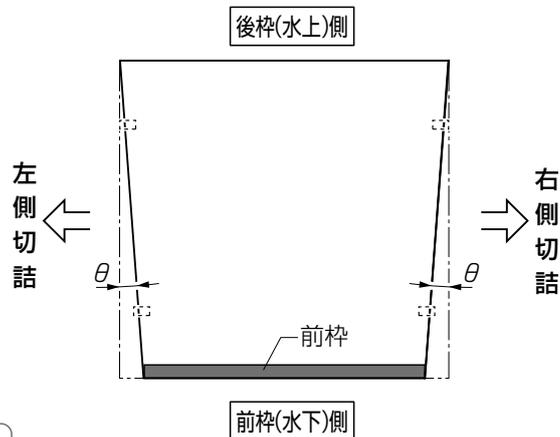
※φ12の既存穴は梁の連結で使用します。誤って切詰めた場合施工ができなくなるため、加工の向きにご注意ください。

(5) 前枠の加工 (2台用・3台用共通)



①前枠を加工してください。

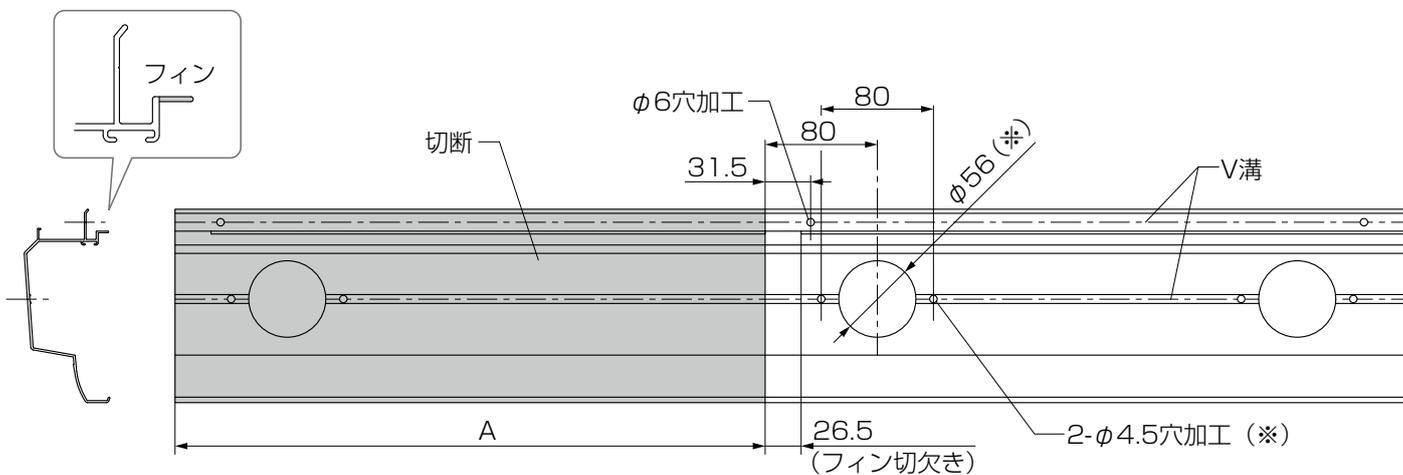
θ	A		
	L50	L54	L57
2°	168	182	192
3°	252	273	289
4°	336	364	385
5°	421	456	-



お願い

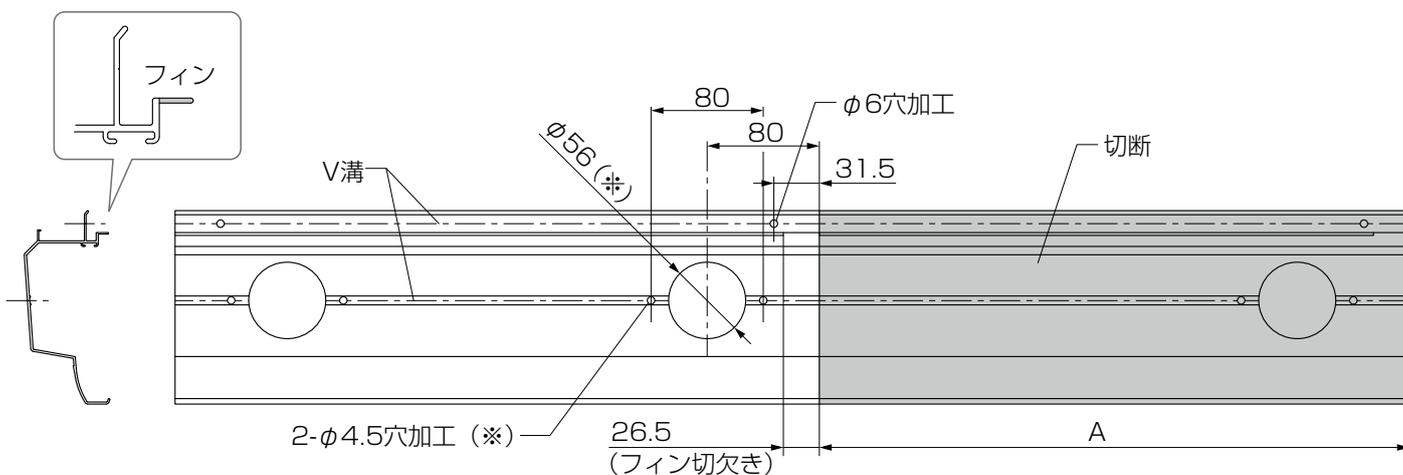
・3台用の前枠は、部材を連結して使用します。連結側、端部側を確認して、加工を行ってください。

[左側切り詰め] の場合



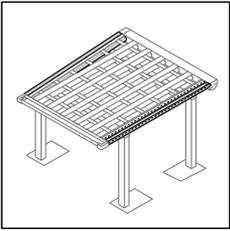
(※) 2台用で切詰め側に縦樋を取付けない場合は、 $\phi 56 \cdot \phi 4.5$ の穴加工は不要です。

[右側切り詰め] の場合

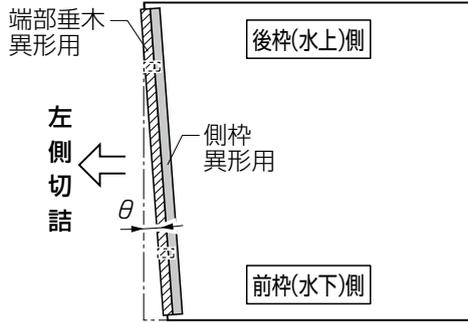


(※) 2台用で切詰め側に縦樋を取付けない場合は、 $\phi 56 \cdot \phi 4.5$ の穴加工は不要です。

(6) 端部垂木・異形用、側枠・異形用の加工 (2台用・3台用共通)

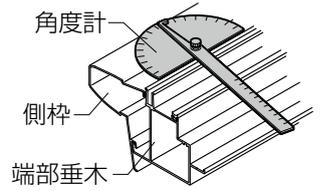


- ①端部垂木・異形用と側枠・異形用を切断してください。
- ②端部垂木・異形用に穴加工と切り欠き加工をしてください。

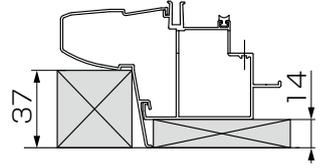


お願い

・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所に当てがい、けがいてください。



・切断の際は、図を参考に当て木などで水平を確保してください。

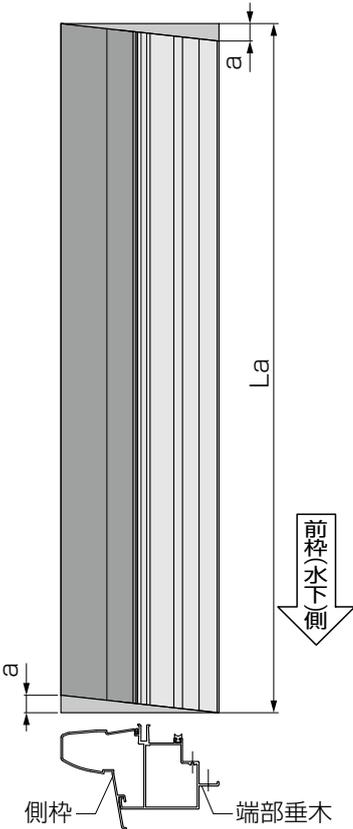


[左側切り詰め] の場合

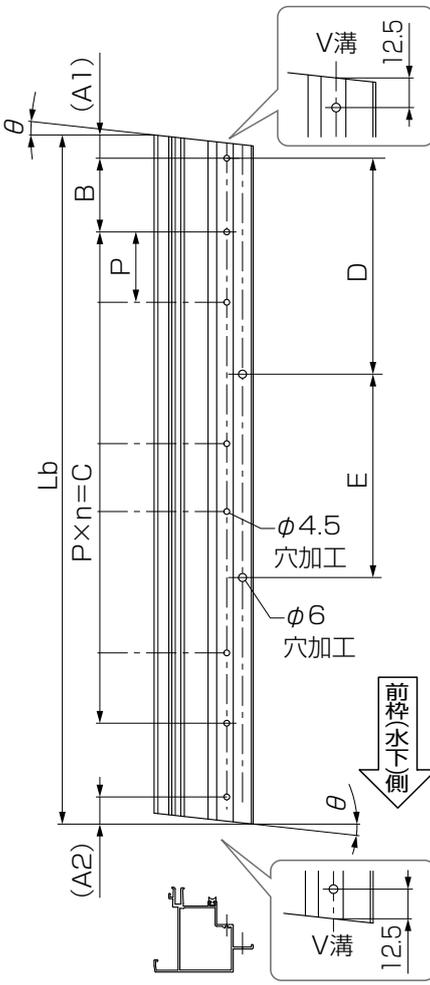
①切断加工

お願い

切断加工は端部垂木と側枠を組付けた状態で行なってください。



②穴加工



共通

θ	A1	A2
2°	14	13
3°	15	13
4°	16	14
5°	17	14

お願い

柱移動した場合は、φ6穴位置(寸法D、E)は合いません。現場合わせにて調整してください。

L50

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
2°	4842	4	4840	640	706.4	5	3532.2	950	2909
3°	4847	5	4845	641	707.0	5	3534.8	950	2911
4°	4854	7	4851	642	707.7	5	3538.6	950	2914
5°	4862	9	4859	642	708.7	5	3543.5	950	2918

L54

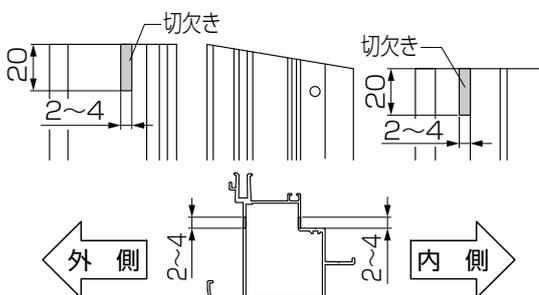
θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
2°	5243	4	5241	602	668.4	6	4010.4	1054	3110
3°	5249	5	5247	602	668.9	6	4013.5	1054	3112
4°	5256	7	5253	603	669.6	6	4017.8	1054	3116
5°	5265	9	5262	604	670.6	6	4023.3	1055	3120

L57

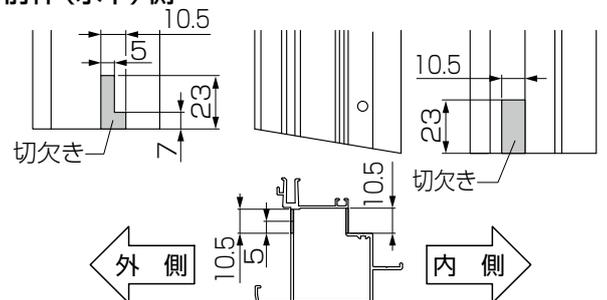
θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
2°	5543	4	5542	638	706.4	6	4238.6	1100	3310
3°	5549	5	5547	638	707.0	6	4241.8	1100	3313
4°	5557	7	5554	639	707.7	6	4246.3	1100	3316
5°	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③切欠き加工

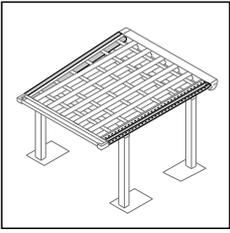
●後枠(水上側)



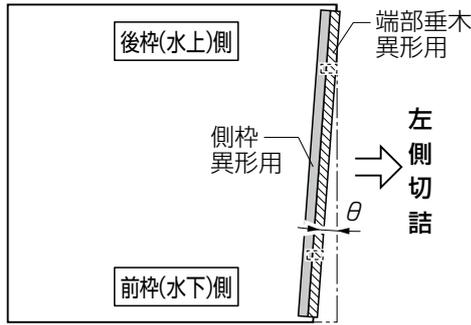
●前枠(水下側)



(6) 端部垂木・異形用、側枠・異形用の加工 つづき

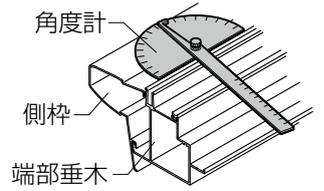


- ①端部垂木・異形用と側枠・異形用を切断してください。
- ②端部垂木・異形用に穴加工と切り欠き加工をしてください。

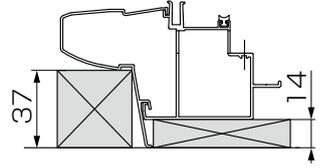


お願い

・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所に当てがい、けがいてください。



・切断の際は、図を参考に当て木などで水平を確保してください。

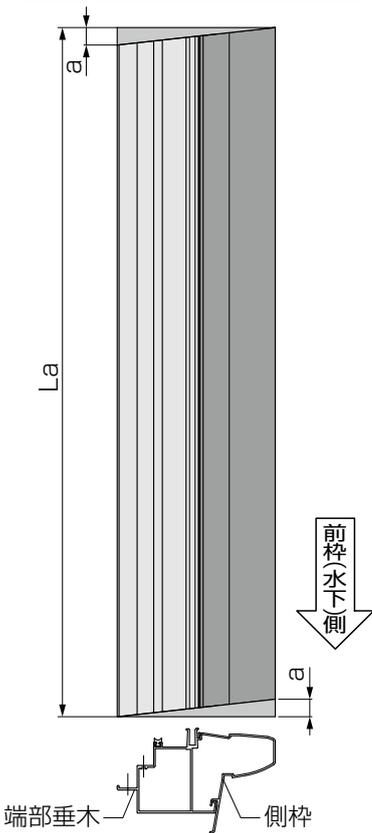


[右側切り詰め] の場合

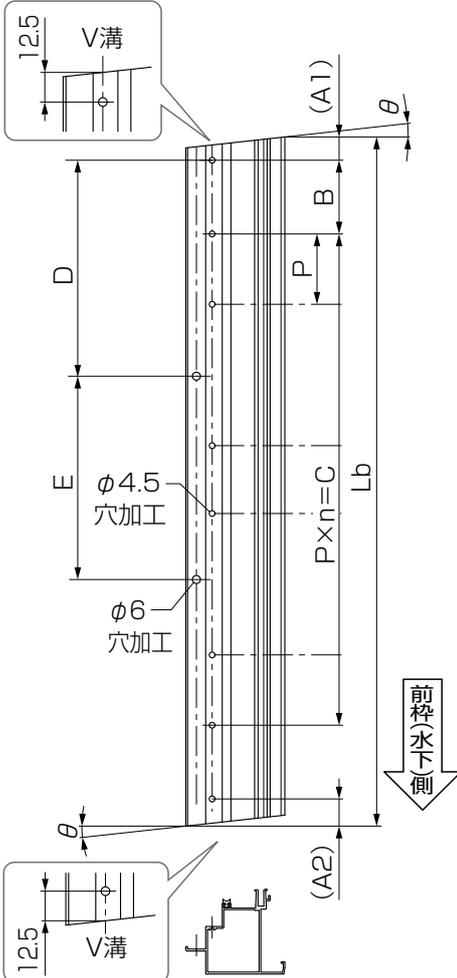
①切断加工

お願い

切断加工は端部垂木と側枠を組付けた状態で行なってください。



②穴加工



共通

θ	A1	A2
2°	14	13
3°	15	13
4°	16	14
5°	17	14

お願い

柱移動した場合は、φ6穴位置(寸法D、E)は合いません。現場合わせにて調整してください。

L50

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
2°	4842	4	4840	640	706.4	5	3532.2	950	2909
3°	4847	5	4845	641	707.0	5	3534.8	950	2911
4°	4854	7	4851	642	707.7	5	3538.6	950	2914
5°	4862	9	4859	642	708.7	5	3543.5	950	2918

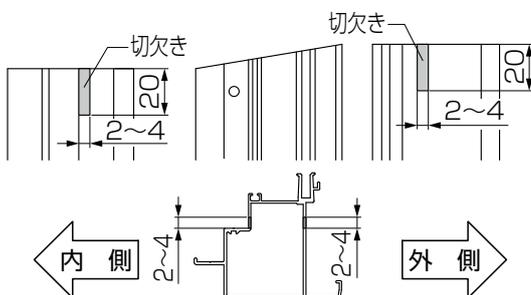
L54

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
2°	5243	4	5241	602	668.4	6	4010.4	1054	3110
3°	5249	5	5247	602	668.9	6	4013.5	1054	3112
4°	5256	7	5253	603	669.6	6	4017.8	1054	3116
5°	5265	9	5262	604	670.6	6	4023.3	1055	3120

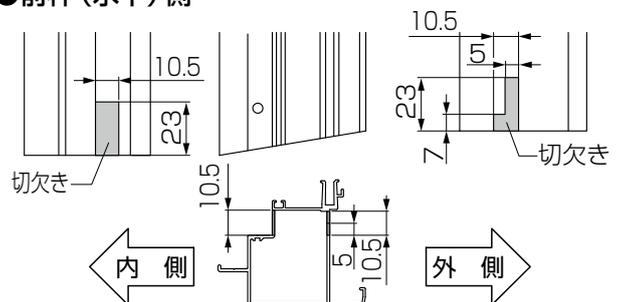
L57

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
2°	5543	4	5542	638	706.4	6	4238.6	1100	3310
3°	5549	5	5547	638	707.0	6	4241.8	1100	3313
4°	5557	7	5554	639	707.7	6	4246.3	1100	3316
5°	-	-	-	-	-	-	-	-	-

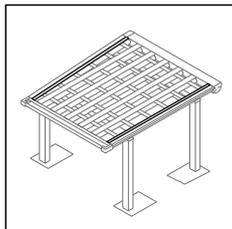
③切欠き加工 ●後枠(水上側)



●前枠(水下側)

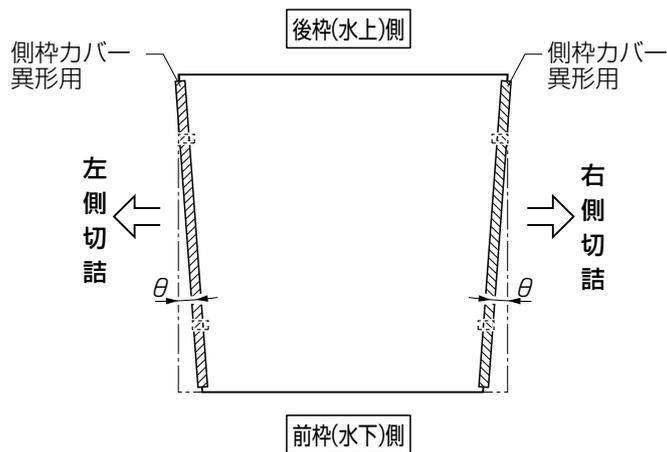


(7) 側枠カバー・異形用の加工 (2台用・3台用共通)

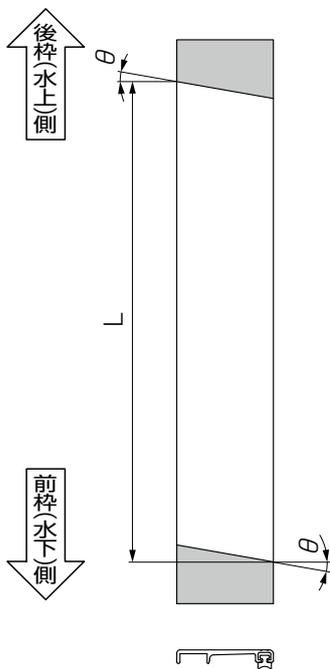


①側枠カバーを加工してください。

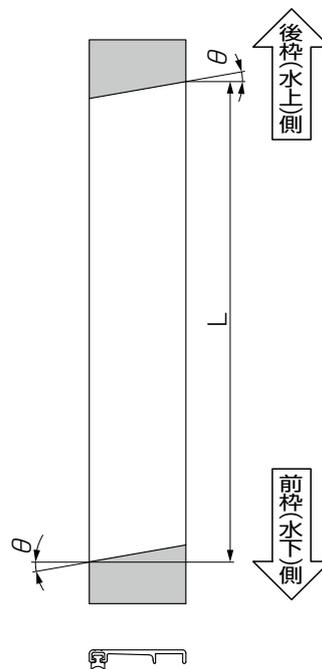
θ	L		
	L50	L54	L57
2°	4883	5284	5584
3°	4887	5289	5589
4°	4893	5295	5596
5°	4900	5303	-



[左側切り詰め] の場合

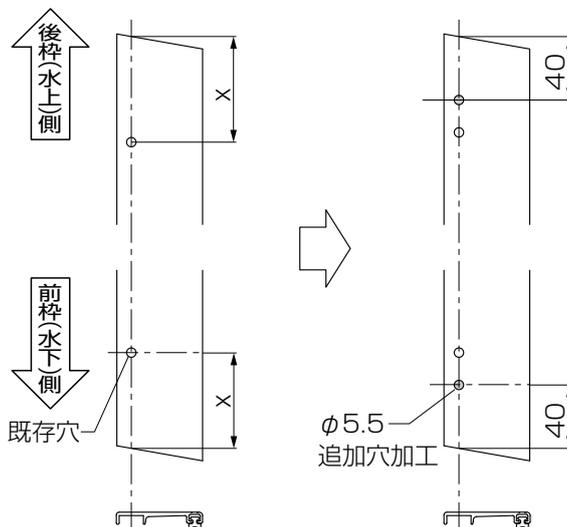


[右側切り詰め] の場合

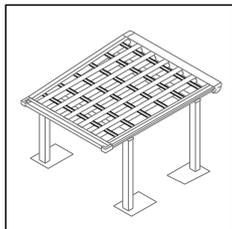


お願い

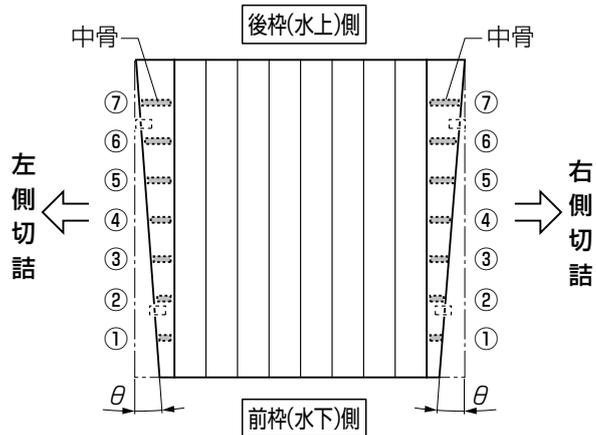
- ・切断面から1つ目の $\phi 5.5$ 穴の位置 (x) が、35mm~50mmの範囲にない場合、40mmの位置に追加穴加工してください。
- ・35mm以下の範囲にある穴は、使用しません。コーキングで埋めてください。



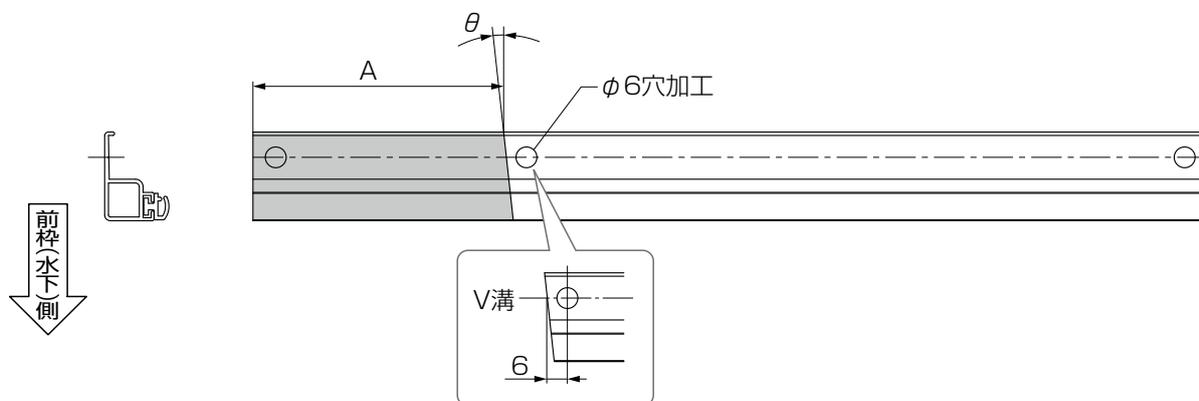
(8) 中骨の加工 (2台用・3台用共通)



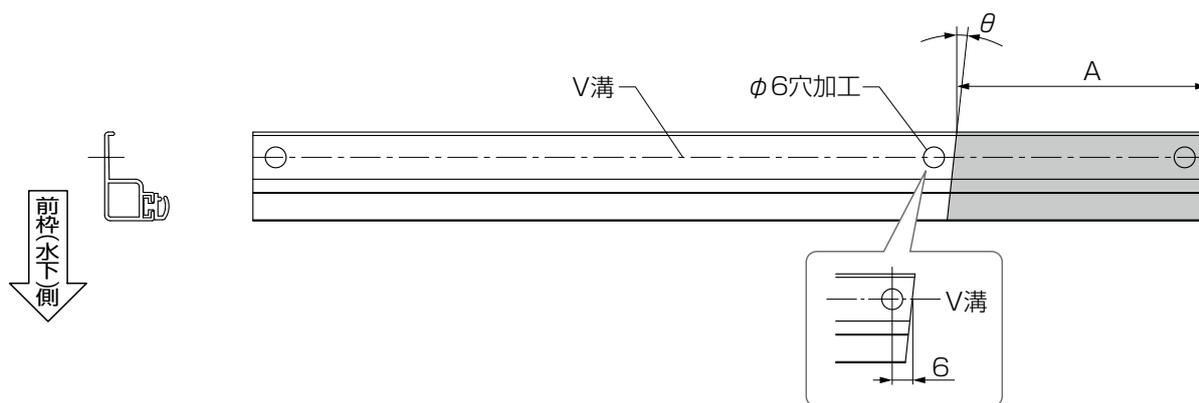
①中骨を加工してください。



[左側切り詰め] の場合



[右側切り詰め] の場合



奥行	A																				
	L50							L54							L57						
θ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
2°	145	121	96	71	47	22	-	161	137	114	91	67	44	21	170	145	121	96	71	47	22
3°	218	181	144	107	70	33	-	241	206	171	136	101	66	31	255	218	181	144	107	70	33
4°	291	242	192	143	94	44	-	322	275	228	182	135	88	42	340	291	242	192	143	93	44
5°	364	302	241	179	117	55	-	403	344	286	227	169	110	52	-	-	-	-	-	-	-

※L50サイズは ~⑥までとなります。

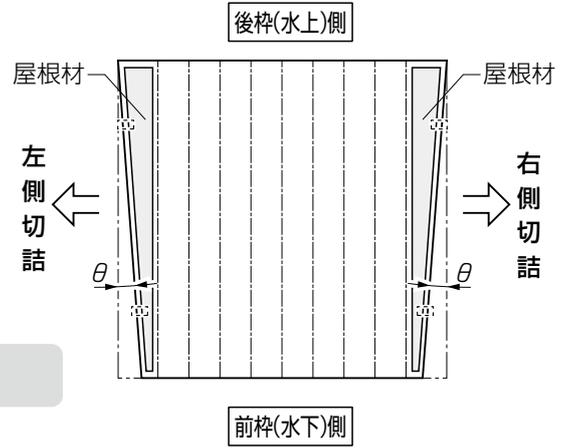
(9) 屋根材の加工 (2台用・3台用共通)



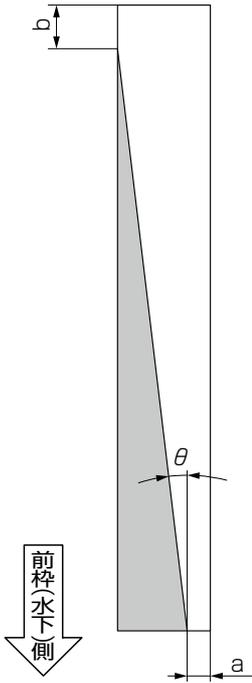
①屋根材を加工してください。

お願い

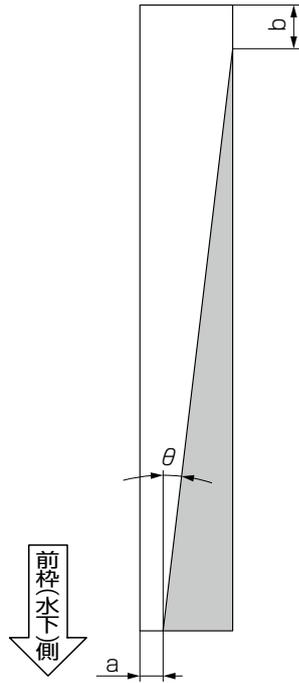
屋根材がブラックマット色の場合は、キズや汚れが目立ちやすいため、取扱いには注意してください。



[左側切り詰め] の場合

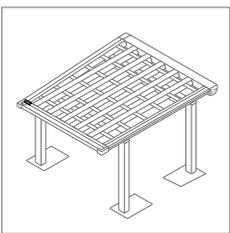


[右側切り詰め] の場合

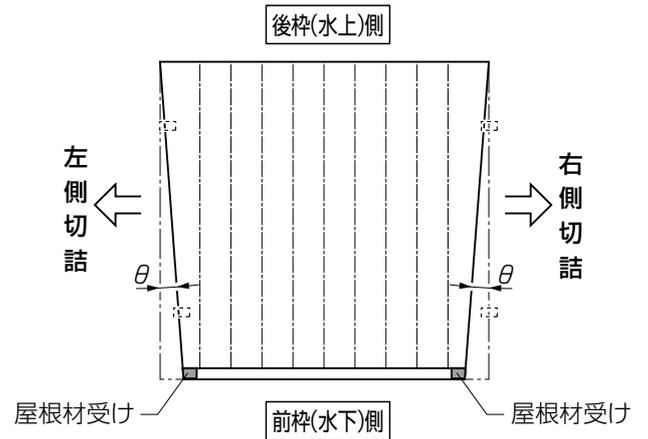


θ	L50		L54		L57	
	a	b	a	b	a	b
2°	403	48	389	48	379	48
3°	318	49	297	49	282	49
4°	233	49	205	49	184	49
5°	148	49	113	49	-	-

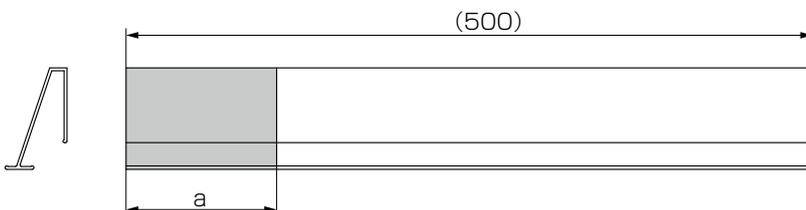
(10) 屋根材受けの加工 (2台用・3台用共通)



①屋根材受けを加工してください。



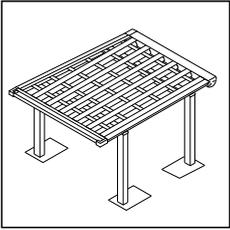
[左側切り詰め]、[右側切り詰め] 共通



θ	a		
	L50	L54	L57
2°	160	170	180
3°	230	250	270
4°	310	340	360
5°	390	420	-

□ 後柵側切詰め

(1) 全体配置確認

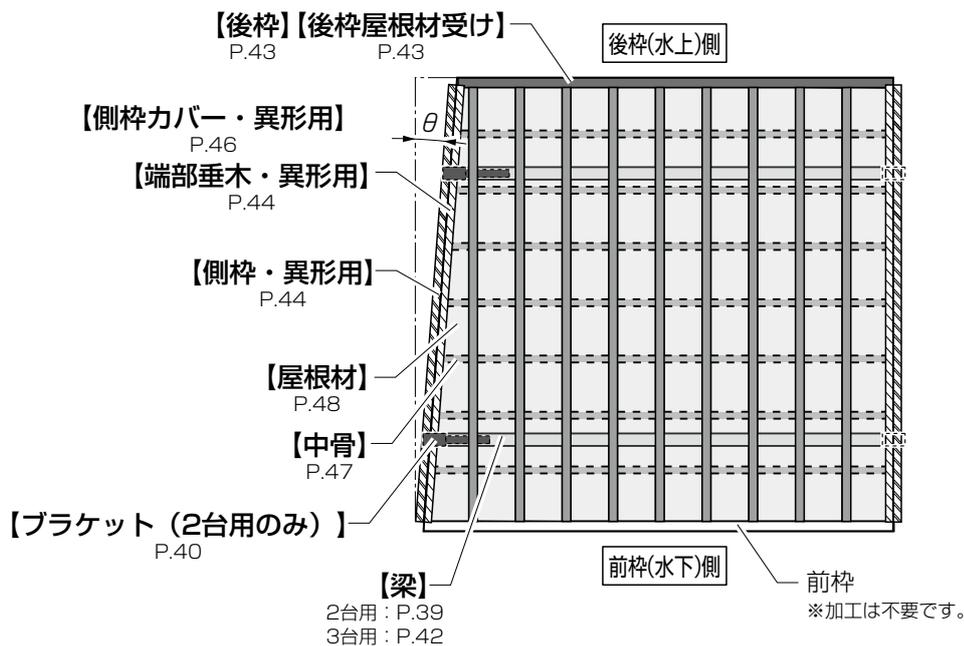


本項目は【後柵側切詰め側面台形】の場合の作業です。

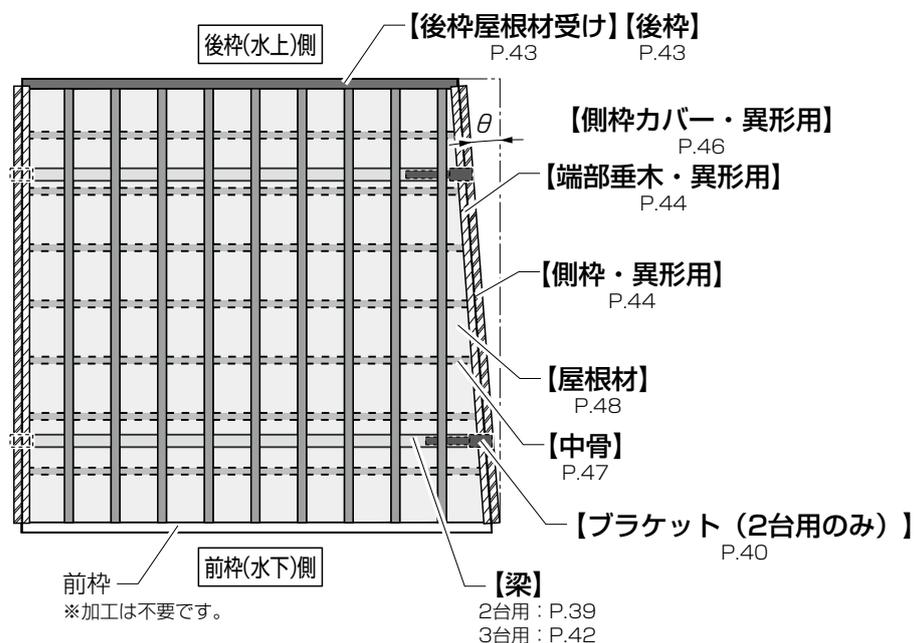
お願い

- ・後柵側 側面台形には前柵側から見て、[右側切り詰め] [左側切り詰め] があります。形材の切断する向きと部材の配置を確認して、加工を行なってください。
- ・後柵側 側面台形を施工の場合は【後柵】【後柵屋根材受け】【側柵カバー・異形用】【端部垂木・異形用】【側柵・異形用】【屋根材】【中骨】【ブラケット(2台用のみ)】【前柵】【梁】の加工が必要です。

【左側切り詰め】の場合



【右側切り詰め】の場合



(2) 梁の加工【2台用の場合】

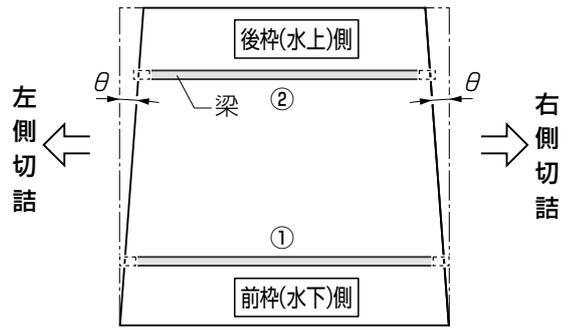


①梁を加工してください。

お願い

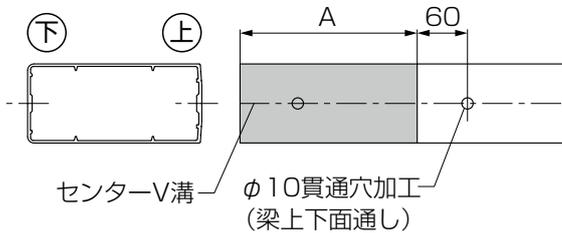
柱移動した場合のAは、P.26で算出した「補正值」を適用してください。また、 $\theta = 5^\circ$ の場合の $\phi 6$ 穴加工（ブラケットボルト穴と垂木が重なる場合の回避）も現場合わせにて調整してください。

θ	A					
	L50		L54		L57	
	①	②	①	②	①	②
1°	17	68	19	73	20	77
2°	34	135	37	146	39	154
3°	51	203	56	219	59	232
4°	68	271	75	292	78	309
5°	85	339	94	365	98	387



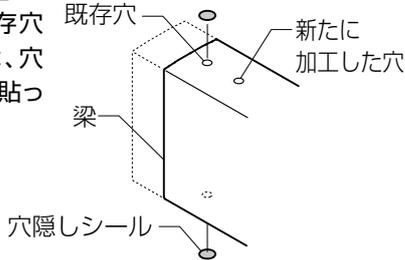
【左側切り詰め】の場合

【 $\theta = 1^\circ \sim 4^\circ$ の場合】



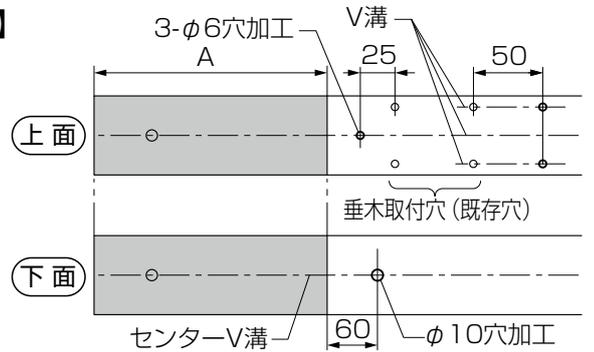
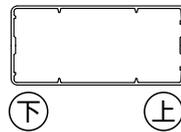
お願い

梁切断後、既存穴が残る場合は、穴隠しシールを貼ってください。

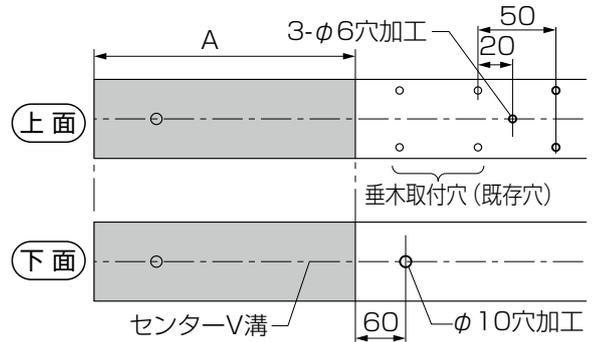
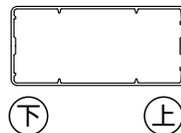


【 $\theta = 5^\circ$ の場合】

●L50、L54

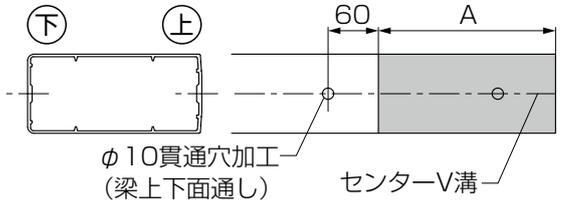


●L57



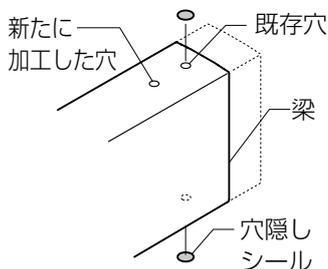
【右側切り詰め】の場合

【 $\theta = 1^\circ \sim 4^\circ$ の場合】



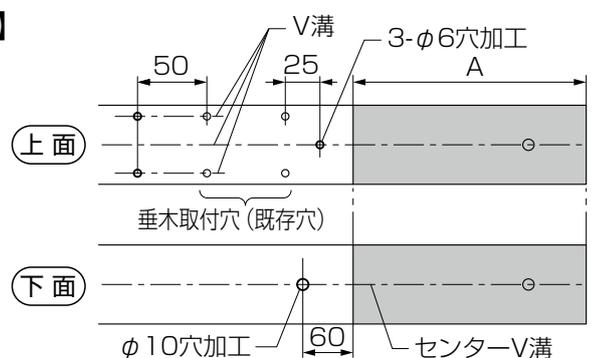
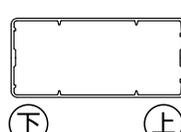
お願い

梁切断後、既存穴が残る場合は、穴隠しシールを貼ってください。

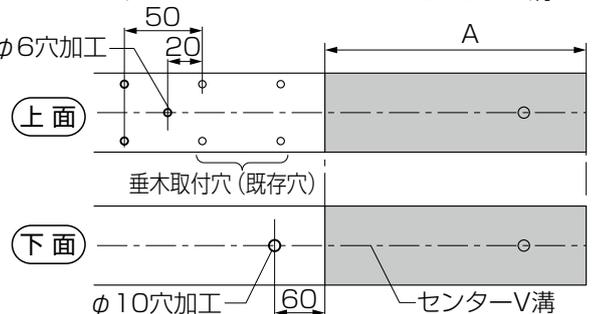
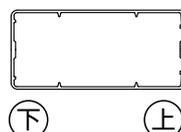


【 $\theta = 5^\circ$ の場合】

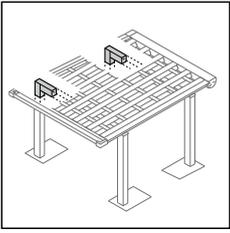
●L50、L54



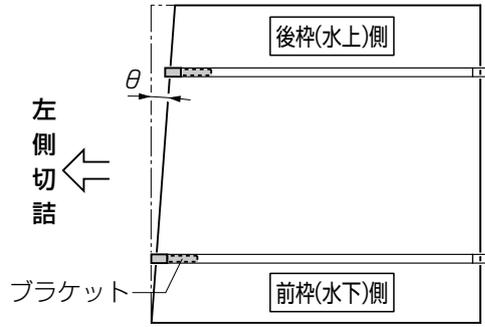
●L57



(3) ブラケットの加工【2台用の場合】



① ブラケットを加工してください。

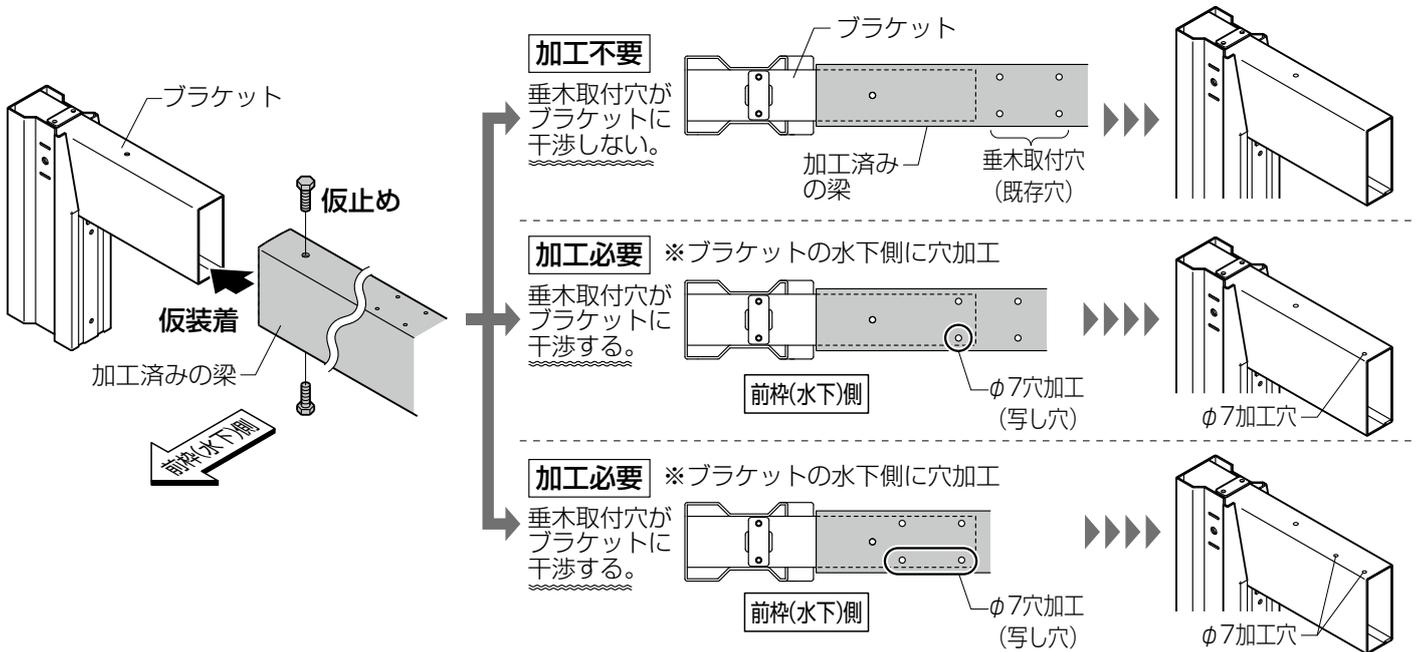


【左側切り詰め】の場合

【 $\theta = 1^\circ \sim 4^\circ$ の場合】

お願い

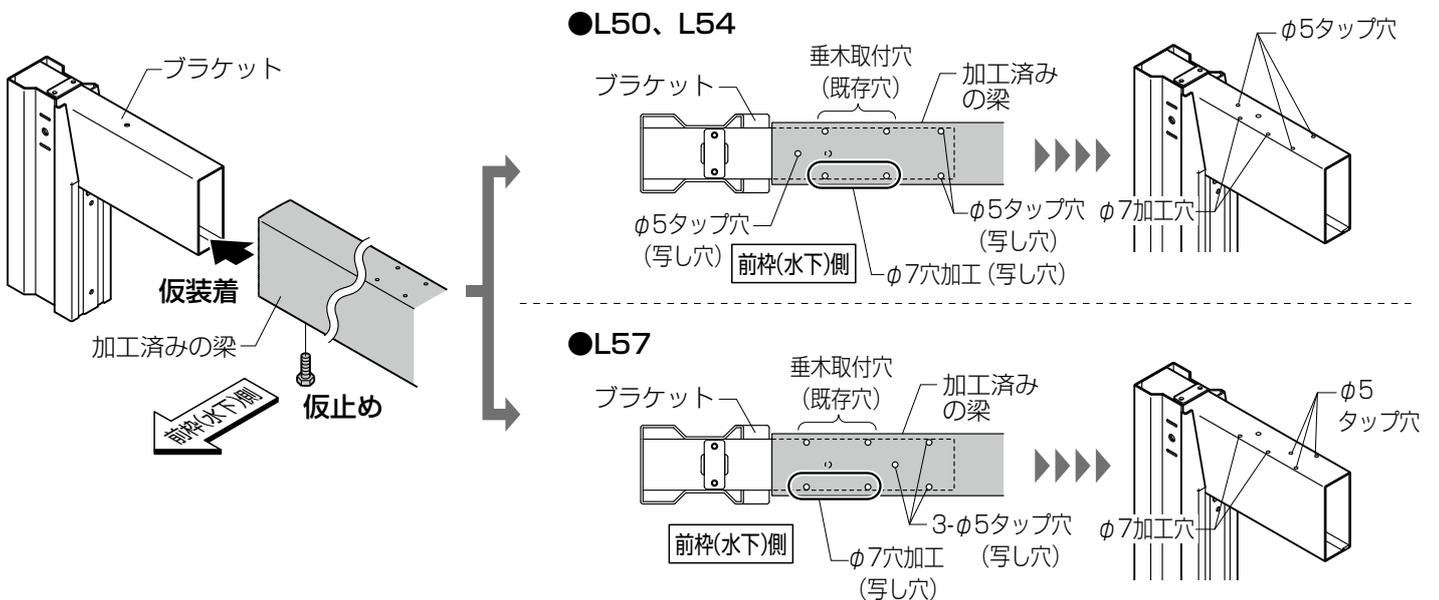
・「(2) 梁の加工」で加工済みの梁をブラケットに仮装着し、垂木取付ネジの逃げ穴 ($\phi 7$) を加工してください。



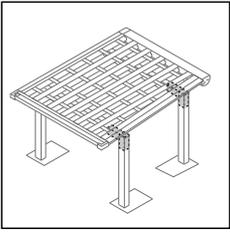
【 $\theta = 5^\circ$ の場合】

お願い

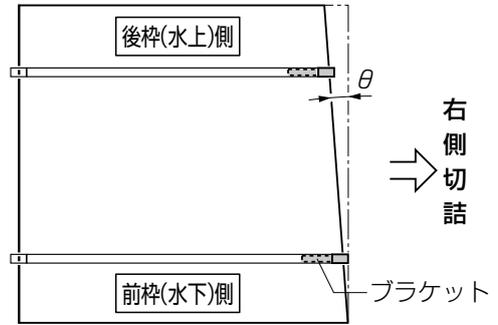
・「(2) 梁の加工」で加工済みの梁をブラケットに仮装着し、垂木取付ネジの逃げ穴 ($\phi 7$) と梁取付用の下穴 ($\phi 5$ タップ穴) を加工してください。



(3) ブラケットの加工【2台用の場合】 つづき



① ブラケットを加工してください。

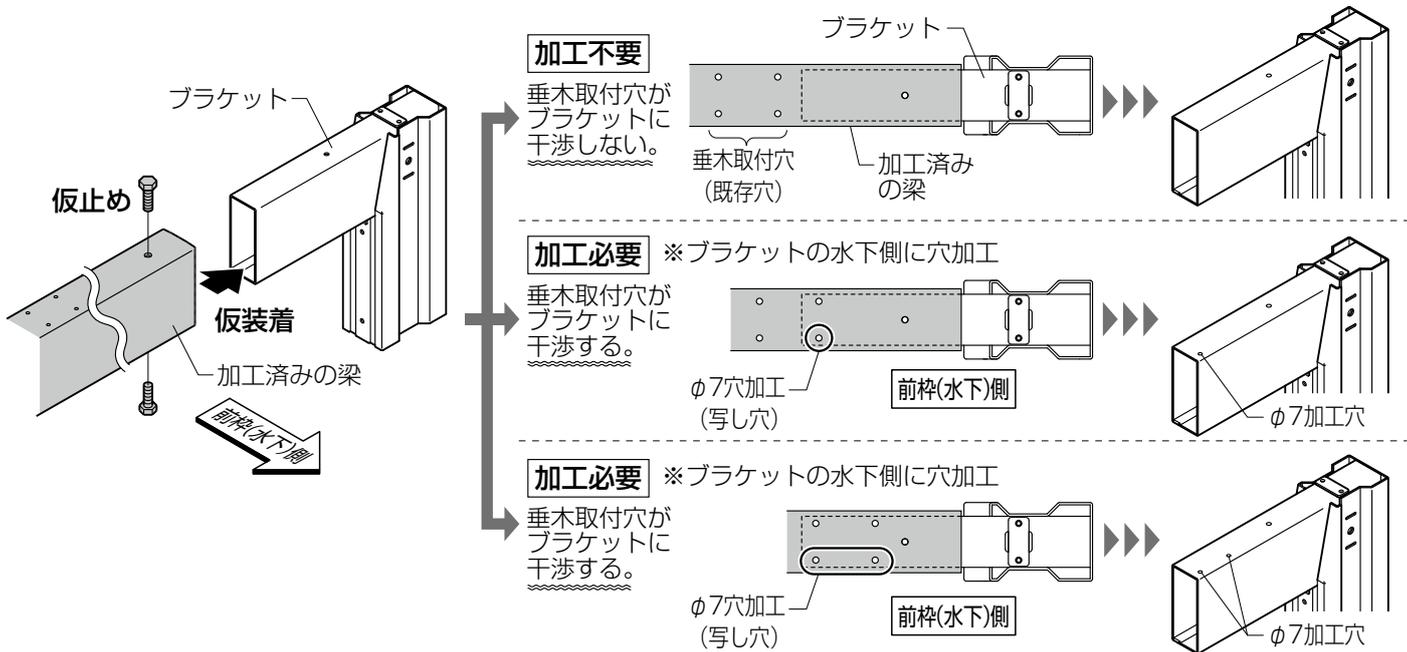


【右側切り詰め】の場合

【 $\theta = 1^\circ \sim 4^\circ$ の場合】

お願い

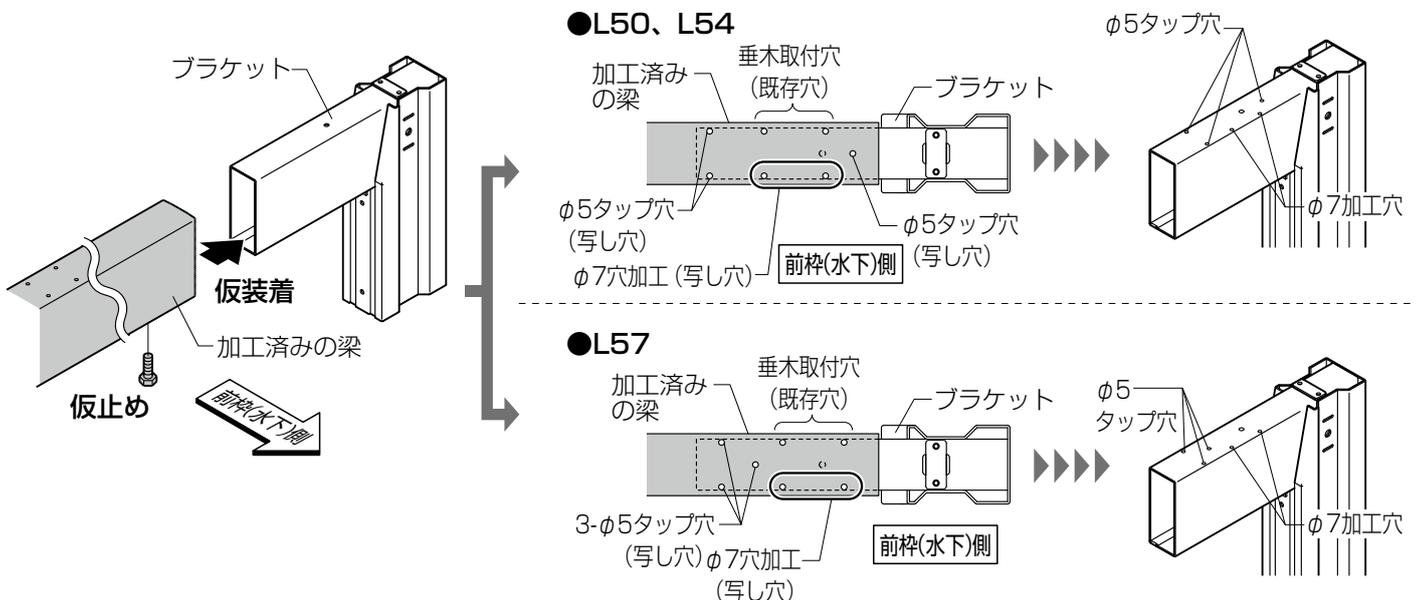
・「(2) 梁の加工」で加工済みの梁をブラケットに仮装着し、垂木取付ネジの逃げ穴 ($\phi 7$) を加工してください。



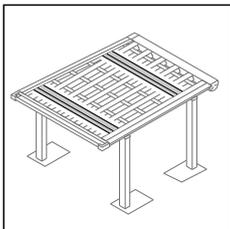
【 $\theta = 5^\circ$ の場合】

お願い

・「(2) 梁の加工」で加工済みの梁をブラケットに仮装着し、垂木取付ネジの逃げ穴 ($\phi 7$) と梁取付用の下穴 ($\phi 5$ タップ穴) を加工してください。

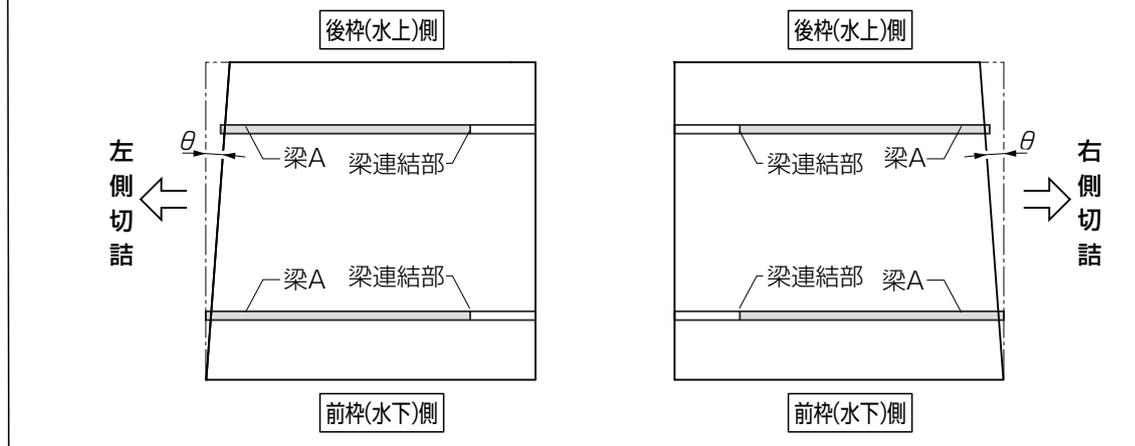


(4) 梁の加工【3台用の場合】



確認

・長い方の梁（梁A）を加工し、切詰め側に使用します。

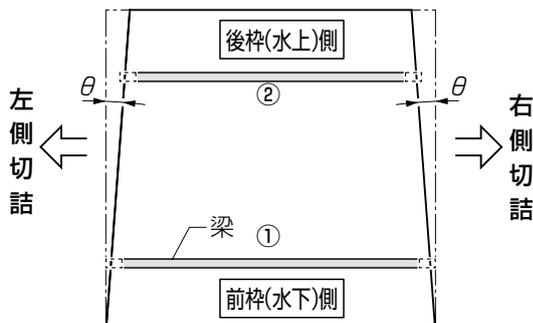


①梁を加工してください。

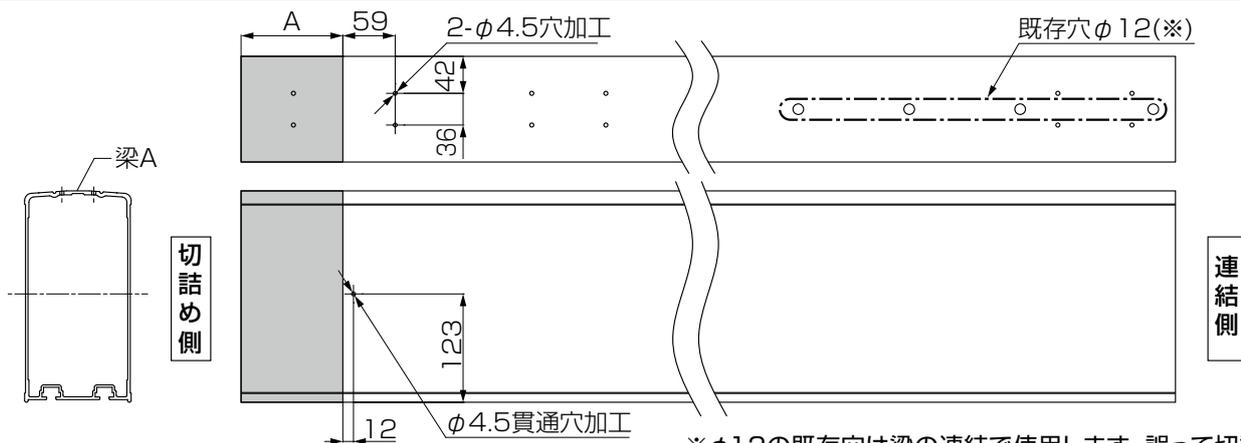
お願い

柱移動した場合のAは、P.26で算出した「補正值」を適用してください。

θ	A					
	L50		L54		L57	
	①	②	①	②	①	②
1°	17	68	19	73	20	77
2°	34	135	37	146	39	154
3°	51	203	56	219	59	232
4°	68	271	75	292	78	309
5°	85	339	94	365	98	387

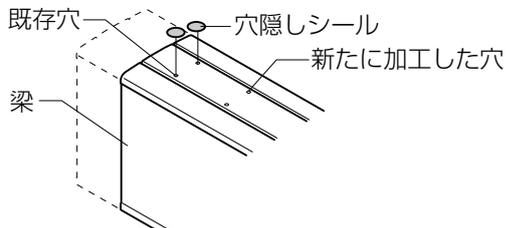


【左側切り詰め】、【右側切り詰め】共通



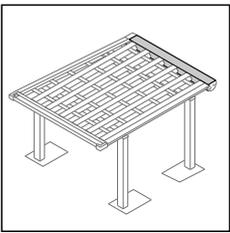
お願い

梁切断後、既存穴が残る場合は、穴隠しシールを貼ってください。



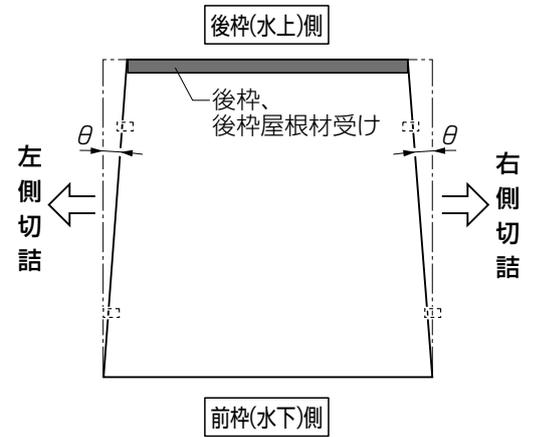
※φ12の既存穴は梁の連結で使用します。誤って切詰めした場合施工ができなくなるため、加工の向きにご注意ください。

(4) 後枠、後枠屋根材受けの加工 (2台用・3台用共通)



①後枠と後枠屋根材受けを加工してください。

θ	a		
	L50	L54	L57
1°	84	91	96
2°	168	182	192
3°	252	273	289
4°	336	364	385
5°	421	456	482

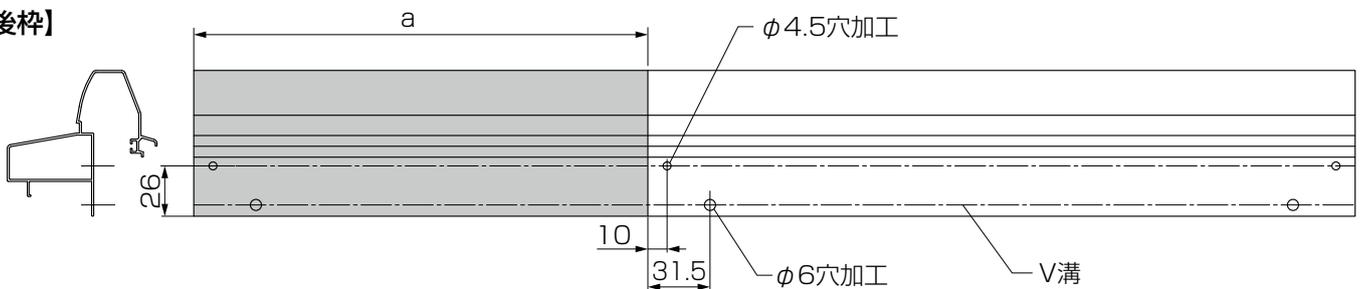


お願い

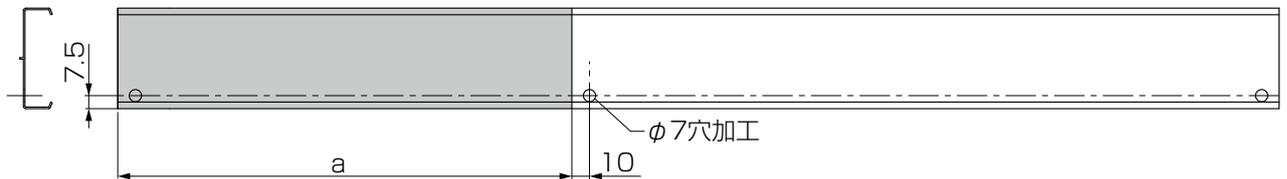
・3台用の後枠、後枠屋根材受けは、部材を連結して使用します。連結側、端部側を確認して、加工を行ってください。

[左側切り詰め] の場合

【後枠】

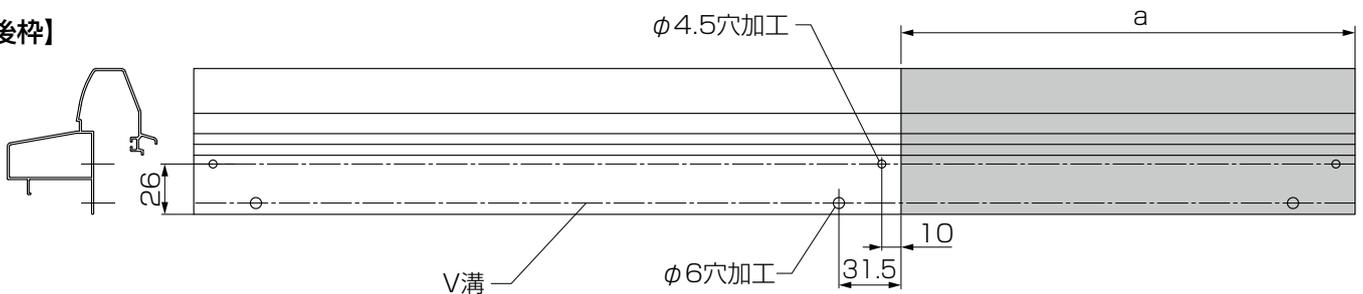


【後枠屋根材受け】



[右側切り詰め] の場合

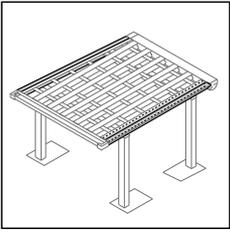
【後枠】



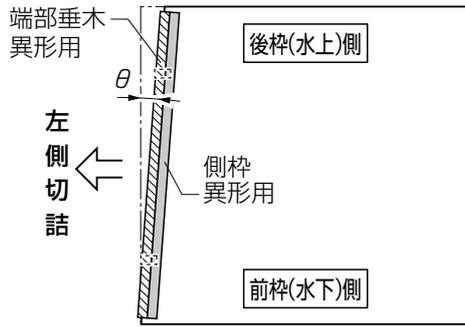
【後枠屋根材受け】



(5) 端部垂木・異形用、側枠・異形用の加工 (2台用・3台用共通)

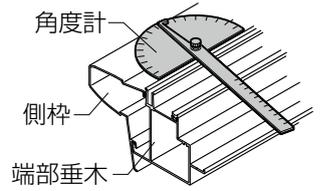


- ①端部垂木・異形用と側枠・異形用を切断してください。
- ②端部垂木・異形用に穴加工と切り欠き加工をしてください。

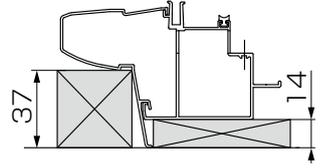


お願い

・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所に当てがい、けがいてください。



・切断の際は、図を参考に当て木などで水平を確保してください。

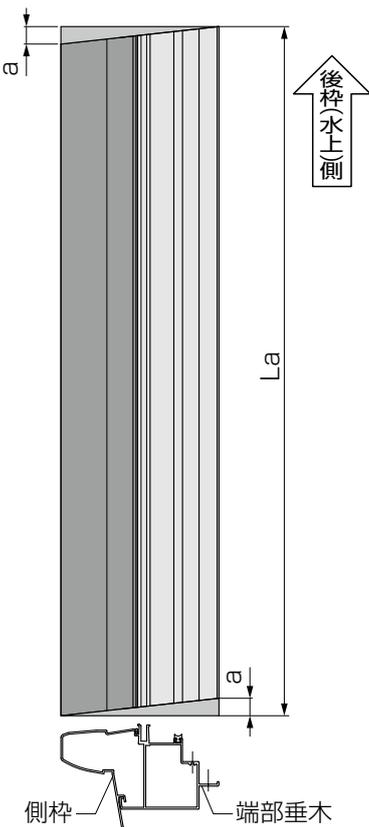


[左側切り詰め] の場合

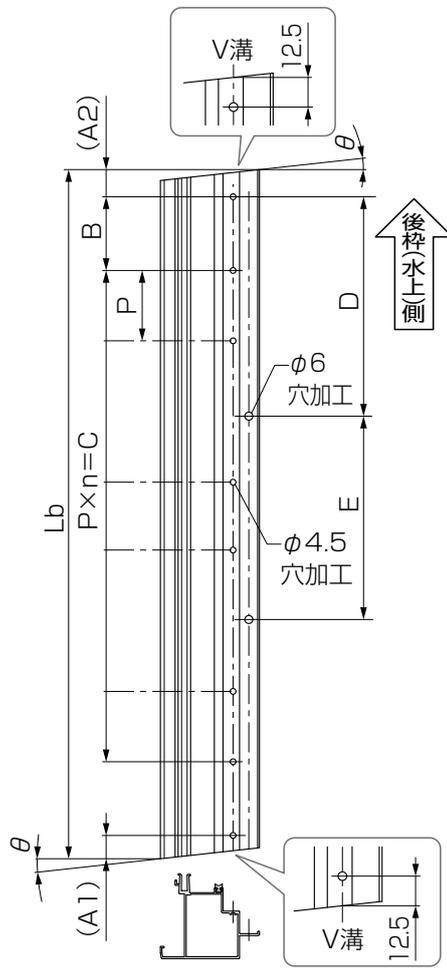
①切断加工

お願い

切断加工は端部垂木と側枠を組付けた状態で行なってください。



②穴加工



共通

θ	A1	A2
1°	13	13
2°	14	13
3°	15	13
4°	16	14
5°	17	14

お願い

柱移動した場合は、 $\phi 6$ 穴位置 (寸法D、E) は合いません。現場合わせにて調整してください。

L50

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
1°	4838	2	4837	640	706.1	5	3530.5	950	2907
2°	4842	4	4840	640	706.4	5	3532.2	950	2909
3°	4847	5	4845	641	707.0	5	3534.8	950	2911
4°	4854	7	4851	642	707.7	5	3538.6	950	2914
5°	4862	9	4859	642	708.7	5	3543.5	950	2918

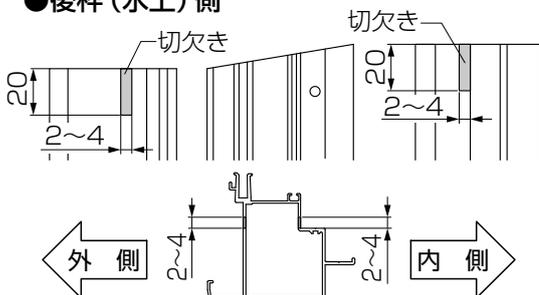
L54

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
1°	5239	2	5238	602	668.1	6	4008.6	1054	3108
2°	5243	4	5241	602	668.4	6	4010.4	1054	3110
3°	5249	5	5247	602	668.9	6	4013.5	1054	3112
4°	5256	7	5253	603	669.6	6	4017.8	1054	3116
5°	5265	9	5262	604	670.6	6	4023.3	1055	3120

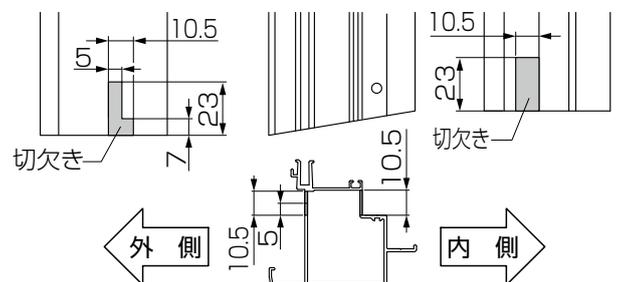
L57

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
1°	5539	2	5538	638	706.1	6	4236.6	1100	3309
2°	5543	4	5542	638	706.4	6	4238.6	1100	3310
3°	5549	5	5547	638	707.0	6	4241.8	1100	3313
4°	5557	7	5554	639	707.7	6	4246.3	1100	3316
5°	5566	9	5563	640	708.7	6	4252.2	1101	3321

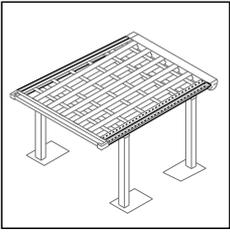
③切欠き加工 ●後枠(水上側)



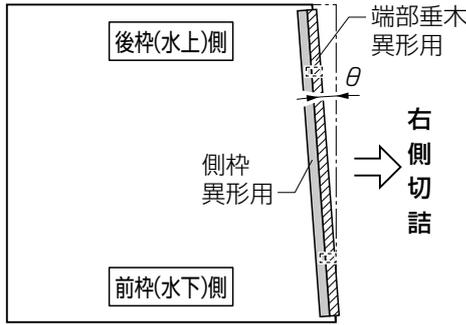
●前枠(水下側)



(5) 端部垂木・異形用、側枠・異形用の加工 つづき

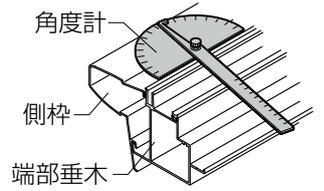


- ①端部垂木・異形用と側枠・異形用を切断してください。
- ②端部垂木・異形用に穴加工と切り欠き加工をしてください。

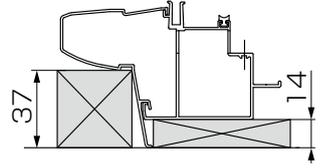


お願い

・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所に当てがい、けがいてください。



・切断の際は、図を参考に当て木などで水平を確保してください。

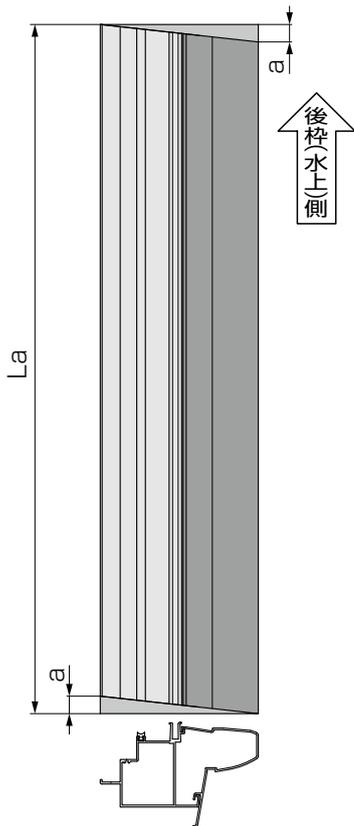


[右側切り詰め] の場合

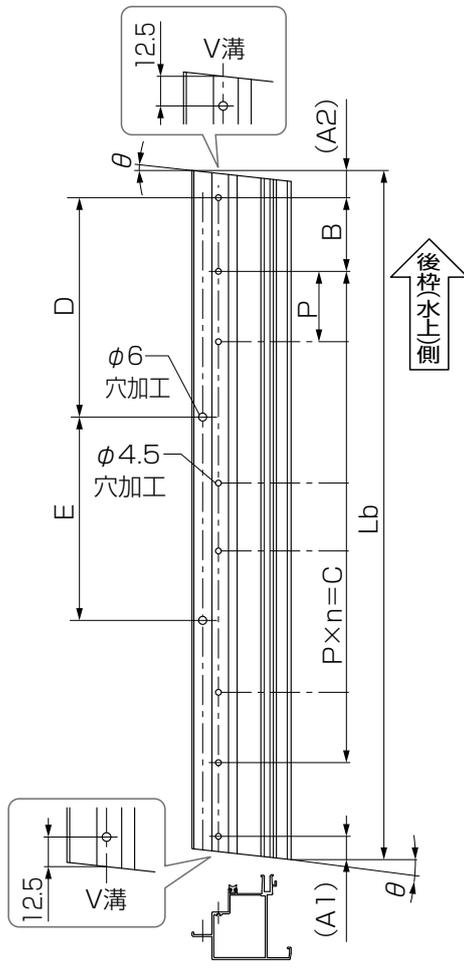
①切断加工

お願い

切断加工は端部垂木と側枠を組付けた状態で行なってください。



②穴加工



共通

θ	A1	A2
1°	13	13
2°	14	13
3°	15	13
4°	16	14
5°	17	14

お願い

柱移動した場合は、 $\phi 6$ 穴位置 (寸法D、E) は合いません。現場合わせにて調整してください。

L50

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
1°	4838	2	4837	640	706.1	5	3530.5	950	2907
2°	4842	4	4840	640	706.4	5	3532.2	950	2909
3°	4847	5	4845	641	707.0	5	3534.8	950	2911
4°	4854	7	4851	642	707.7	5	3538.6	950	2914
5°	4862	9	4859	642	708.7	5	3543.5	950	2918

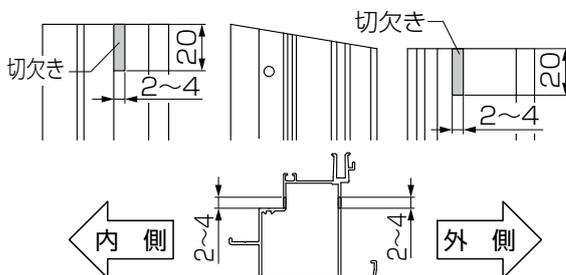
L54

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
1°	5239	2	5238	602	668.1	6	4008.6	1054	3108
2°	5243	4	5241	602	668.4	6	4010.4	1054	3110
3°	5249	5	5247	602	668.9	6	4013.5	1054	3112
4°	5256	7	5253	603	669.6	6	4017.8	1054	3116
5°	5265	9	5262	604	670.6	6	4023.3	1055	3120

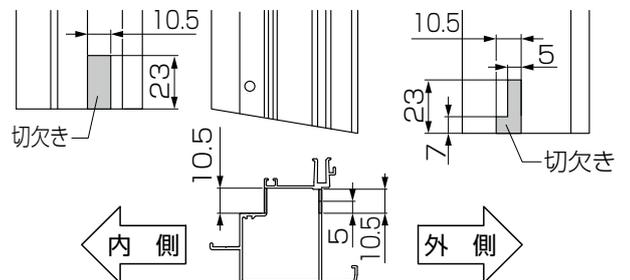
L57

θ	La	a	Lb	B	P	n	C	D	E
1°	5539	2	5538	638	706.1	6	4236.6	1100	3309
2°	5543	4	5542	638	706.4	6	4238.6	1100	3310
3°	5549	5	5547	638	707.0	6	4241.8	1100	3313
4°	5557	7	5554	639	707.7	6	4246.3	1100	3316
5°	5566	9	5563	640	708.7	6	4252.2	1101	3321

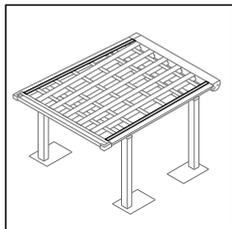
③切欠き加工 ●後枠 (水上側)



●前枠 (水下側)

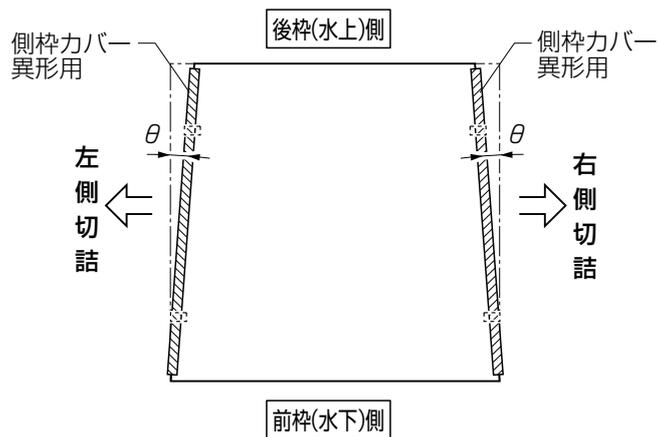


(6) 側枠カバー・異形用の加工 (2台用・3台用共通)

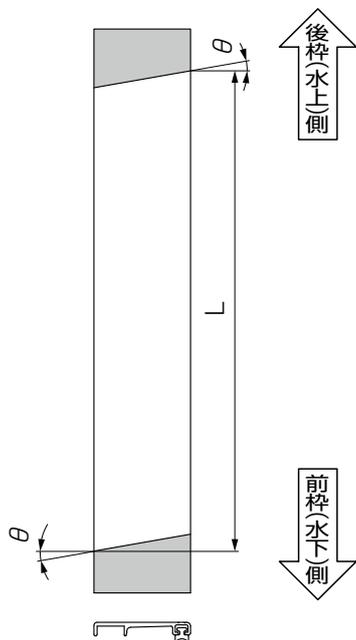


①側枠カバーを加工してください。

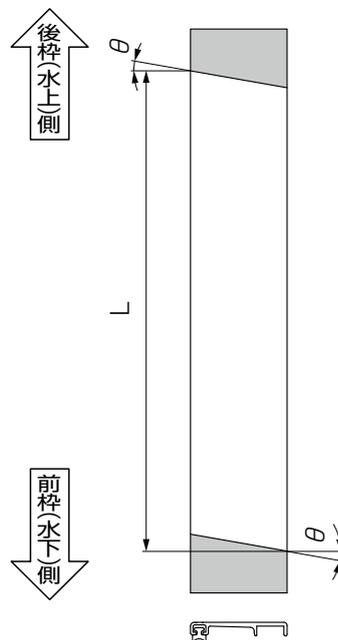
θ	L		
	L50	L54	L57
1°	4880	5281	5581
2°	4883	5284	5584
3°	4887	5289	5589
4°	4893	5295	5596
5°	4900	5303	5604



[左側切り詰め] の場合

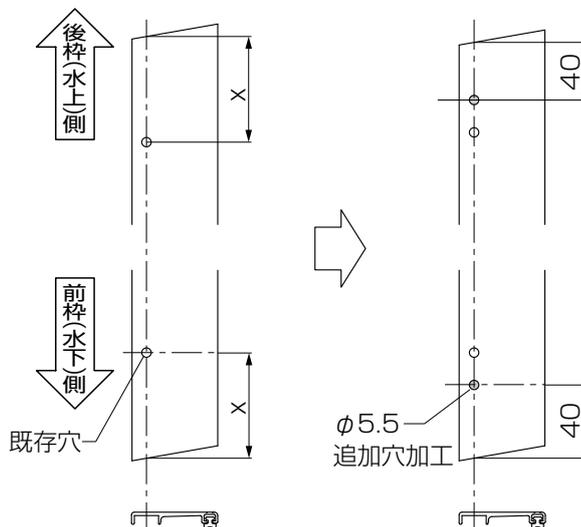


[右側切り詰め] の場合

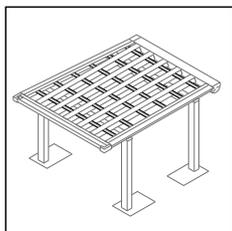


お願い

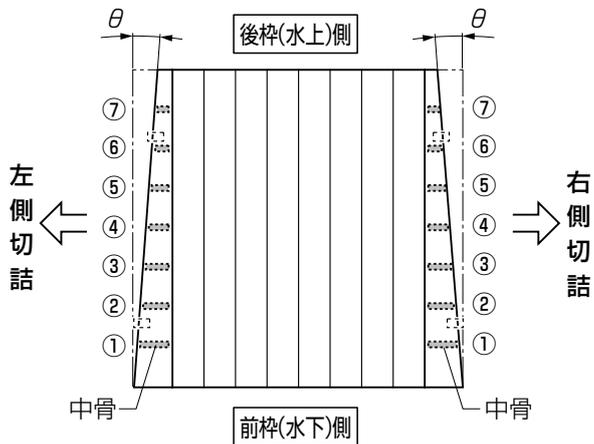
- ・切断面から1つ目の $\phi 5.5$ 穴の位置 (x) が、35mm~50mmの範囲にない場合、40mmの位置に追加穴加工してください。
- ・35mm以下の範囲にある穴は、使用しません。コーキングで埋めてください。



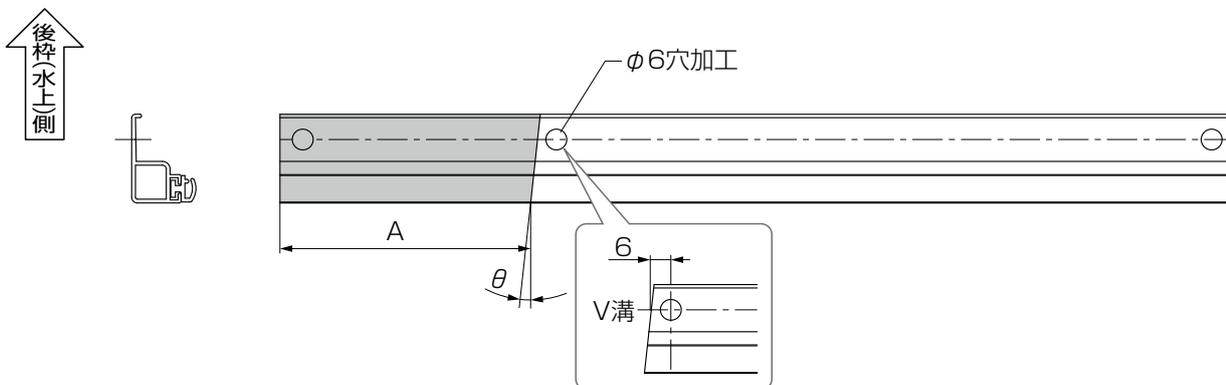
(7) 中骨の加工 (2台用・3台用共通)



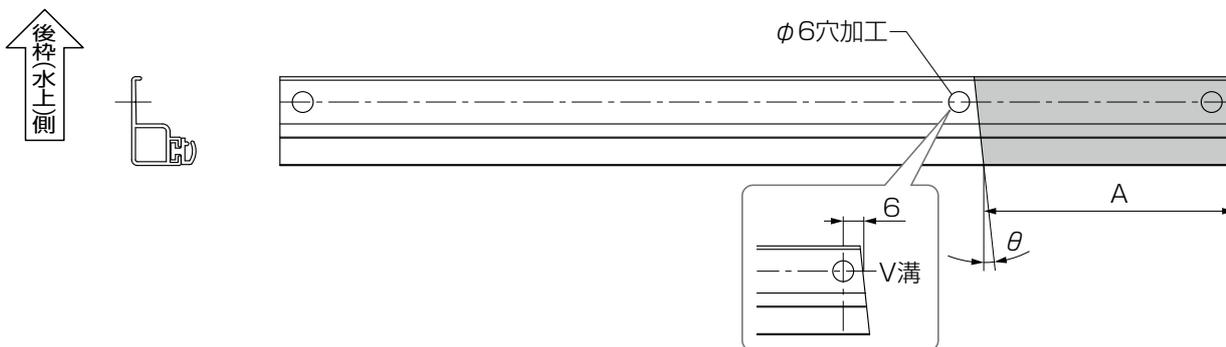
①中骨を加工してください。



[左側切り詰め] の場合



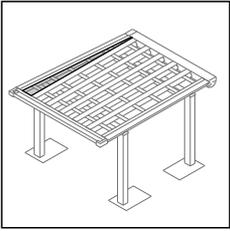
[右側切り詰め] の場合



奥行	A																				
	L50							L54							L57						
θ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1°	11	23	36	48	60	72	-	10	22	34	45	57	69	80	11	23	35	48	60	72	85
2°	22	46	71	96	120	145	-	20	44	67	90	114	137	160	22	46	71	96	120	145	170
3°	33	70	107	144	181	218	-	31	66	101	136	171	206	241	33	70	107	144	181	218	255
4°	44	93	142	192	241	290	-	41	88	134	181	228	274	321	43	93	142	191	241	290	340
5°	55	116	178	240	302	363	-	51	110	168	226	285	343	402	54	116	178	240	301	363	425

※L50サイズは ~⑥までとなります。

(8) 屋根材の加工 (2台用・3台用共通)

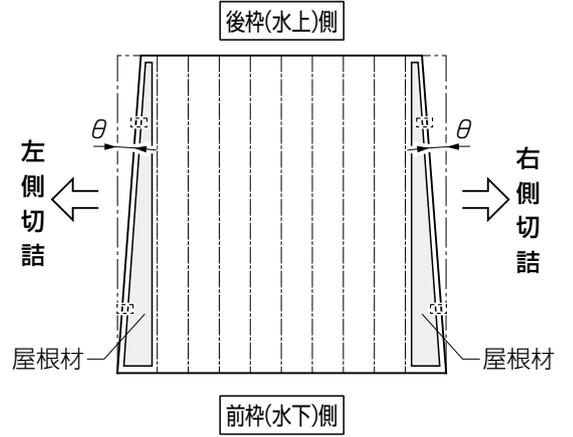


①屋根材を加工してください。

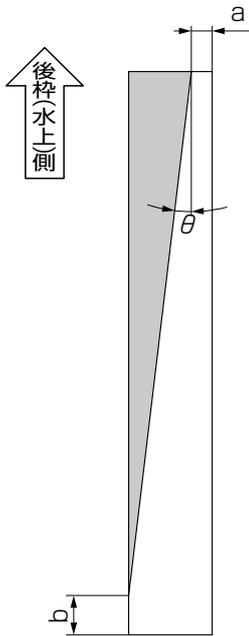
お願い

屋根材がブラックマット色の場合は、キズや汚れが目立ちやすいため、取扱いには注意してください。

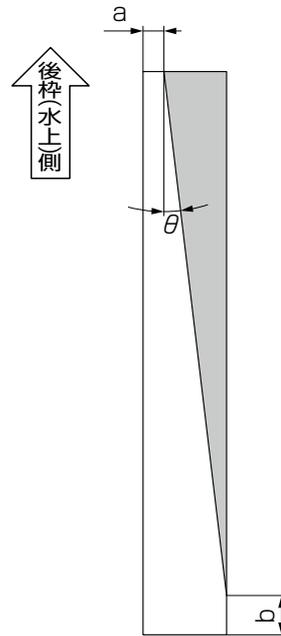
θ	L50		L54		L57	
	a	b	a	b	a	b
1°	488	48	481	48	476	48
2°	403	48	389	48	379	48
3°	318	49	297	49	282	49
4°	233	49	205	49	184	49
5°	148	49	113	49	87	49



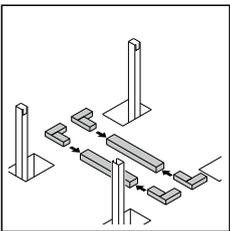
[左側切り詰め]の場合



[右側切り詰め]の場合

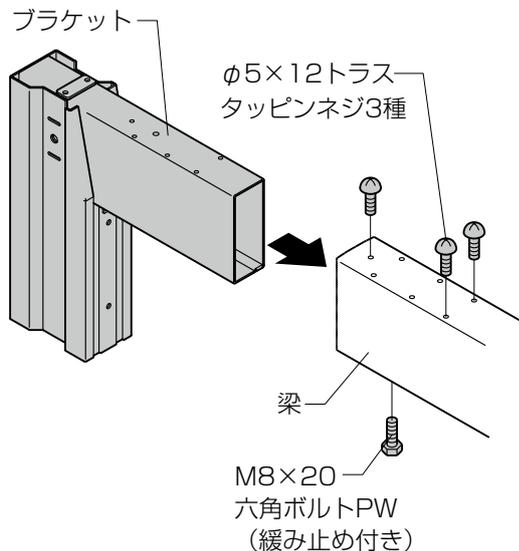


3 ブラケットと梁の組立て [2台用の場合] ※ $\theta = 5^\circ$ に設定した場合の作業です。

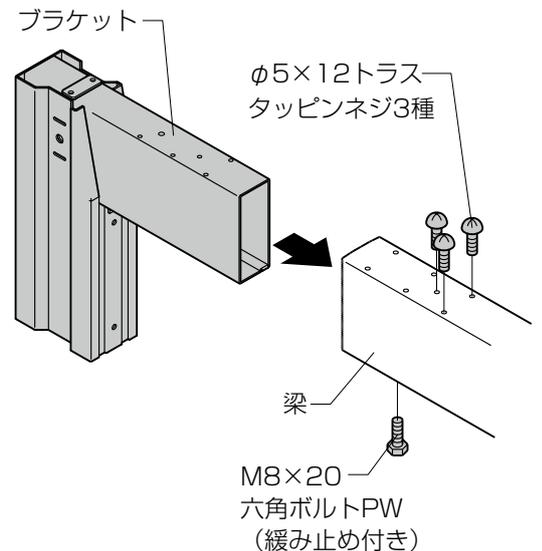


①ブラケットを梁に差込み「 $\phi 5 \times 12$ トラス タッピンネジ3種」と「M8 \times 20六角ボルトPW (緩み止め付き)」で取付けてください。

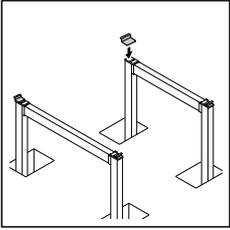
□ L50、L54の場合



□ L57の場合



4 端部垂木固定金具の取付け

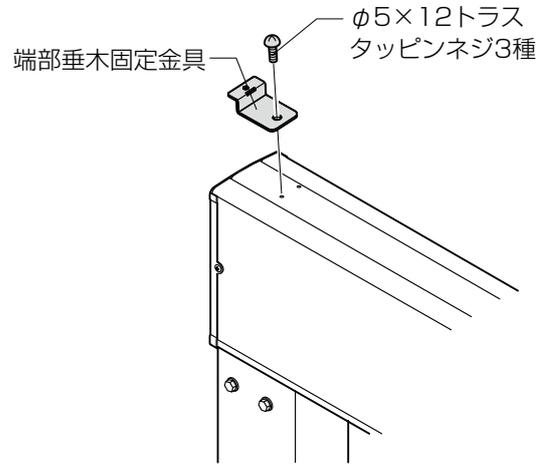
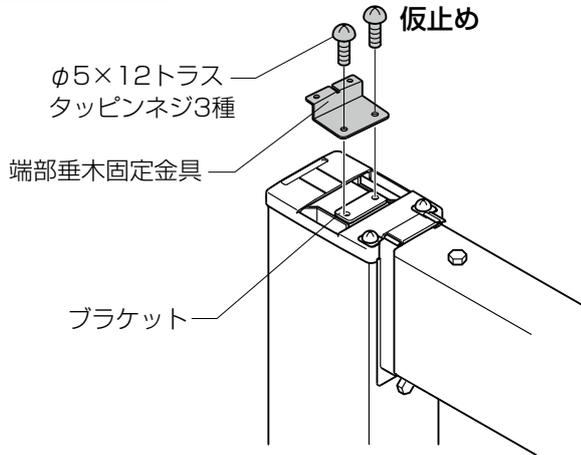


取付け方法とシーリングについては
 2台用：「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書(D588)」
 3台用：「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書(D680)」
 をご覧ください。

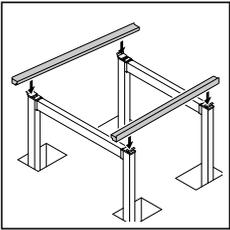
①端部垂木固定金具をブラケットにφ5×12トラスタッピンネジ3種で仮止めしてください。

【2台用の場合】

【3台用の場合】



5 端部垂木・前枠・後枠の取付け



取付け方法とシーリングについては
 2台用：「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書(D588)」
 3台用：「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書(D680)」
 をご覧ください。

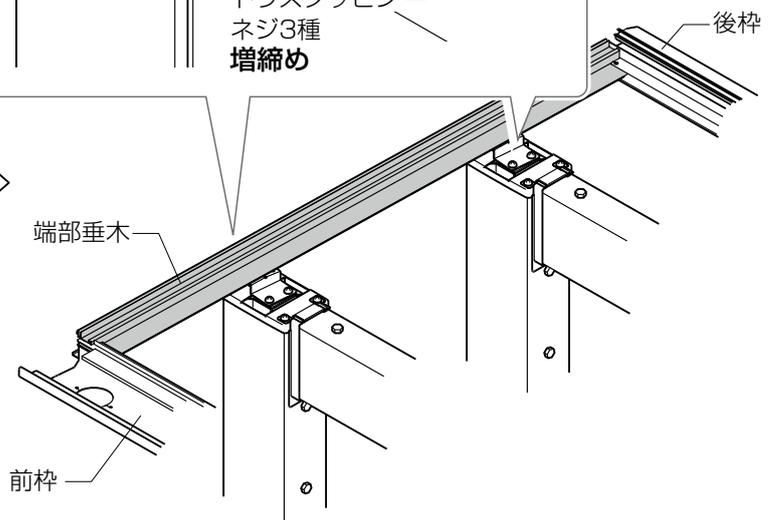
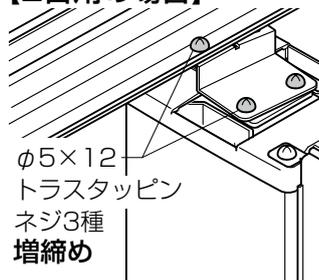
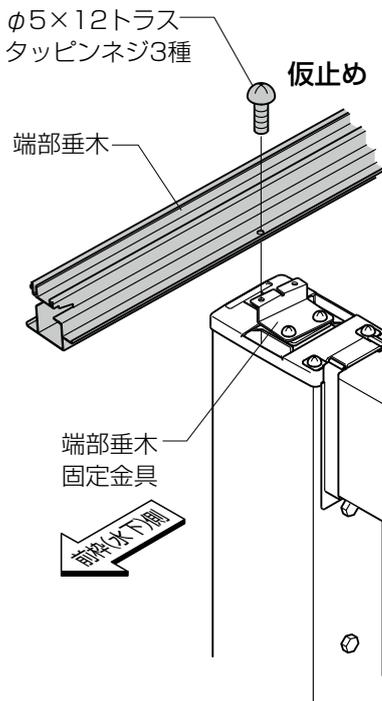
①端部垂木を端部垂木固定金具にφ5×12トラスタッピンネジ3種で仮止めしてください。
 ②前枠と後枠を端部垂木にφ5×12トラスタッピンネジ3種で取付けてください。

お願い

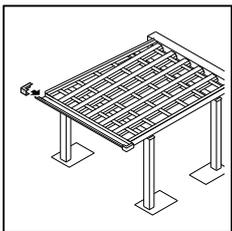
前枠と後枠を取付け後、端部垂木の角度を調整し「φ5×12トラスタッピンネジ3種」を増締めしてください。

【2台用の場合】

【3台用の場合】



6 前枠コーナーキャップの取付け



前枠 【前枠側切詰め側面台形】
前枠台形の場合

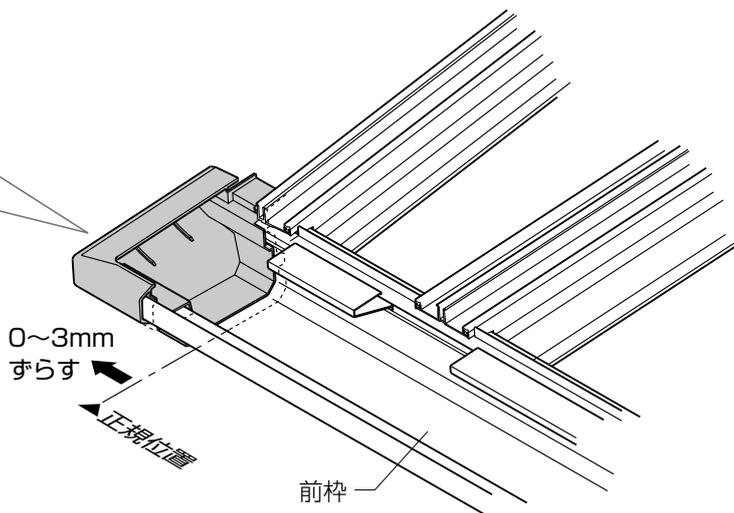
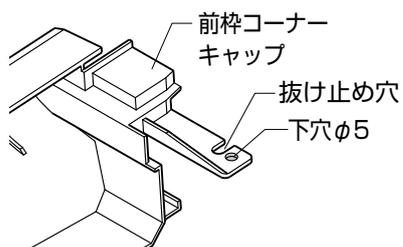


取付け方法とシーリングについては
2台用:「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書(D588)」
3台用:「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書(D680)」
をご覧ください。

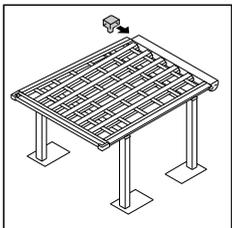
①前枠コーナーキャップを正規位置より外側へ0mm~3mmずらし取付けてください。

お願い

コーナーキャップのずらした距離に応じてφ5の下穴をあけ直すか、抜け止め穴を拡張してください。



7 後枠コーナーキャップの取付け



後枠 【後枠側切詰め側面台形】
後枠台形の場合

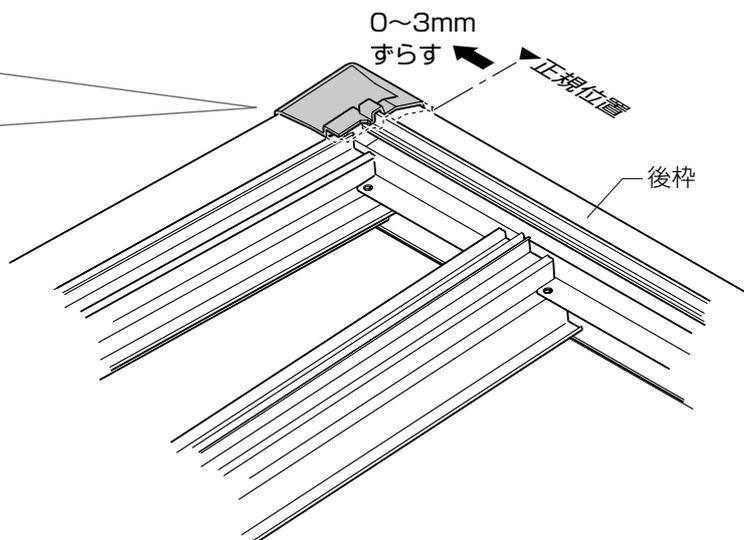
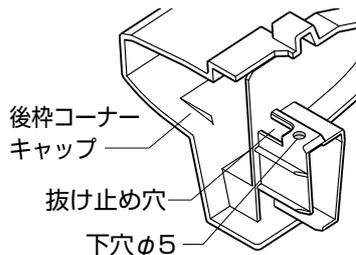


取付け方法とシーリングについては
2台用:「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書(D588)」
3台用:「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書(D680)」
をご覧ください。

①後枠コーナーキャップを正規位置より外側へ0mm~3mmずらし取付けてください。

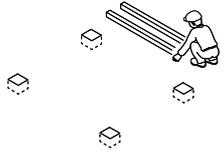
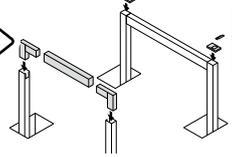
お願い

コーナーキャップのずらした距離に応じてφ5の下穴をあけ直すか、抜け止め穴を拡張してください。

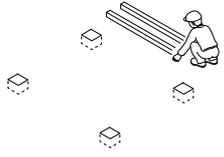
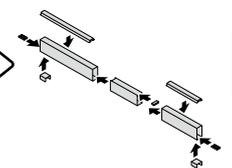
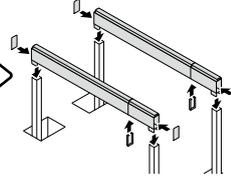


■ 施工の流れ

□ 2台用

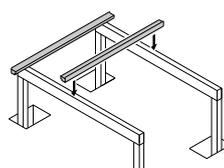
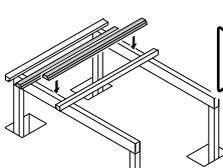
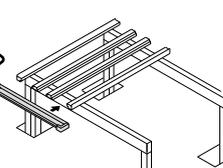
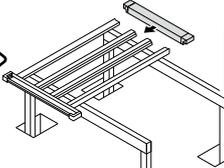
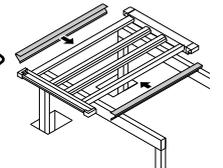
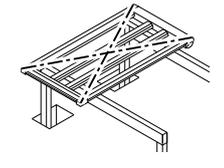
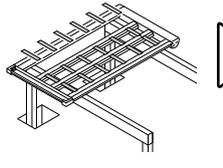
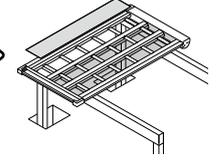
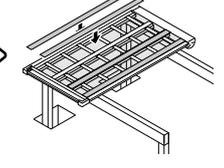
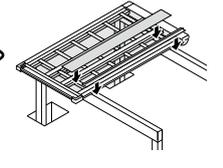
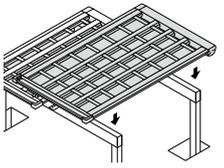
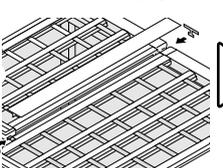
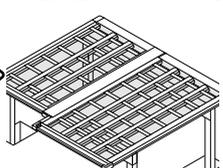
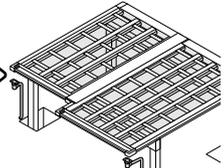
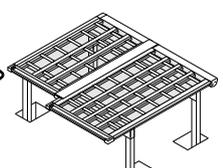
<p>1 部材、部品の加工</p> 	<p>「柱の建て込み」までの施工については、「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 (D588)」を参照してください。</p>	<p>2 ブラケットと梁の取付け</p> 	<p>以降の施工の流れは2台用・3台用共通です。</p>
--	---	--	------------------------------

□ 3台用

<p>1 部材、部品の加工</p> 	<p>「柱の建て込み」までの施工については、「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書 (D680)」を参照してください。</p>	<p>2 梁スペーサーの加工と組立て</p> 	<p>3 柱と梁の取付け</p> 
--	---	--	---

以降の施工の流れは2台用・3台用共通です。

□ 2台用・3台用共通

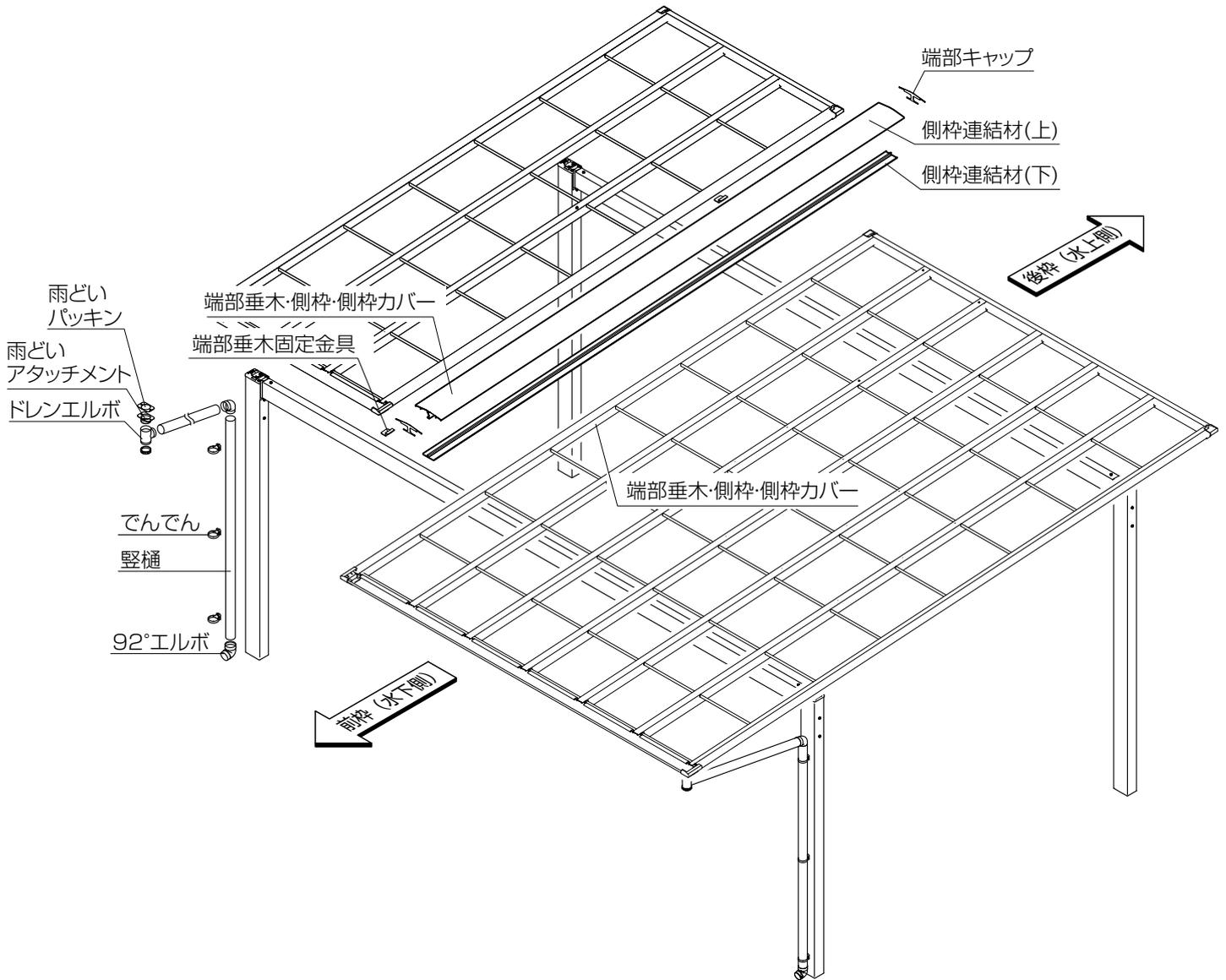
<p>1 端部垂木の取付け (切詰め側)</p> 	<p>2 垂木の取付け (切詰め側)</p> 	<p>3 前枠の取付け (切詰め側)</p> 	<p>4 後枠の取付け (切詰め側)</p> 	<p>5 側枠の取付け (切詰め側)</p> 
<p>6 対角寸法の確認 (切詰め側)</p> 	<p>7 中骨の取付け (切詰め側)</p> 	<p>8 屋根材の取付け (切詰め側)</p> 	<p>9 垂木端部垂木カバーの取付け (切詰め側)</p> 	<p>10 側枠連結材の仮置き</p> 
<p>11 基本側の屋根の取付け</p> 	<p>12 屋根連結端部キャップの取付け</p> 	<p>13 側枠連結材・屋根連結端部キャップの取付け</p> 	<p>14 縦樋の取付け</p> 	<p>15 完成</p> 

各部の名称

2台用 入隅

補 足

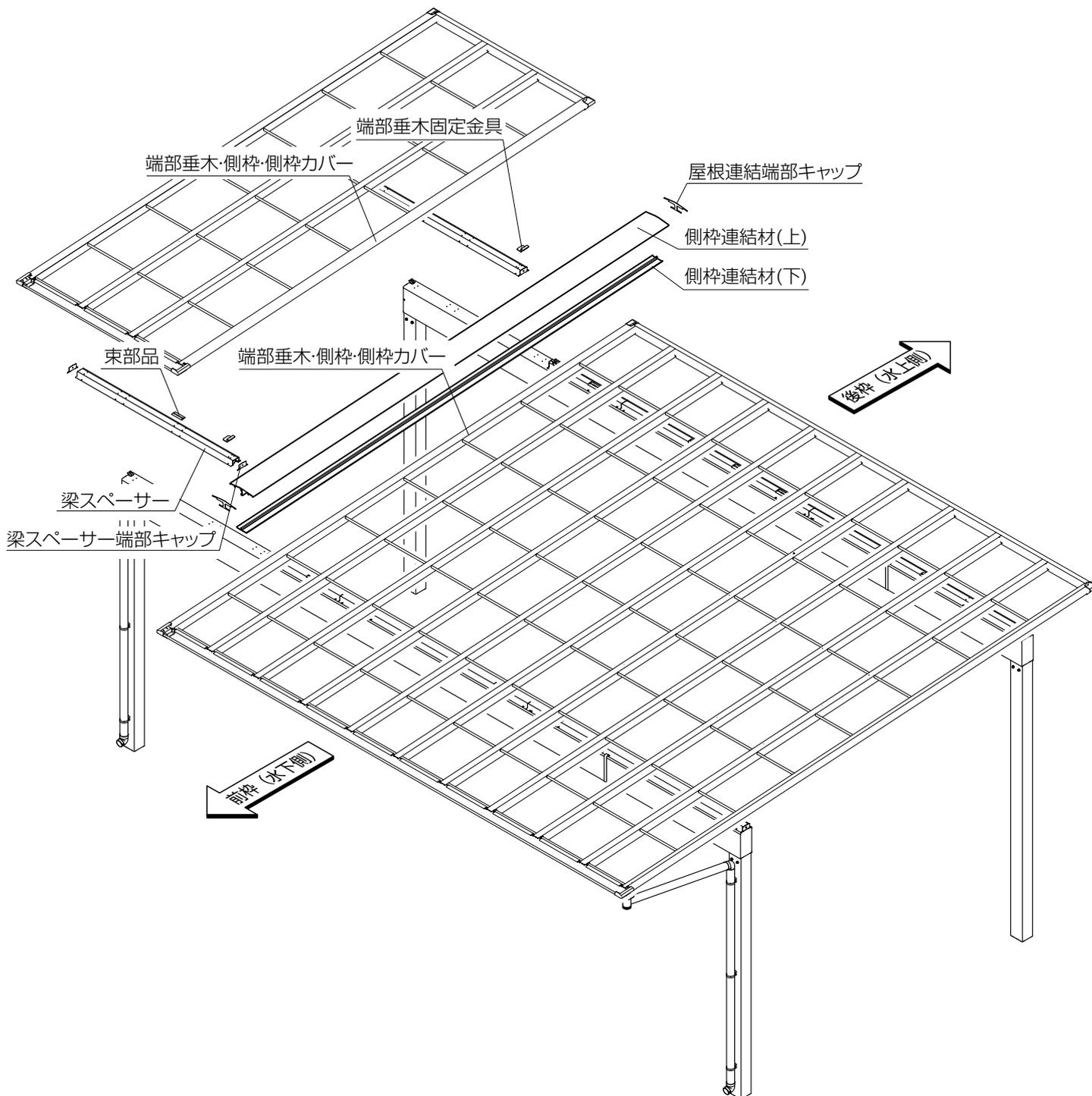
・ 下図は前柵側入隅(3スパンカット)の場合で基本タイプと異なる箇所を示します。



■3台用 入隅

補 足

・ 下図は前柵側入隅(3スパンカット)の場合で基本タイプと異なる箇所を示します。



■ 施工制限

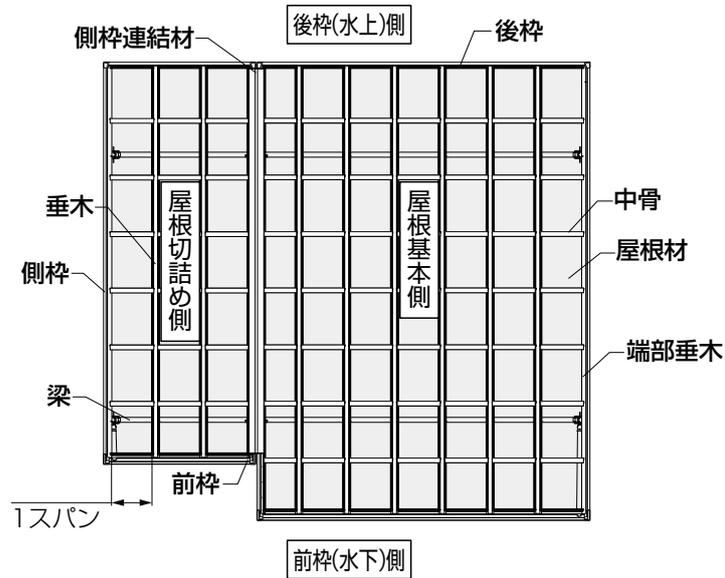
お願い

入隅を施工する場合は下記の内容を確認の上、必ずお守りください。

□ 用語、部材名称について

補 足

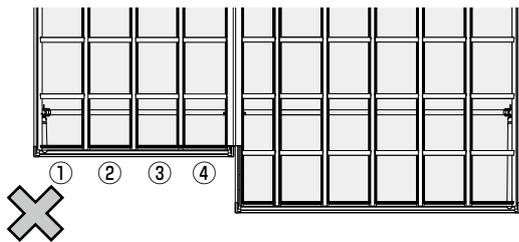
・本手順では各部品の名称および用語を下図のように示します。



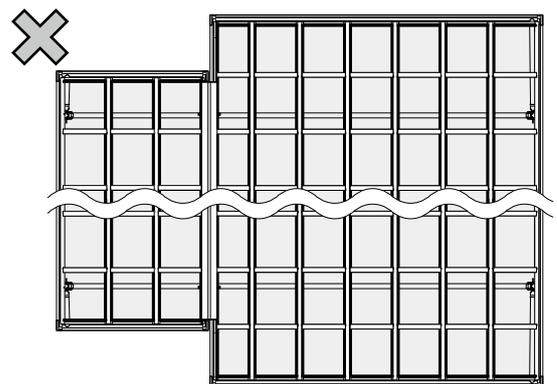
□ 切詰めについて

お願い

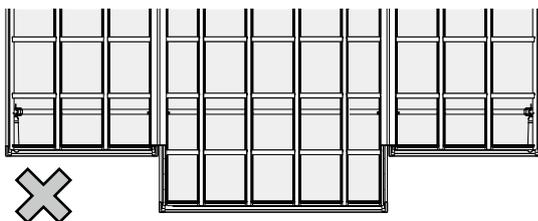
・4スパン以上の切詰めはできません。



・前枠と後枠の両方を切詰めることはできません。



・両側を同時に切詰めはできません。



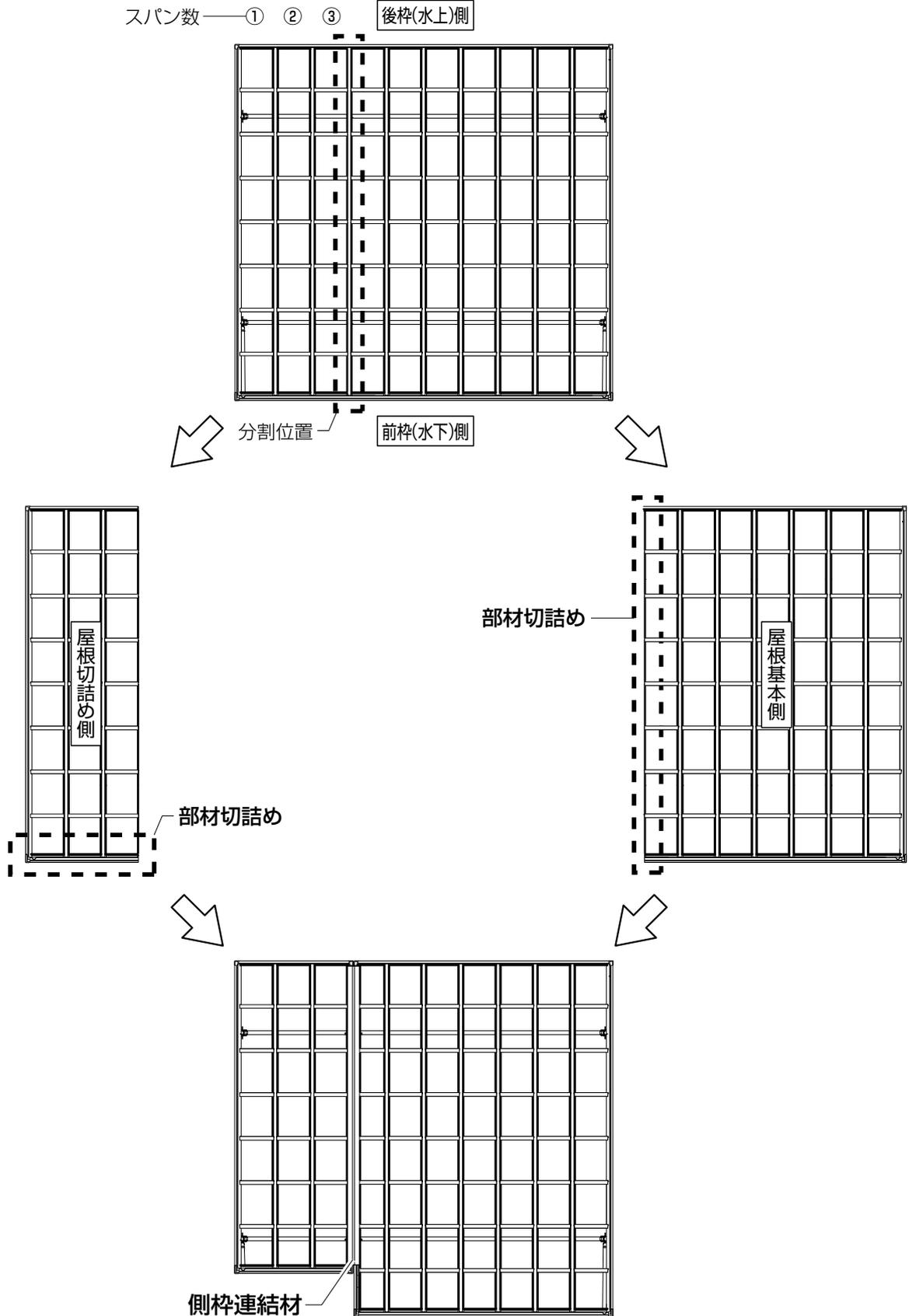
■確認事項

□入隅の施工方法

入隅は基本タイプの屋根部材を加工し、切詰め側と基本側に分割した2つの屋根を連結材で繋ぐ構造となっています。

※3台用の場合は梁の上に梁スペーサーが取付きます。

例：[前枠左側3スパン切り詰め]の場合

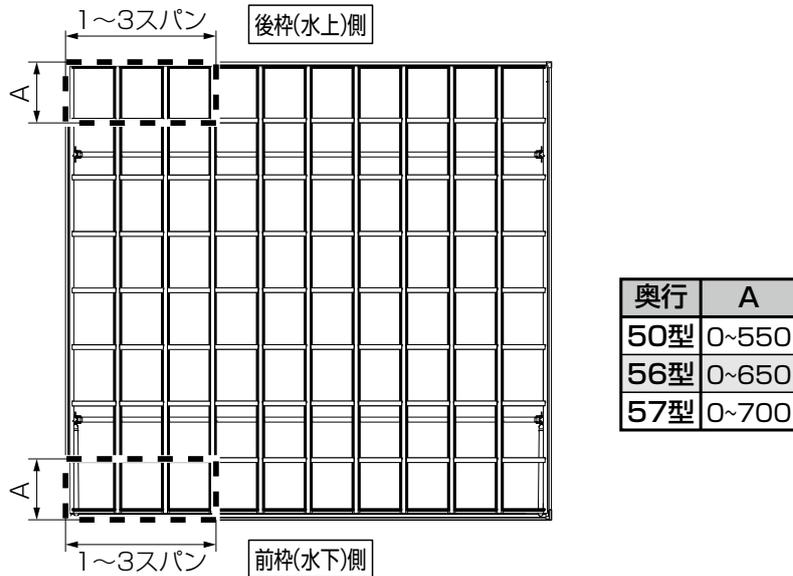


■確認事項

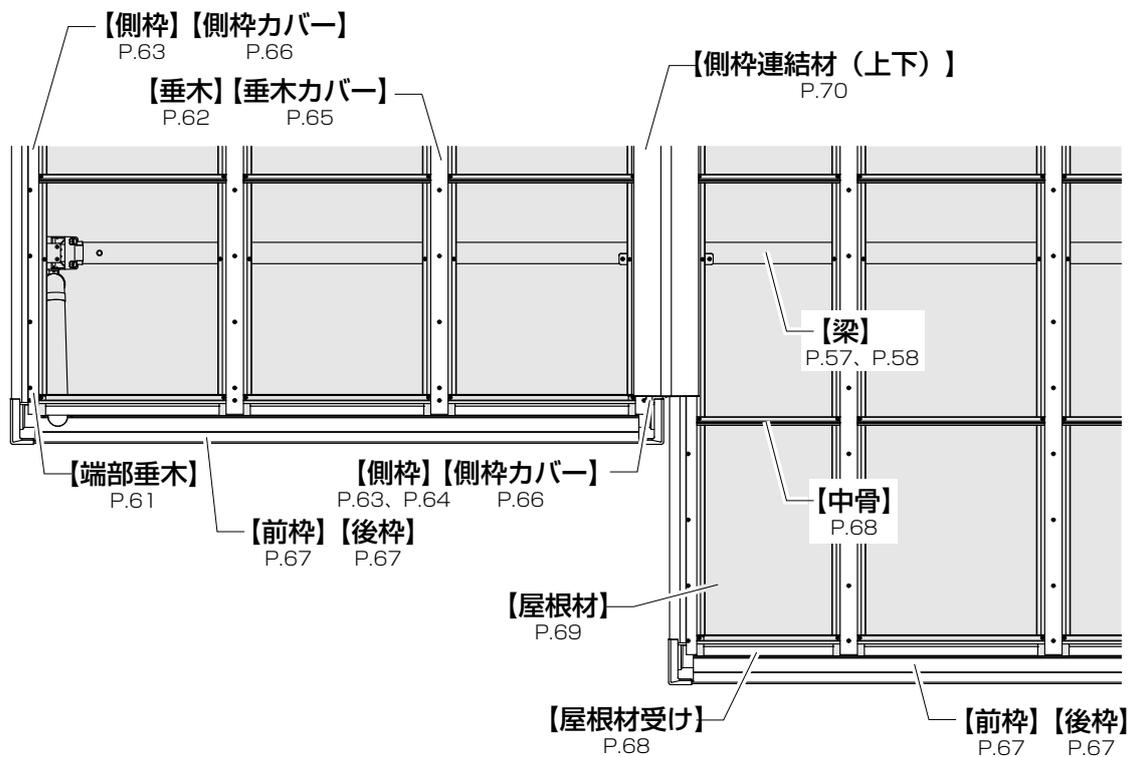
□切詰め可能範囲

┌─┐が切詰め可能範囲を表します。(2台用・3台用共通)

図は左側を表しますが、右側も同様の範囲となります。

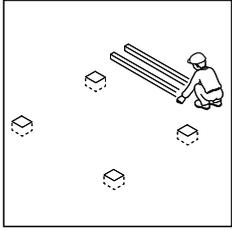


□加工が必要な部材 ※3台用の場合は下記の部材に加え、梁スペーサーの加工が必要です。

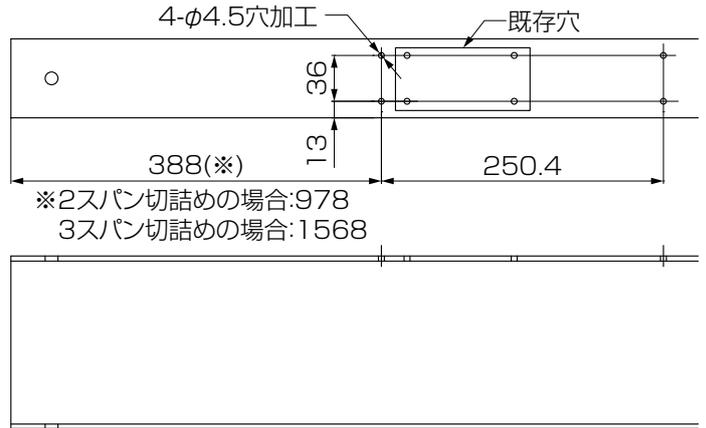


1 部材の加工

□ 梁の穴加工 (2台用)



① 梁を加工してください。



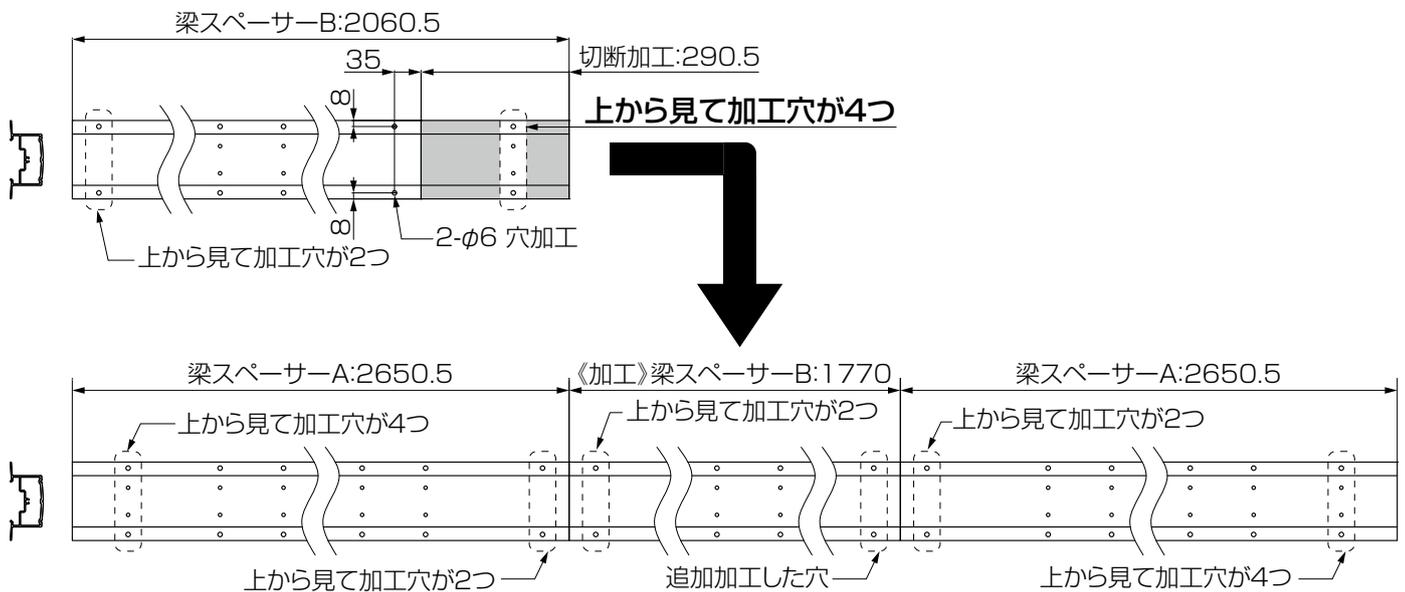
補 足

- ・ 2台用の梁は左右対称です。片側のみ加工し、加工側が切詰め側になるように組み立ててください。
- ・ 梁は前枠側、後枠側の2本とも加工します。

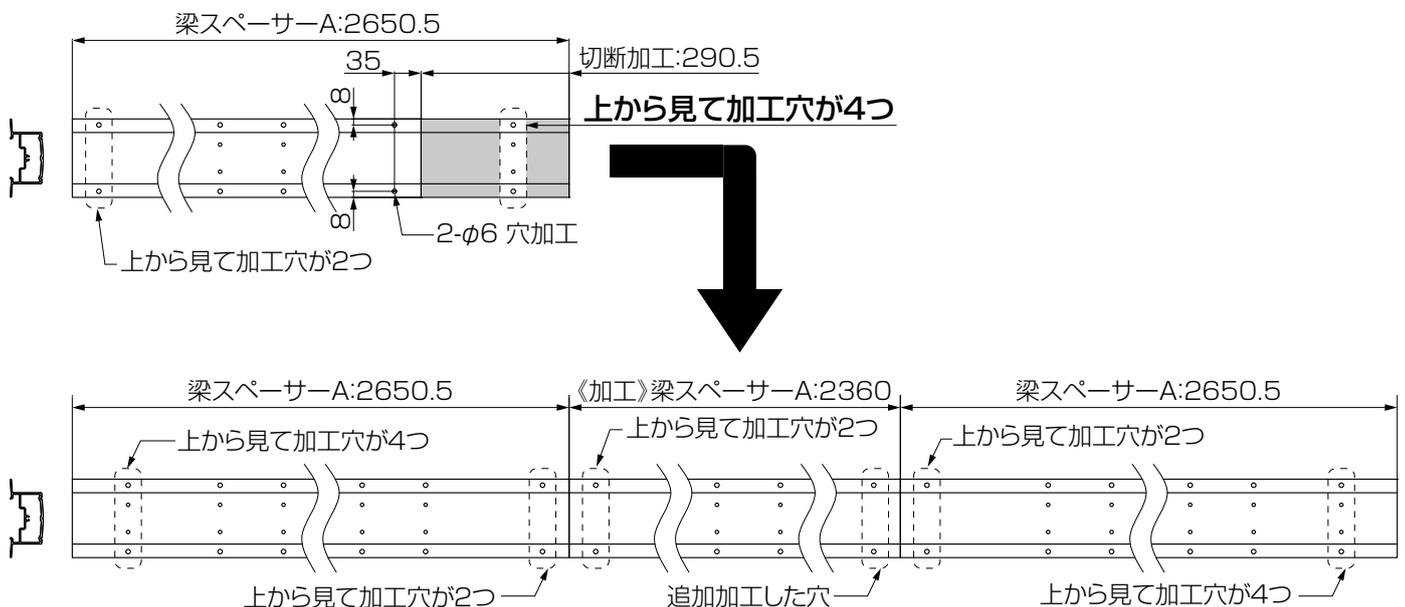
□ 梁スペーサーの加工 (3台用)

① 梁スペーサーを加工してください。

W72の場合



W78の場合

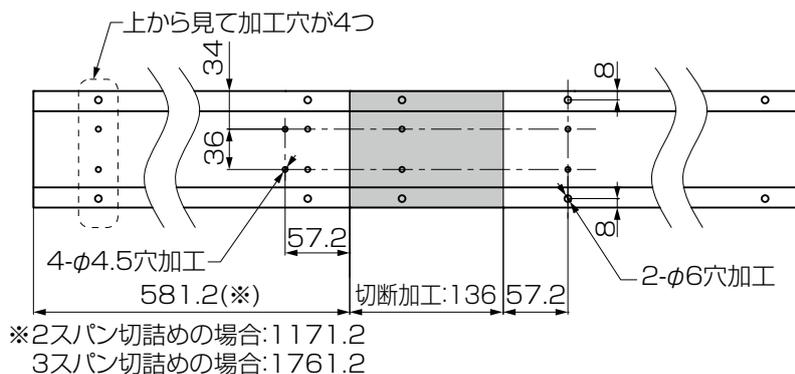


□ 梁スペーサーAの加工（屋根切詰め側）

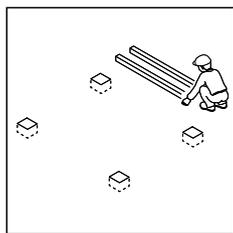
① 梁スペーサーAを加工してください。

補 足

- ・ 屋根切詰め側で使用する梁スペーサーのみ加工します。



□ 梁の穴加工（3台用）



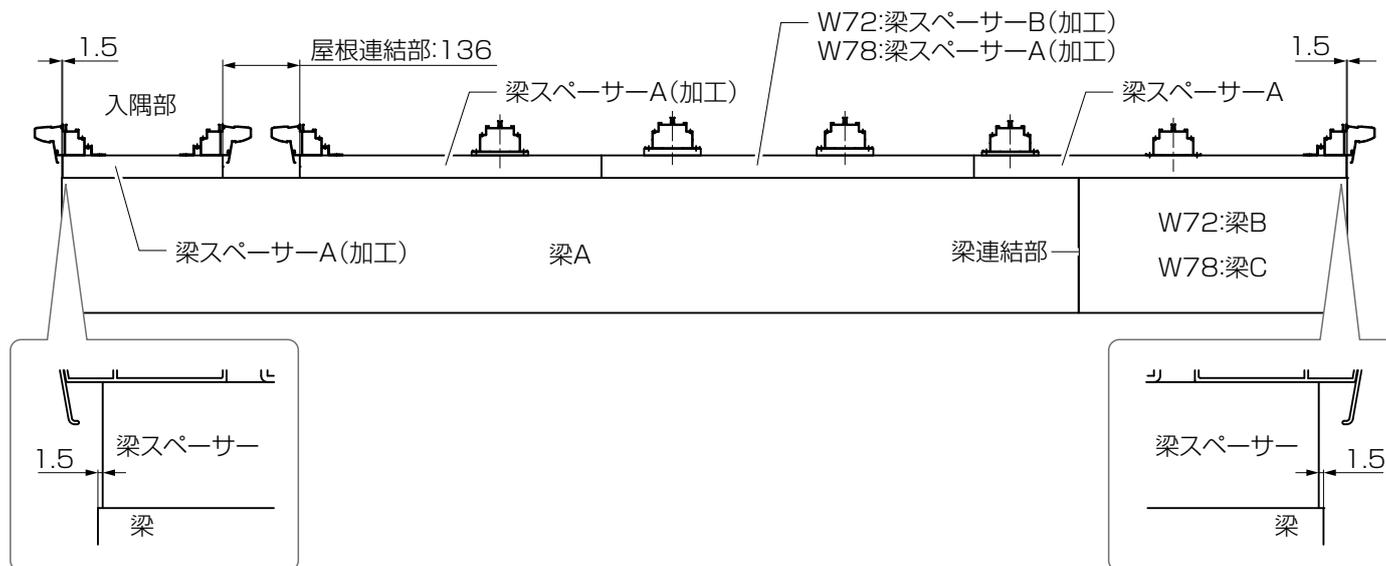
お 願 い

- ・ 梁に写し穴を加工する前に、梁を連結してください。取付方法については「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書(D680)」をご覧ください。

補 足

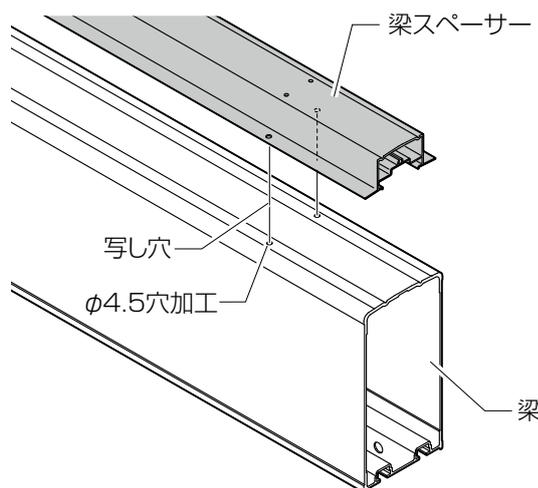
- ・ 3台用は梁の上に梁スペーサーが取付きます。

① 梁スペーサーの取付け位置を確認してください。

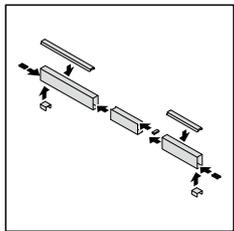


② 梁スペーサーを梁に仮置きして写し穴を加工してください。

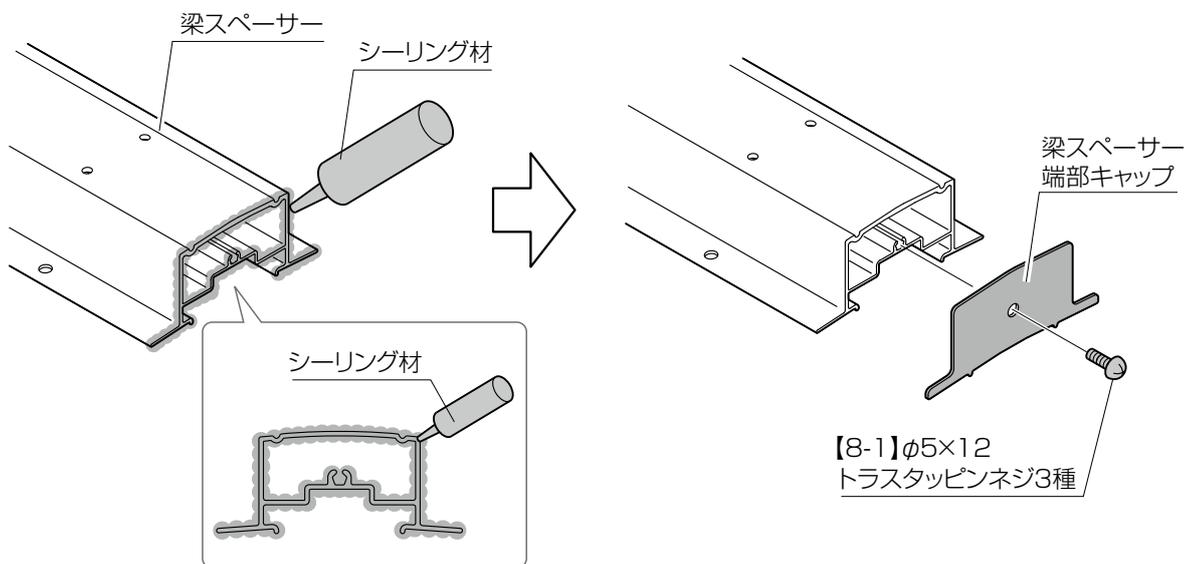
③ 梁の写し穴位置にφ4.5の穴加工をしてください。



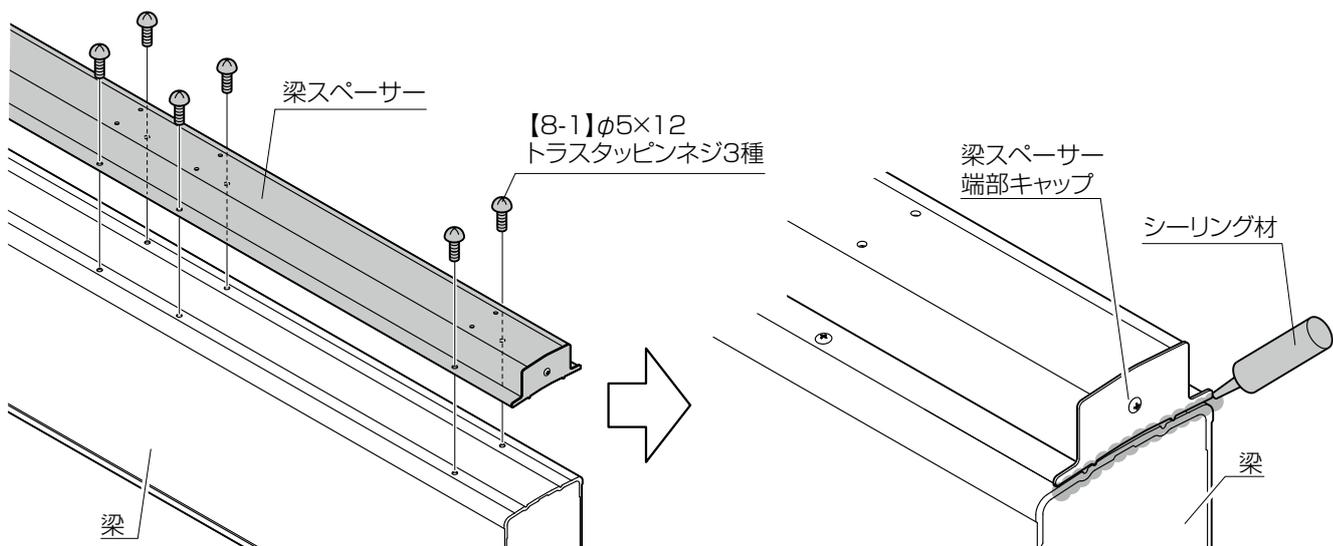
□ 梁スペーサーの組立て (3台用)



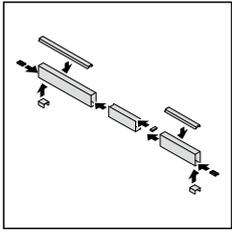
- ① 端部になる梁スペーサーAの断面にシーリングを塗布してください。
- ② 梁スペーサー端部キャップを【8-1】で取付けてください。



- ③ 梁スペーサーを梁に【8-1】で取付けてください。
- ④ 梁スペーサー端部キャップと梁のすき間にシーリングを塗布してください。(屋根連結部、端部共通)



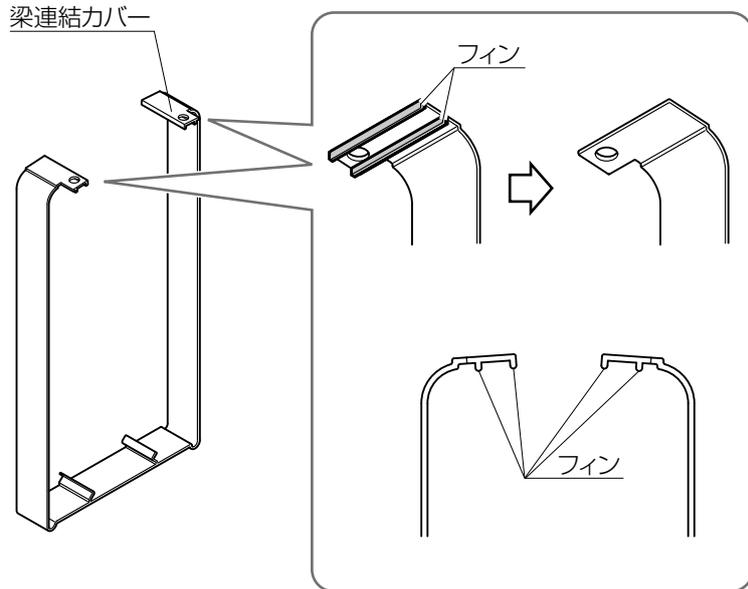
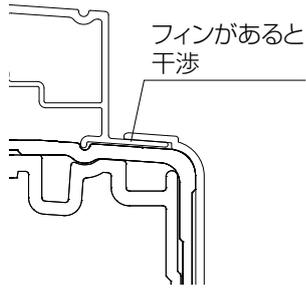
□ 梁連結カバーの加工 (3台用)



① 梁連結カバーのフィンを切断してください。

補 足

- ・ フィンを切断しないと梁スペーサーと干渉して取付けができません。

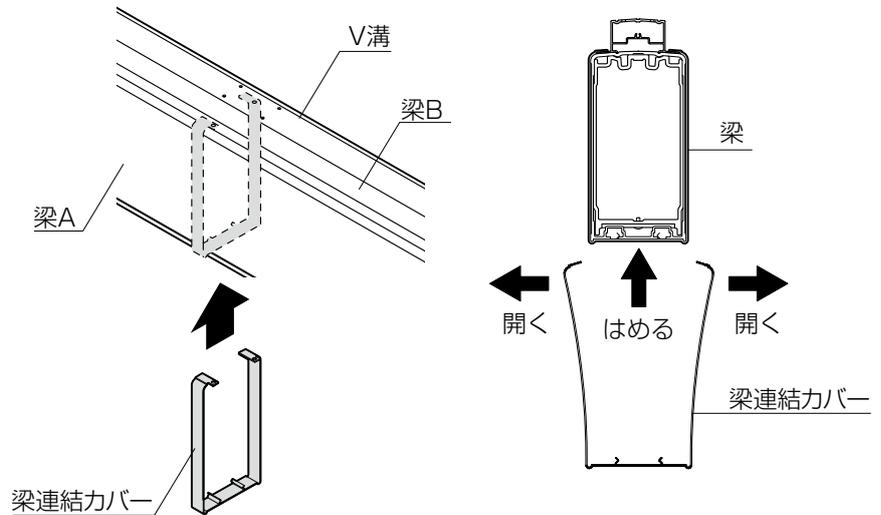
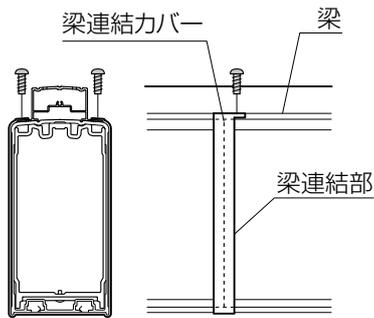


□ 梁連結カバーの取付け (3台用)

① 梁連結カバーを梁にはめ込んでください。

お 願 い

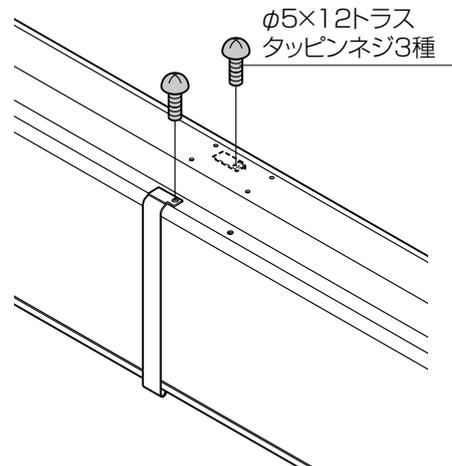
- ・ 梁連結カバーは梁連結部の中心（梁連結部が隠れるよう）に取付けてください。



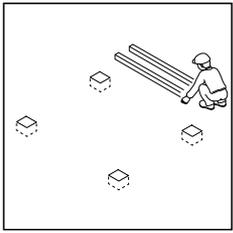
② 梁連結カバーを梁に取付けてください。

お 願 い

- ・ 柱と梁の取付け方法与シーリングについては、
2台用：フーゴF/ネスカF 2台用
基本・縦連棟
取付説明書 (D588)
3台用：フーゴF3台用
基本・梁延長・
柱奥行移動・柱間口移動
取付説明書 (D680)
を参照してください。



□ 端部垂木の加工 (2台用・3台用共通)



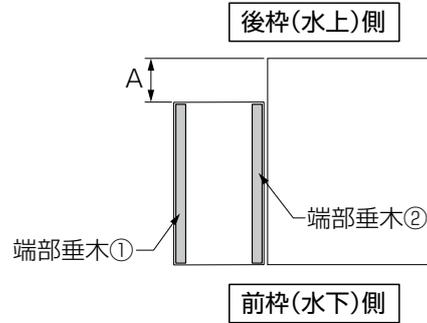
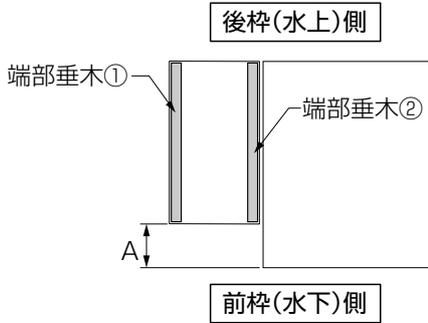
①端部垂木を加工してください。

お願い

- ・前枠側、後枠側で形状が異なります。向きを確認して加工してください。

補足

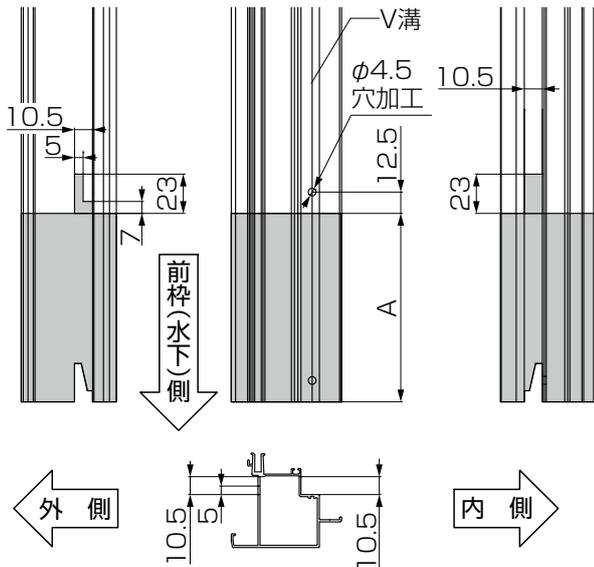
- ・前枠側切詰めの場合、外側と内側で加工が異なります。



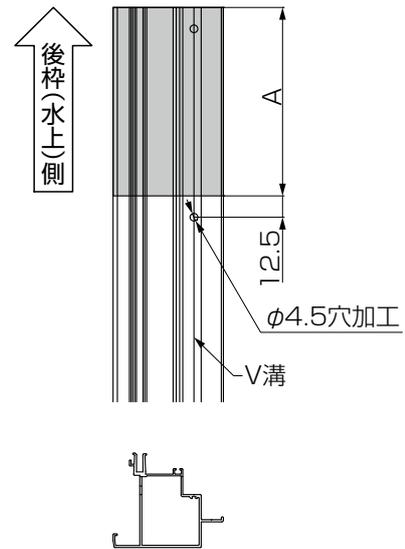
【前枠側切詰め】の場合

【後枠側切詰め】の場合

【端部垂木①】

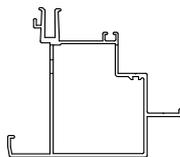


【端部垂木②】

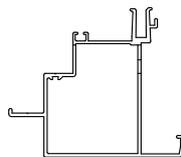


お願い

- ・【端部垂木①】と【端部垂木②】は対称に取付けます。【端部垂木①】と対称となるように【端部垂木②】を加工してください。



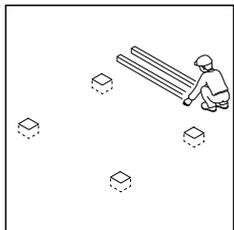
【端部垂木①】



【端部垂木②】

奥行	A
50型	0~550
54型	0~650
57型	0~700

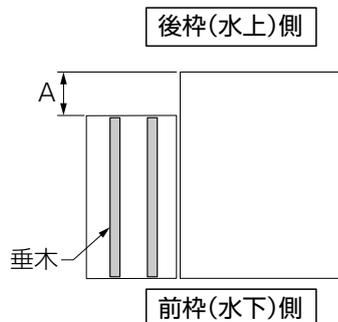
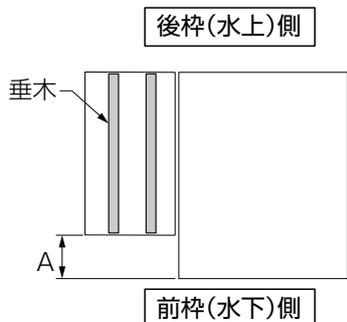
□垂木の加工（2台用・3台用共通）



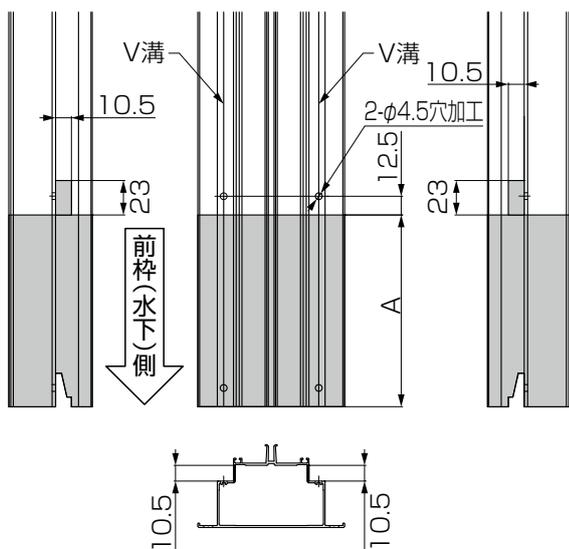
①垂木を加工してください。

お願い

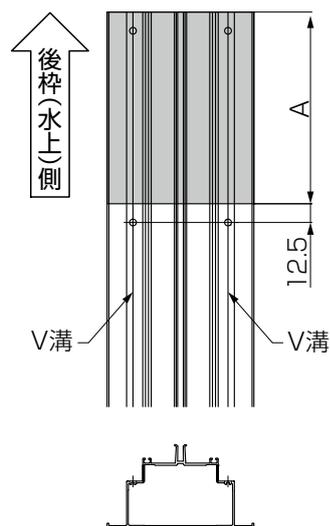
- ・前枠側、後枠側で形状が異なります。向きを確認して加工してください。
- ・2スパンを切詰める場合は、1本加工してください。
- ・3スパンを切詰める場合は、2本加工してください。



[前枠側切詰め] の場合

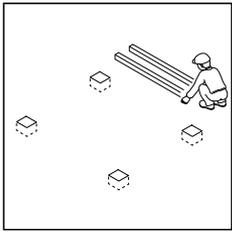


[後枠側切詰め] の場合



奥行	A
50型	0~550
54型	0~650
57型	0~700

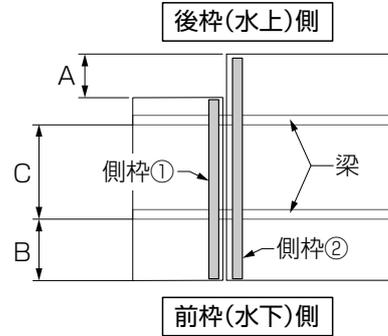
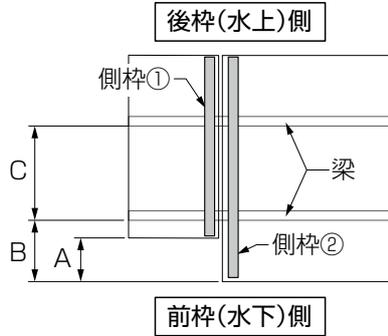
□側枠の加工（2台用連結部）



①側枠を加工してください。

お願い

・柱移動をした場合、B・Cを柱の移動量に合わせてください。

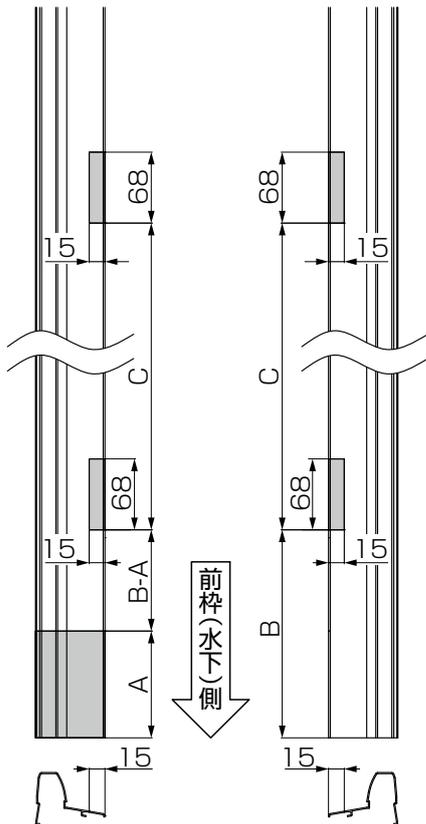


【前枠側切詰め】の場合

【後枠側切詰め】の場合

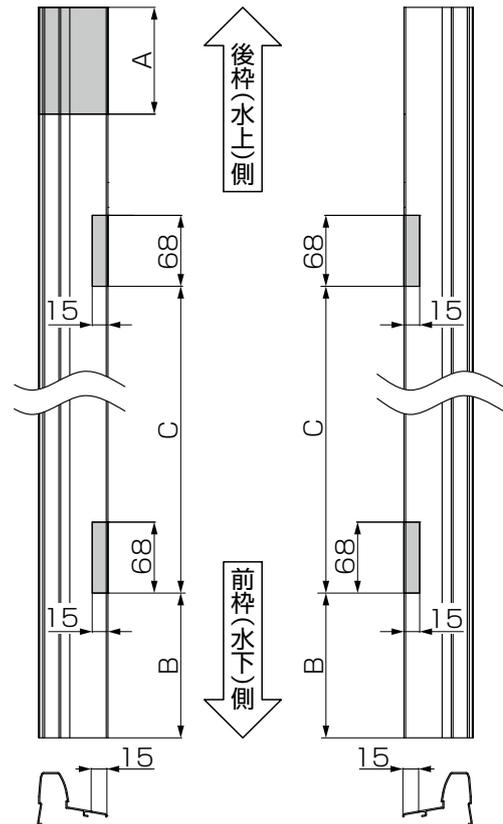
【側枠①】

【側枠②】



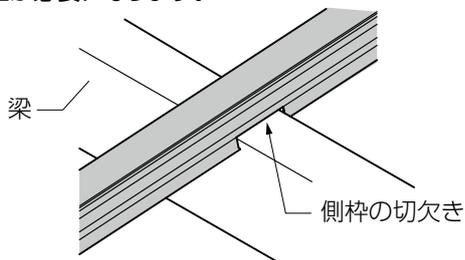
【側枠①】

【側枠②】



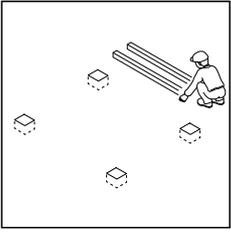
補足

・2台用の場合、屋根連結部は側枠と梁が干渉するため、切欠きの加工が必要になります。



奥行	A	B	C
50型	0~550	947.5	2907
54型	0~650	1047	3108
57型	0~700	1097	3308

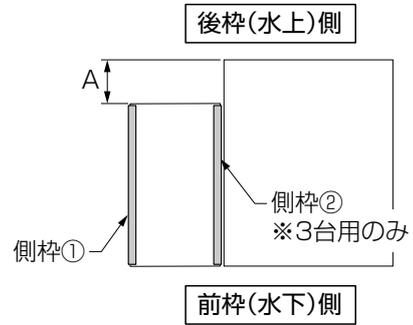
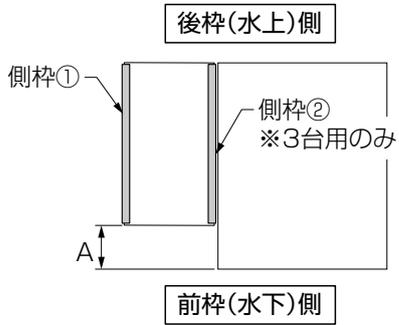
□側枠の加工（2台用外側・3台用）



①側枠を加工してください。

お願い

・2台用の場合1本、3台用の場合2本加工してください。

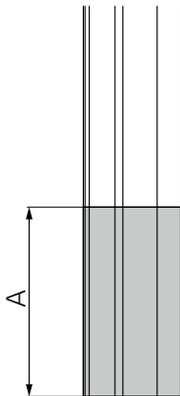
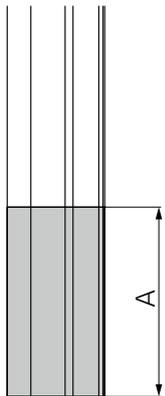


【前枠側切詰め】の場合

【後枠側切詰め】の場合

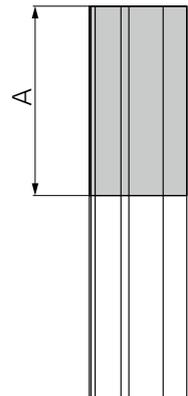
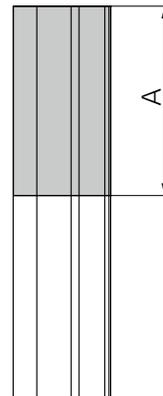
【側枠①】

【側枠②】
※3台用のみ



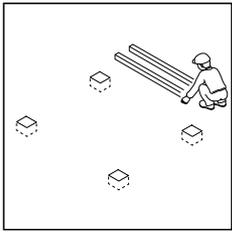
【側枠①】

【側枠②】
※3台用のみ



奥行	A
50型	0~550
54型	0~650
57型	0~700

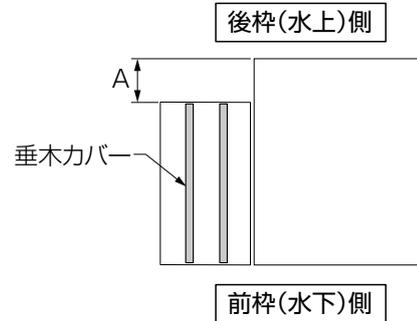
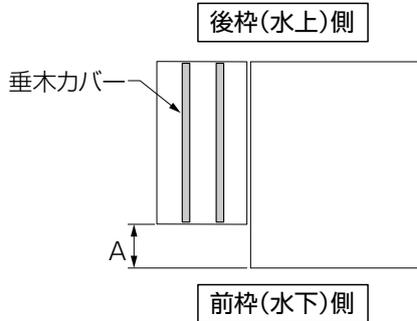
□垂木カバーの加工（2台用・3台用共通）



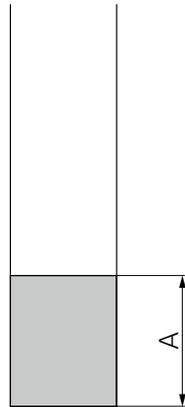
①垂木カバーを加工してください。

お願い

- ・2スパンを切詰める場合は、1本加工してください。
- ・3スパンを切詰める場合は、2本加工してください。



[前枠側切詰め] [後枠側切詰め] 共通



奥行	A
50型	0~550
54型	0~650
57型	0~700

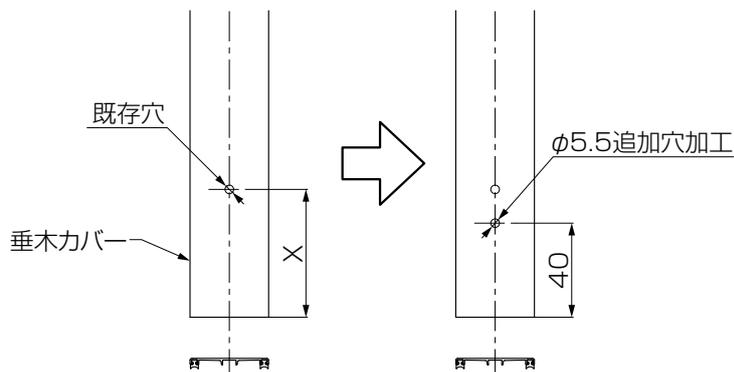


補足

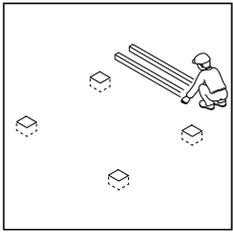
- ・垂木カバーに向きはありません。どちらの端部からでも加工できます。

お願い

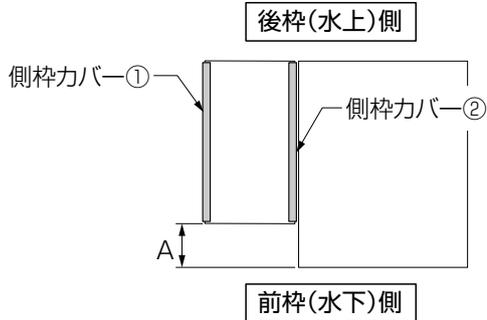
- ・切断面から1つ目のφ5.5穴の位置(X)が、35mm~55mmの範囲にない場合、40mmの位置に追加穴加工してください。
- ・35mm以下の範囲にある穴は使用しません。コーキングで埋めてください。



□側枠カバーの加工（2台用・3台用共通）

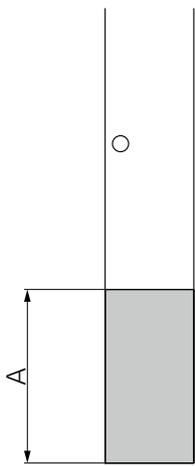


①側枠カバーを加工してください。

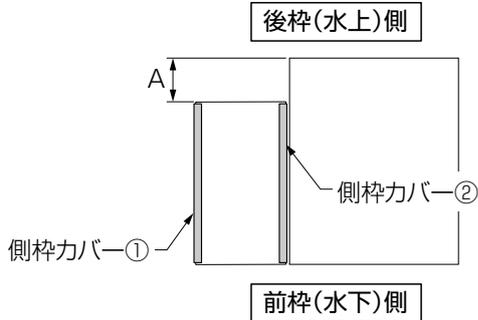
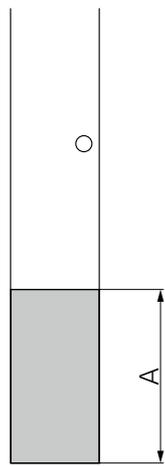


【前枠側切詰め】の場合

【側枠カバー①】

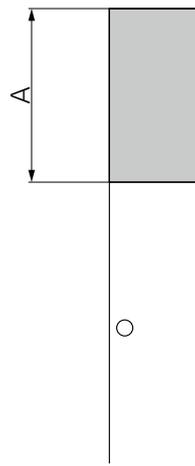


【側枠カバー②】

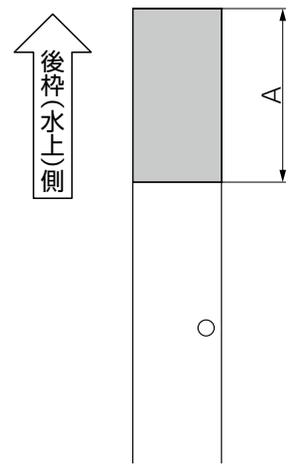


【後枠側切詰め】の場合

【側枠カバー①】



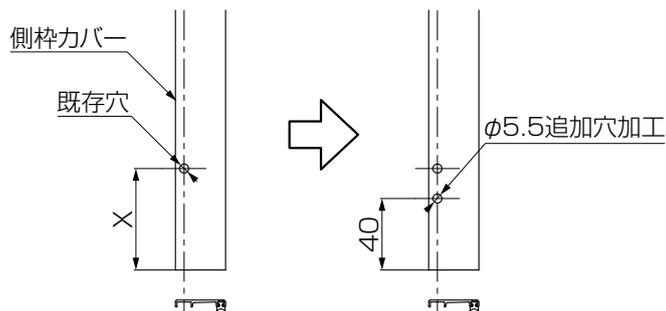
【側枠カバー②】



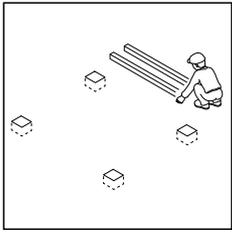
奥行	A
50型	0~550
54型	0~650
57型	0~700

お願い

- ・切断面から1つ目のφ5.5穴の位置(X)が、35mm~55mmの範囲にない場合、40mmの位置に追加穴加工してください。
- ・35mm以下の範囲にある穴は使用しません。コーキングで埋めてください。

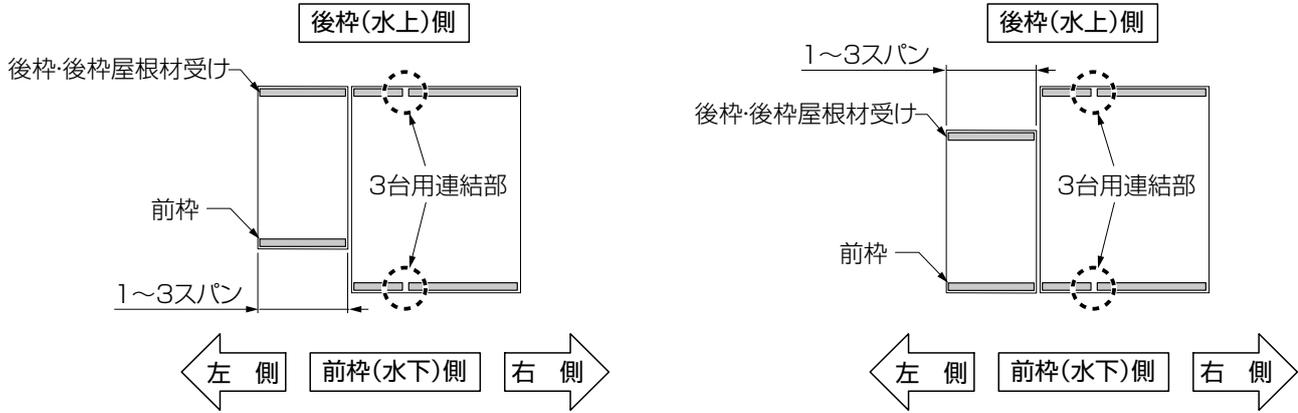


□前枠・後枠・後枠屋根材受けの加工（2台用・3台用共通）



お願い

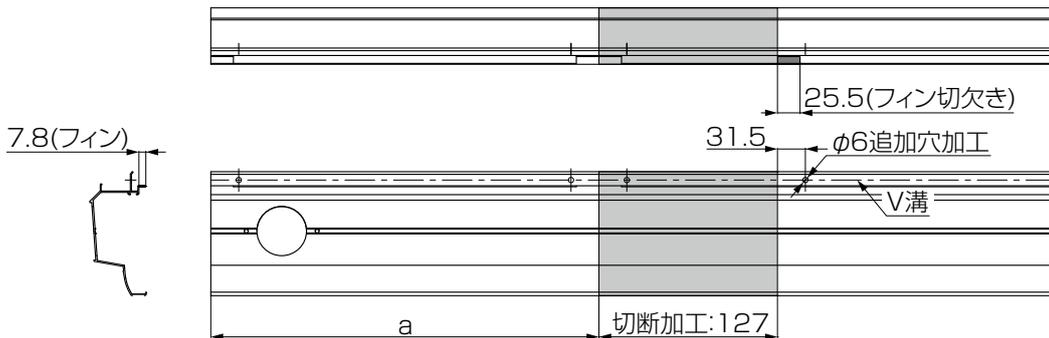
- ・前枠の切断の際、屋根材受けを切断しないように加工してください。
- ・3台用の前枠・後枠・後枠屋根材受けは、部材を連結して使用します。端部側、連結側を確認して加工を行ってください。



[左側切詰め] の場合

(1) 前枠の加工

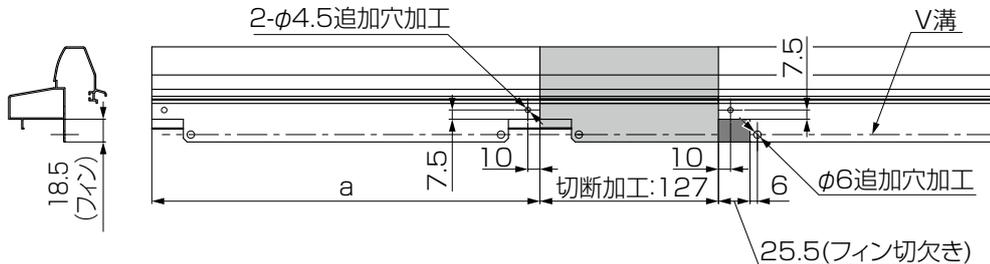
①前枠を加工してください。



切詰めスパン	a
1スパン	590
2スパン	1180
3スパン	1770

(2) 後枠の加工

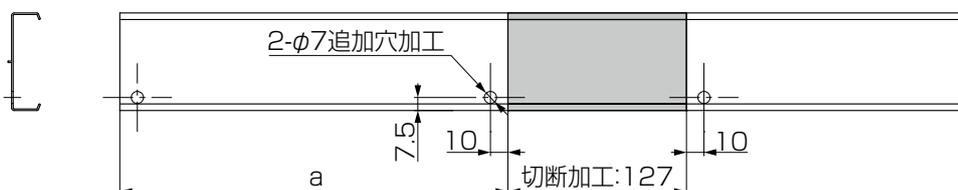
①後枠を加工してください。



切詰めスパン	a
1スパン	590
2スパン	1180
3スパン	1770

(3) 後枠屋根材受けの加工

①後枠屋根材受けを加工してください。

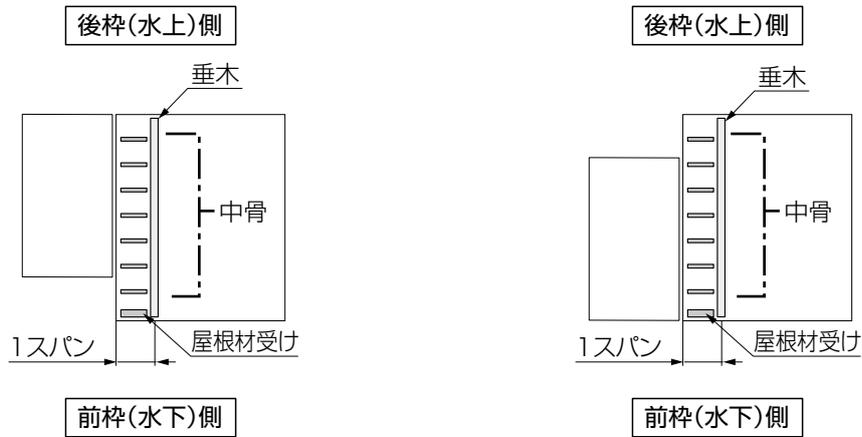
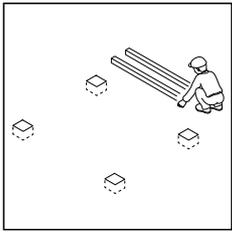


切詰めスパン	a
1スパン	590
2スパン	1180
3スパン	1770

お願い

- ・右側切詰めの場合、図と対称になるように加工してください。

□屋根材受け・中骨の加工（2台用・3台用共通）



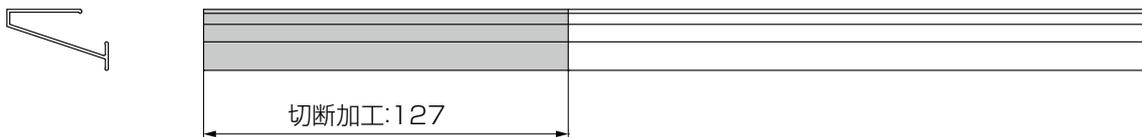
[前枠側切詰め] [後枠側切詰め] 共通

(1) 屋根材受けの加工

①屋根材受けを加工してください。

お願い

・1本のみ加工してください。

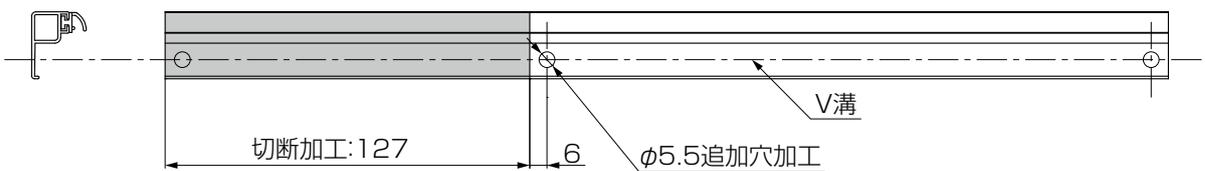


(2) 中骨の加工

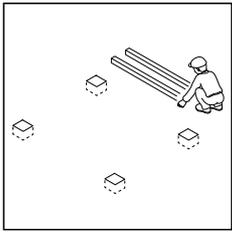
①中骨を加工してください。

お願い

・L50の場合は、6本加工してください。
 ・L54またはL57の場合は、7本加工してください。



□屋根材の加工（2台用・3台用共通）

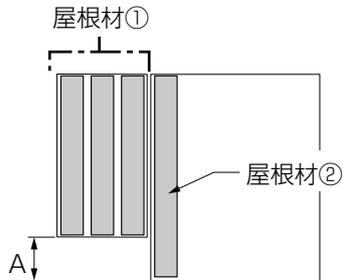


①屋根材を加工してください。

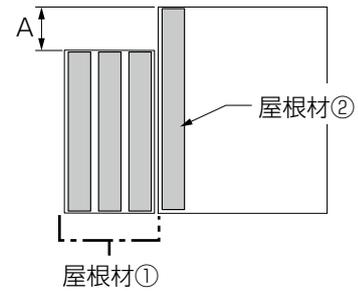
お願い

- ・【屋根材①】は切詰めスパン数分加工します。
- ・加工内容は【左側切詰め】【右側切詰め】共通です。
- ・屋根材がブラックマット色の場合は、キズや汚れが目立ちやすいため、取扱いには注意してください。

後枠(水上)側



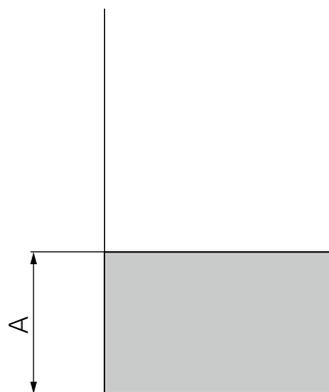
後枠(水上)側



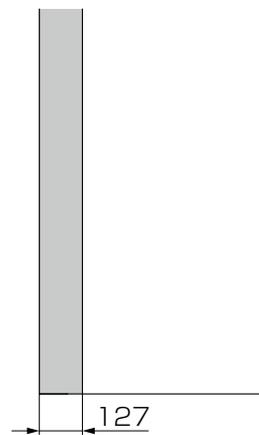
前枠(水下)側

[前枠側切詰め] [後枠側切詰め] 共通

【屋根材①】



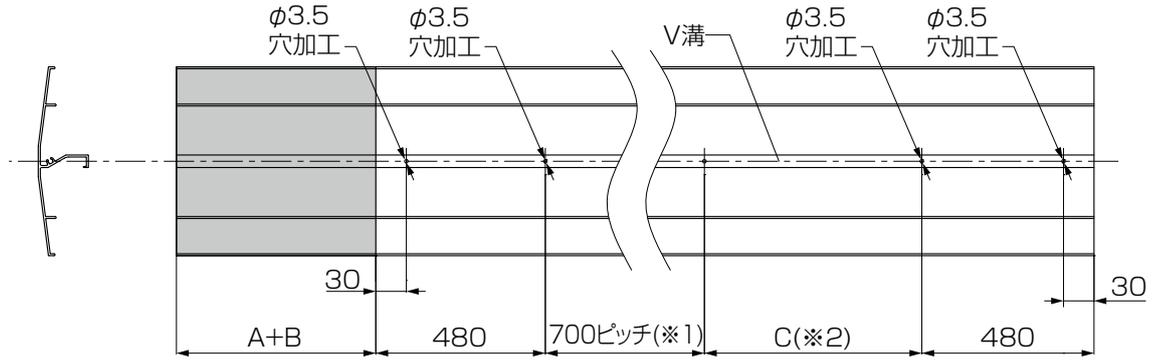
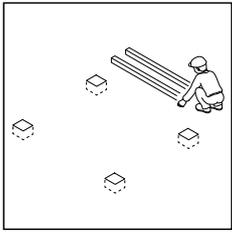
【屋根材②】



奥行	A
50型	0~550
54型	0~650
57型	0~700

□側枠連結材の加工（2台用・3台用共通）

（1）側枠連結材（上）の加工

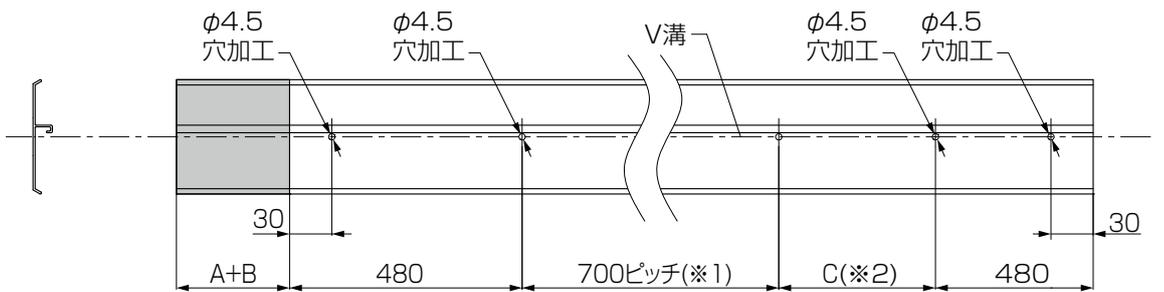
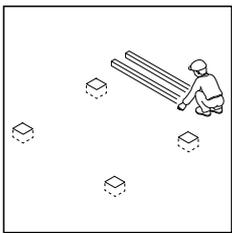


奥行	A	B
50型	0~550	790
54型	0~650	489
57型	0~700	89

※1:切断寸法によって穴の数が異なります。

※2:C<700

（2）側枠連結材（下）の加工

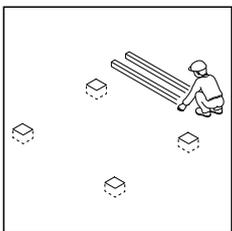


奥行	A	B
50型	0~550	790
54型	0~650	489
57型	0~700	89

※1:切断寸法によって穴の数が異なります。

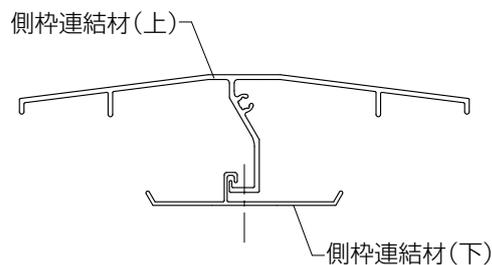
※2:C<700

（3）側枠連結材の穴位置確認



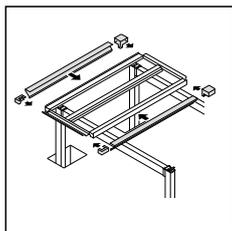
お願い

・側枠連結材の(上)(下)を組み合わせて、加工した穴の位置が一致していることを確認してください。



2 端部垂木・垂木の取付け（切詰め側）

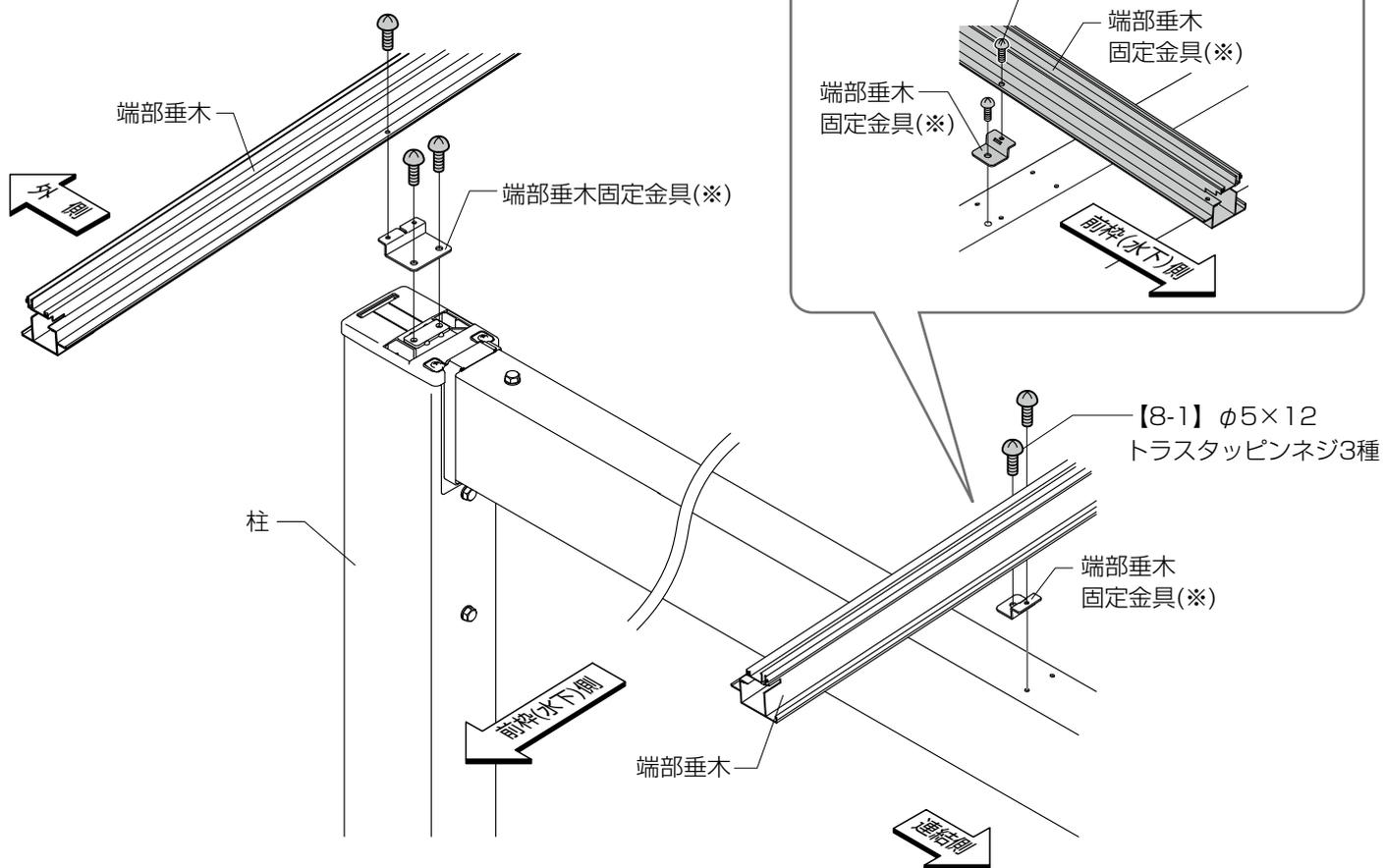
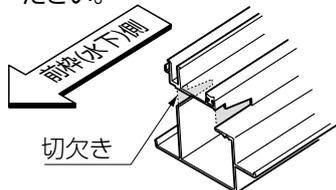
□端部垂木の取付け（2台用）



- ①端部垂木固定金具を端部垂木に【8-1】で取付けてください。
- ②端部垂木固定金具を梁に【8-1】で取付けてください。

補 足

- ・切欠きのある方を水下側にしてください。



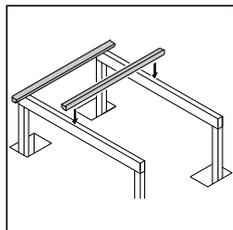
※外側と連結側で形状が異なります。

お願い

- ・外側の端部垂木の取付け方法については「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書（D588）」を参照してください。

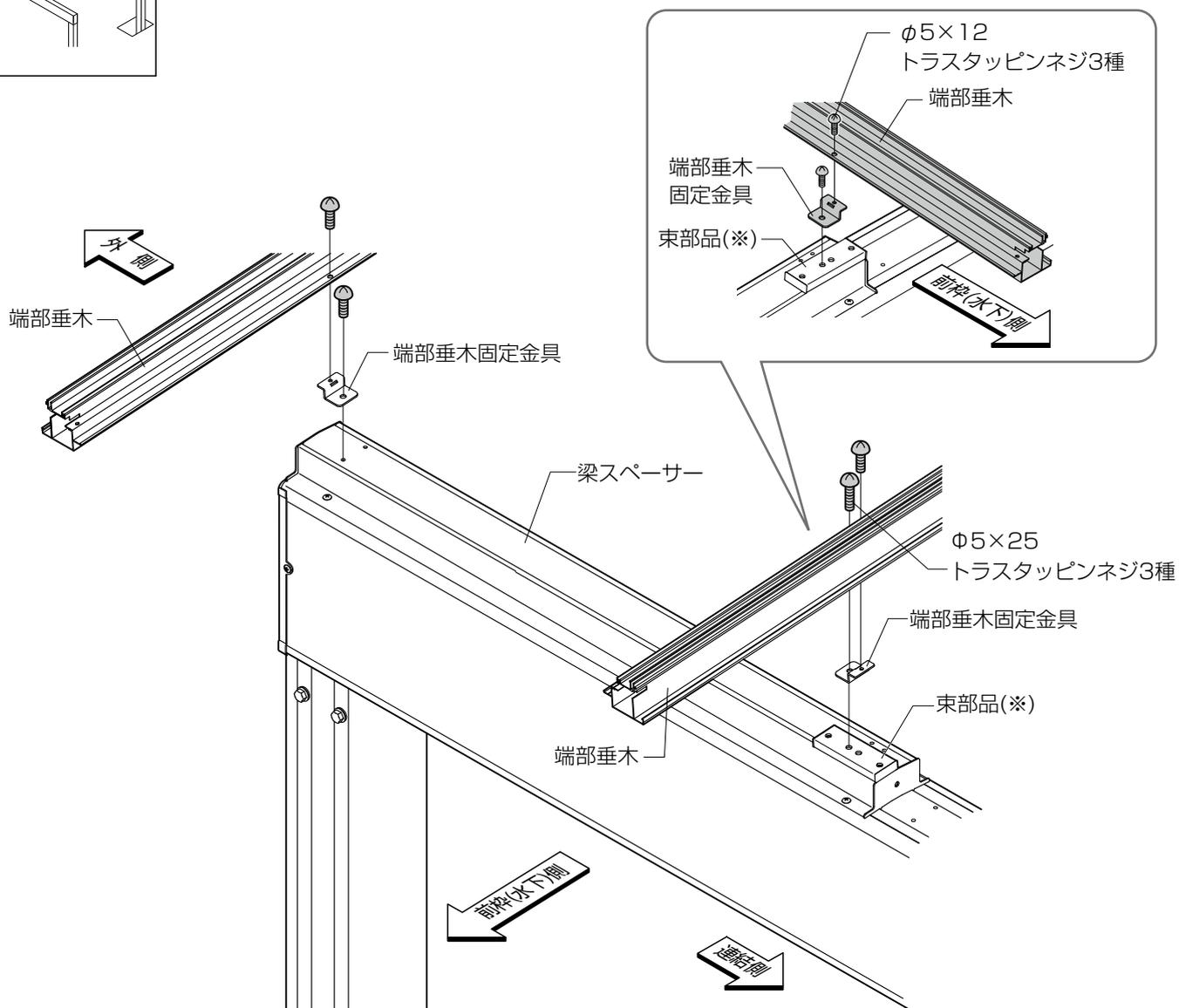
2 端部垂木・垂木の取付け（切詰め側）

□端部垂木の取付け（3台用）



①端部垂木固定金具を端部垂木に取付けてください。

②端部垂木固定金具を梁に取付けてください。

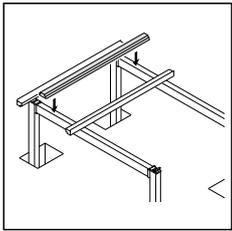


お願い

- ・2～3スパン切詰めの場合、連結側の端部垂木の下には、束部品が入ります。
- ・取付けに使用するネジ、束の配置については「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書(D680)」を参照してください

※束の配置は、切詰めスパン数に関わらず基本タイプと同じ配置になります。
束を使用する場合、端部垂木固定金具と共締めするネジの長さにご注意ください。

□垂木の取付け(2台用)



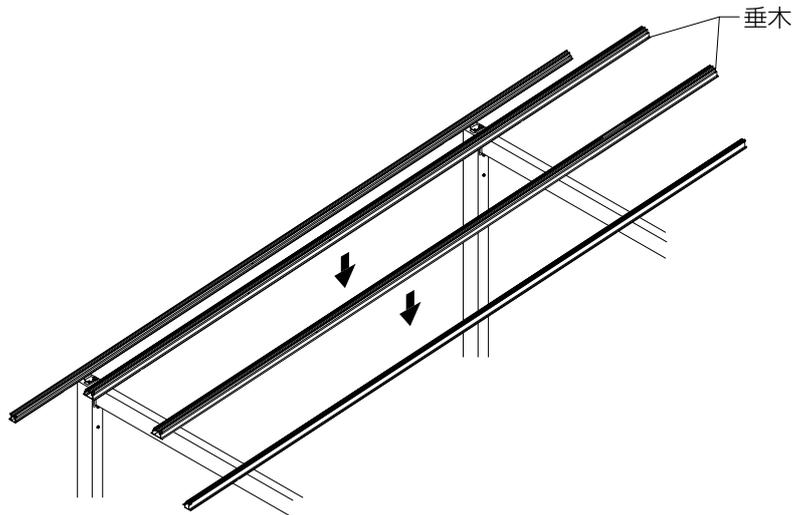
①垂木を梁に取付けてください。

補 足

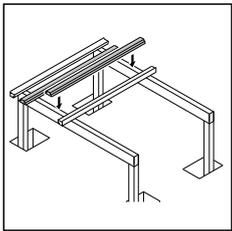
- ・1スパン切詰めの場合、垂木の取付けはありません。

お 願 い

- ・垂木の取付け方法については「フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)」を参照してください。



□垂木の取付け (3台用)



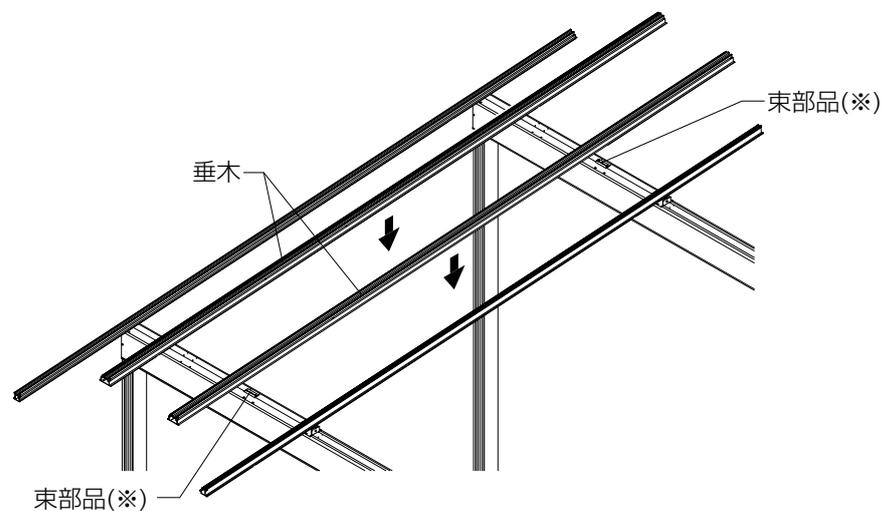
①垂木を梁に取付けてください。

補 足

- ・1スパン切詰めの場合、垂木の取付けはありません。

お 願 い

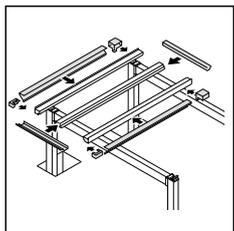
- ・垂木の取付け方法については「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書 (D680)」を参照してください。



お 願 い

- ・3スパン切詰めの場合、連結側の垂木の下には、束部品が入ります。
- ・束の配置については「フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書 (D680)」を参照してください。
- ※束の配置は、切詰めスパン数に関わらず基本タイプと同じ配置になります。

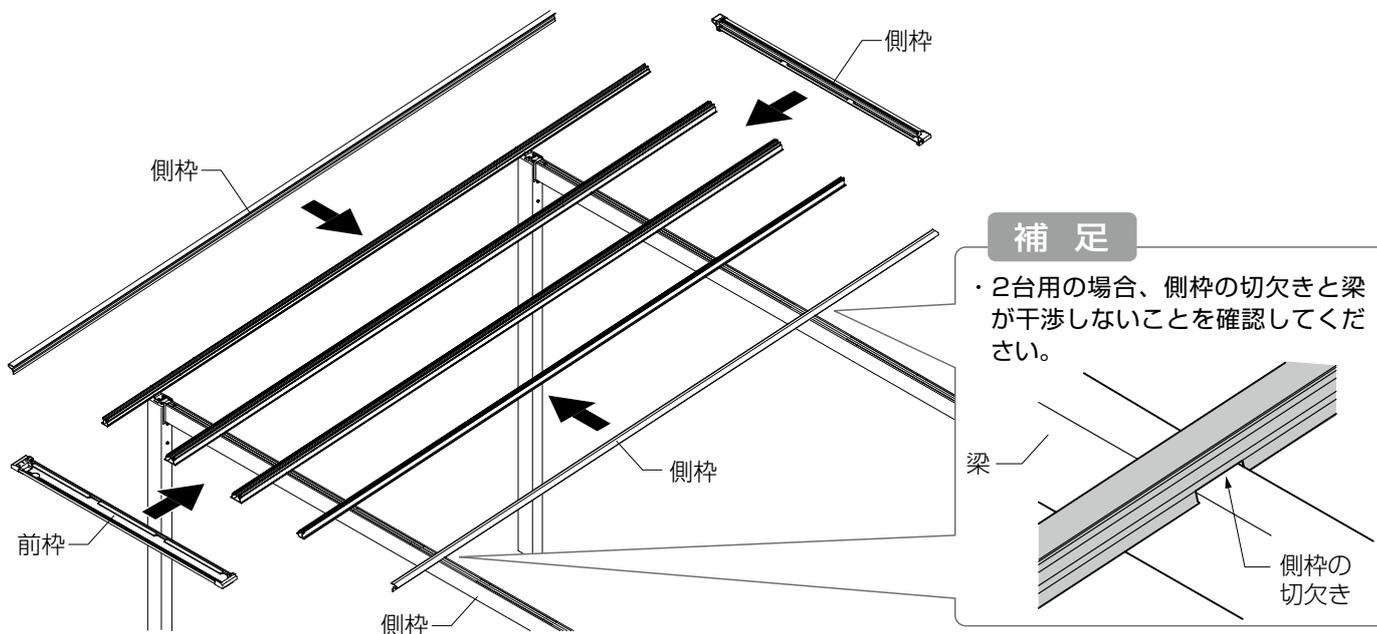
3 前枠・後枠・側枠の取付け（切詰め側） 2台用・3台用共通



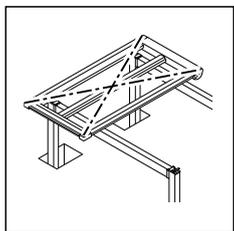
①前枠・後枠・側枠を取付けてください。

お願い

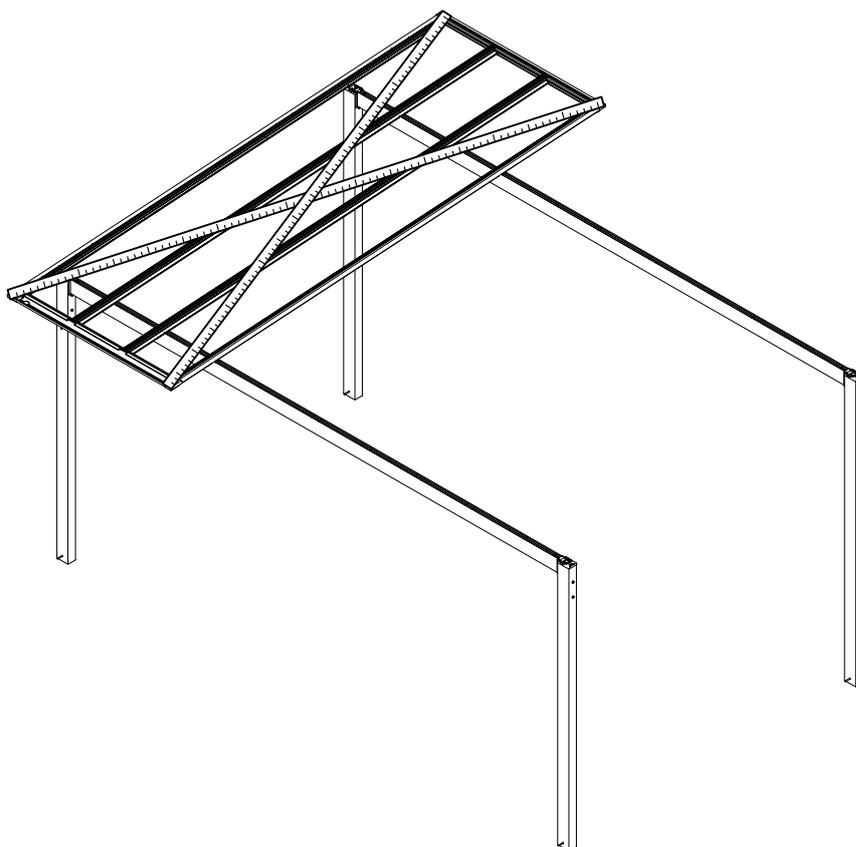
- ・取付け方法とシーリングについては、
2台用：フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)
3台用：フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書 (D680)
を参照してください。



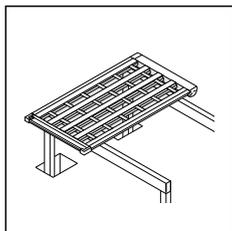
4 対角寸法の確認（切詰め側）



①屋根材まわりの対角寸法をそろえてください。



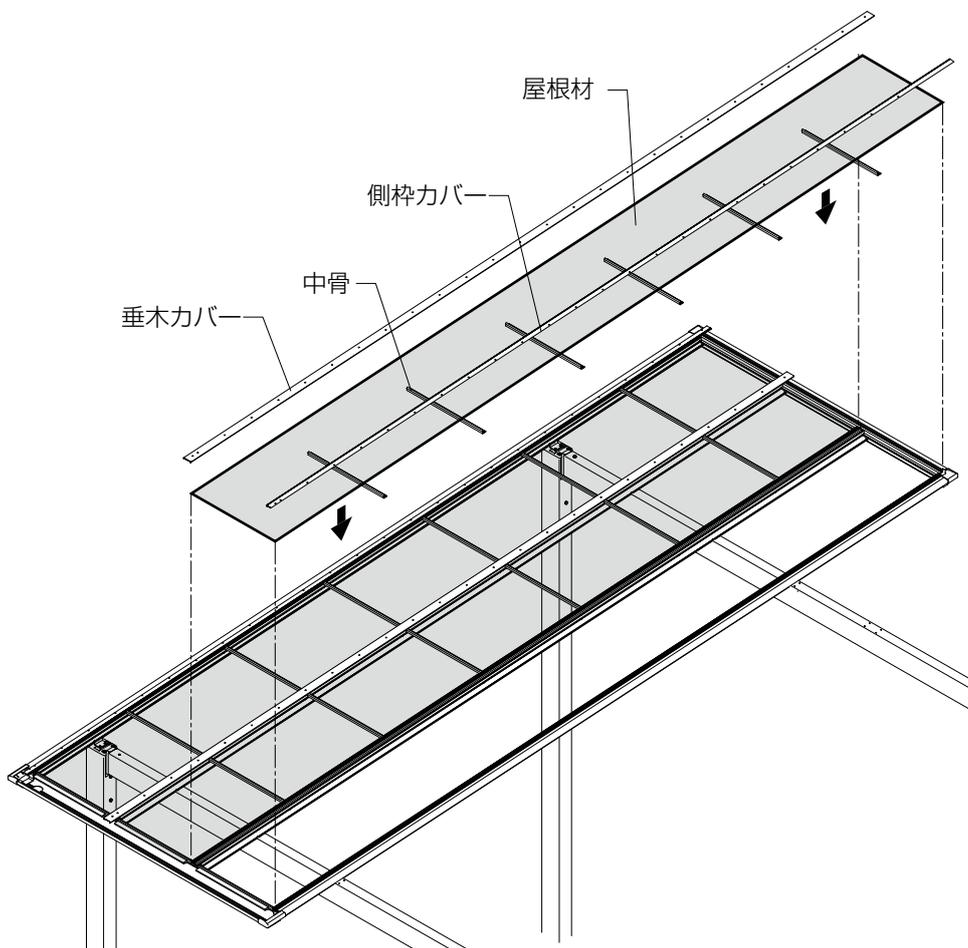
5 中骨・屋根材・垂木カバー・側枠カバーの取付け(切詰め側)2台用・3台用共通



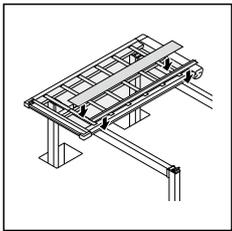
①中骨・屋根材・垂木カバー・側枠カバーを取付けてください。

お願い

- ・取付け方法とシーリングについては、
2台用：フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)
3台用：フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書 (D680)
を参照してください。



6 側枠連結材の仮置き 2台用・3台用共通



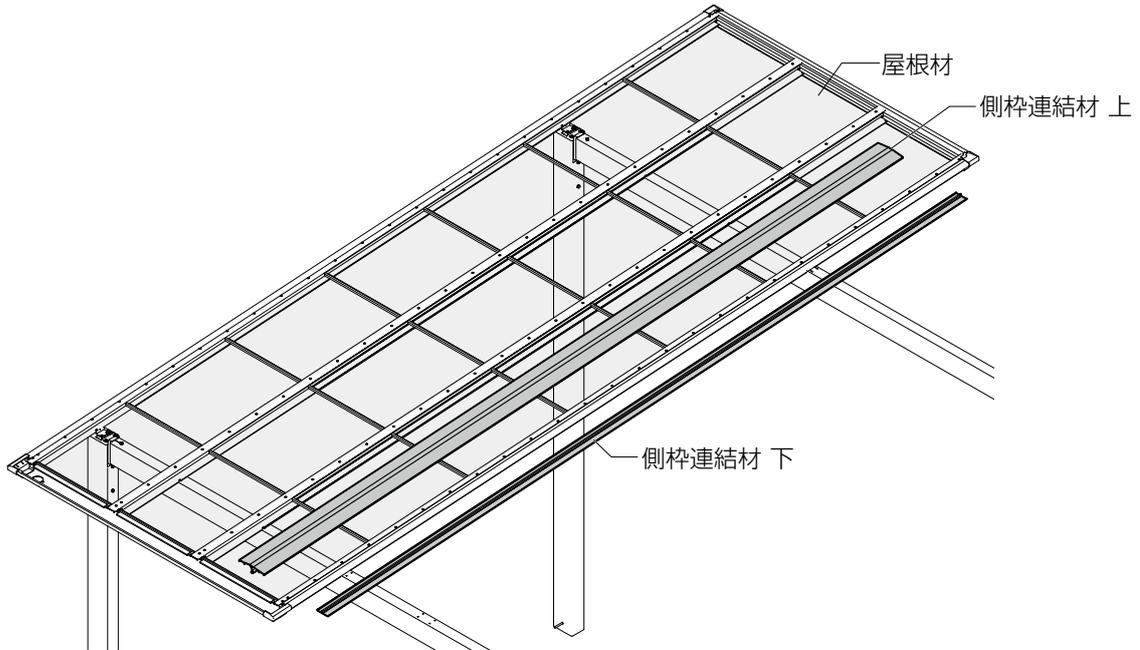
- ①側枠連結材 上を屋根上に仮置きしてください。
- ②側枠連結材 下を梁上に仮置きしてください。

お願い

- ・取屋根材をキズつけないように十分に注意してください。

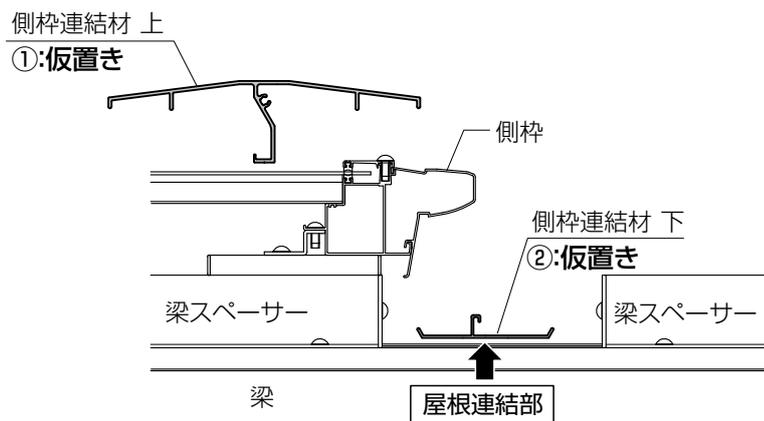
補足

- ・棟木は重量物なため、事前に梁上、屋根上に置いておいてください。

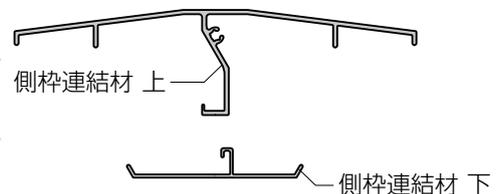
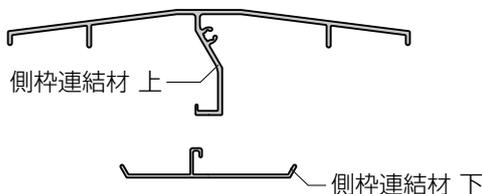


お願い

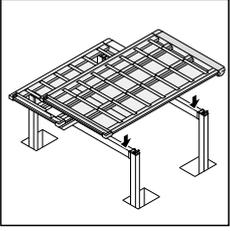
- ・3台用の場合、側枠連結材 下を屋根連結部の梁スペーサーの間に仮置きしてください。



- ・側枠連結材はどちらの向きでも取付けできますが、上下の組み合わせに注意して仮置きしてください。

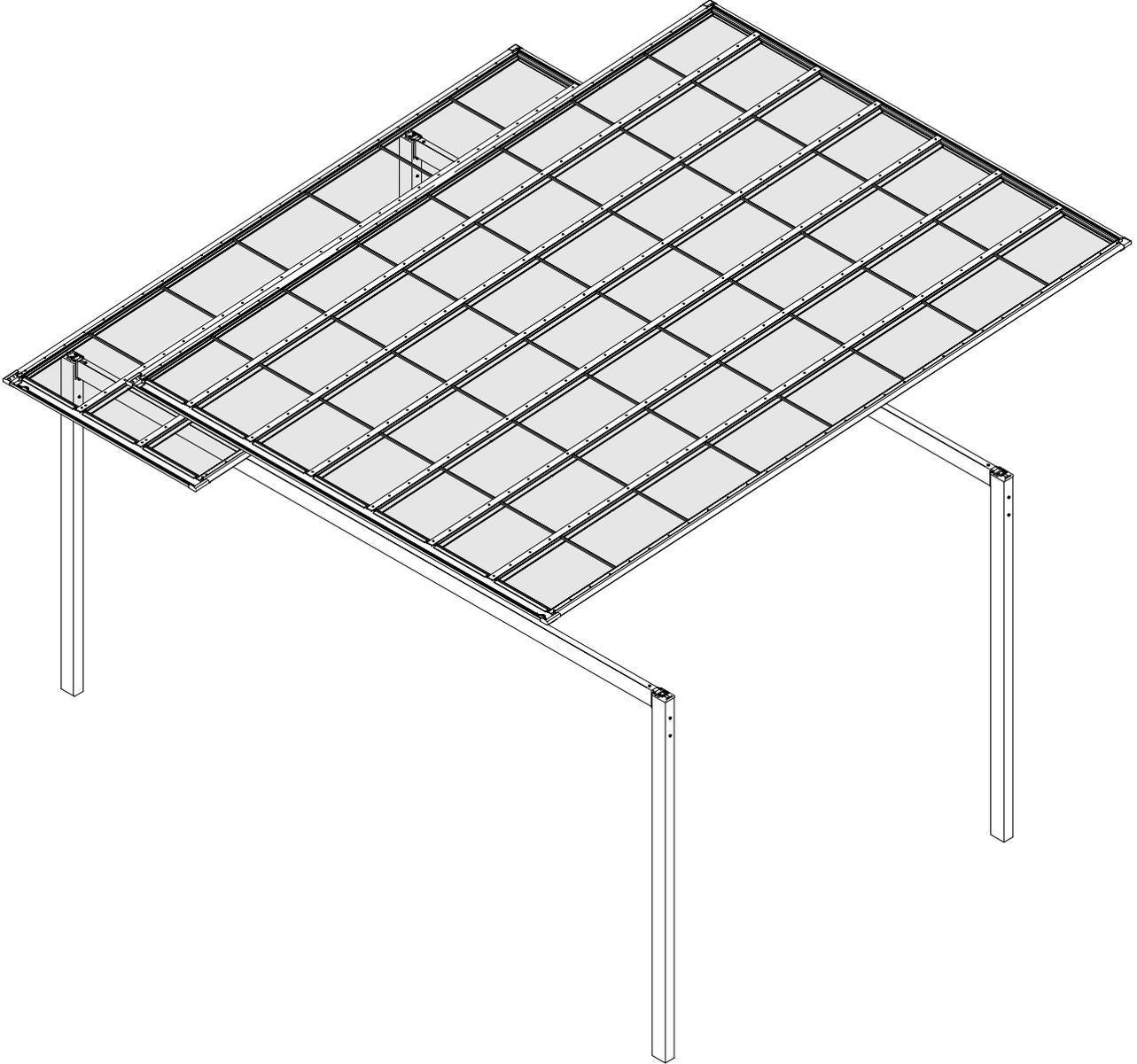


7 基本側の屋根の取付け 2台用・3台用共通



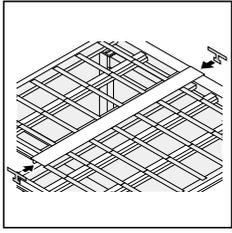
補 足

・各部材の取付け手順は、切詰め側と同様の手順になります。



8 屋根連結部の施工 2台用・3台用共通

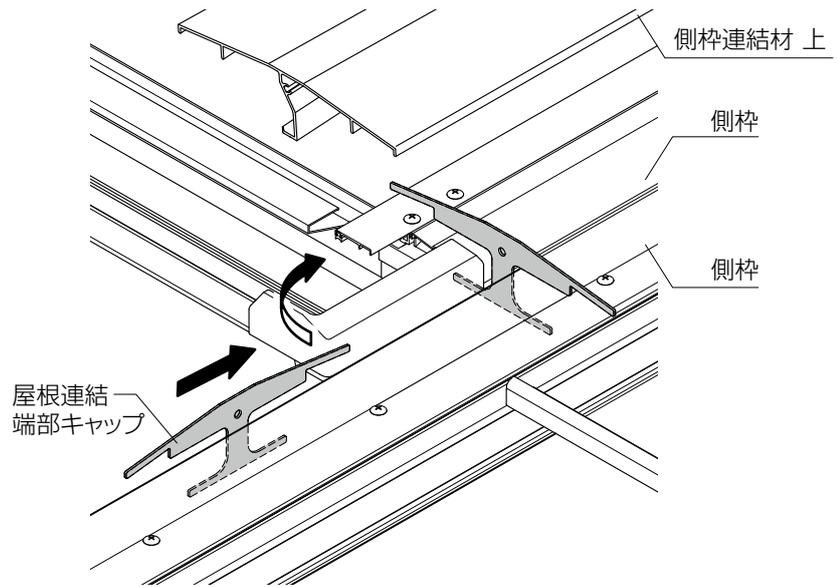
□ 屋根連結端部キャップの仮置き



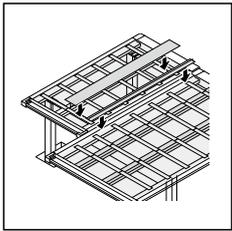
① 屋根連結端部キャップを連結部の側枠と側枠の間に仮配置してください。

補 足

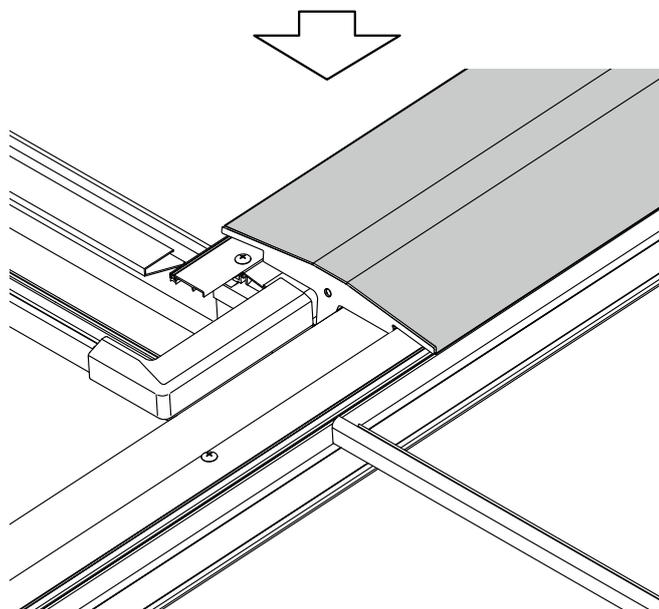
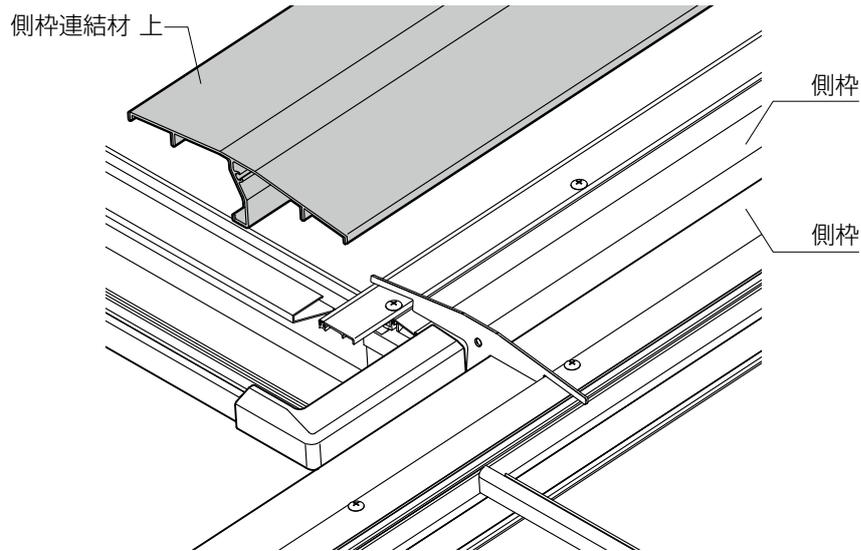
- ・ 前枠側は前枠コーナーキャップのすき間、後枠側は後枠コーナーキャップのすき間に差込み、回転させて仮配置してください。



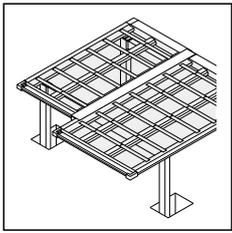
□ 側枠連結材 上の取付け



① 仮置きしてある側枠連結材 上 を側枠と側枠の間に取付けてください。



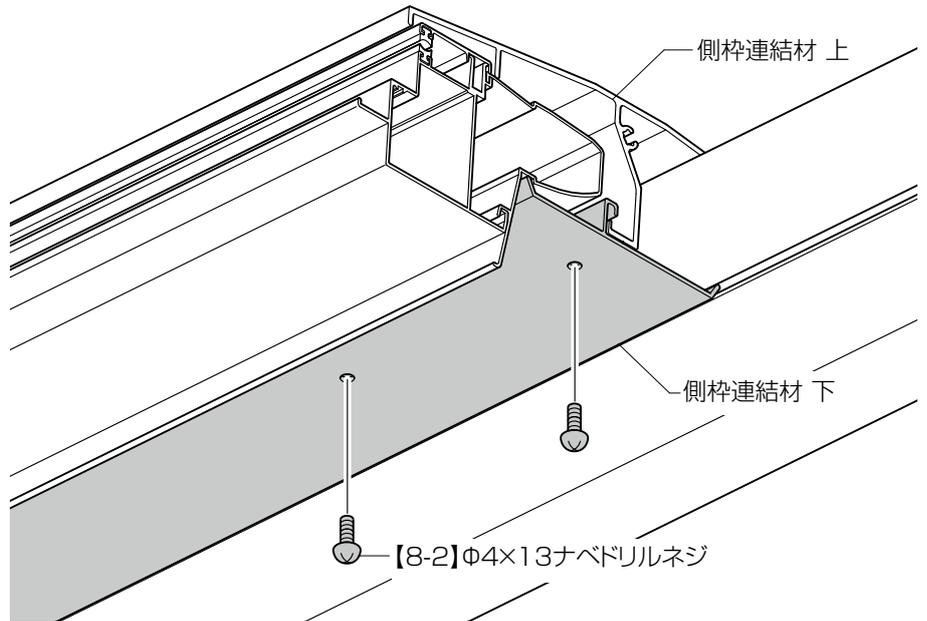
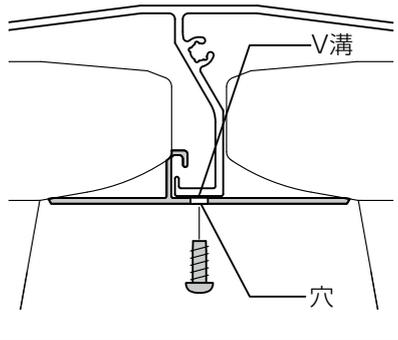
□側枠連結材 下の取付け



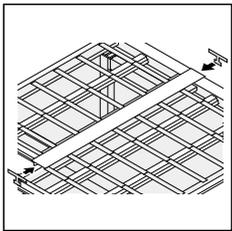
①側枠連結材 上と側枠連結材 下を【8-2】で取付けてください。

お願い

・側枠連結材 下の穴からV溝に向けて【8-2】を取付けてください。



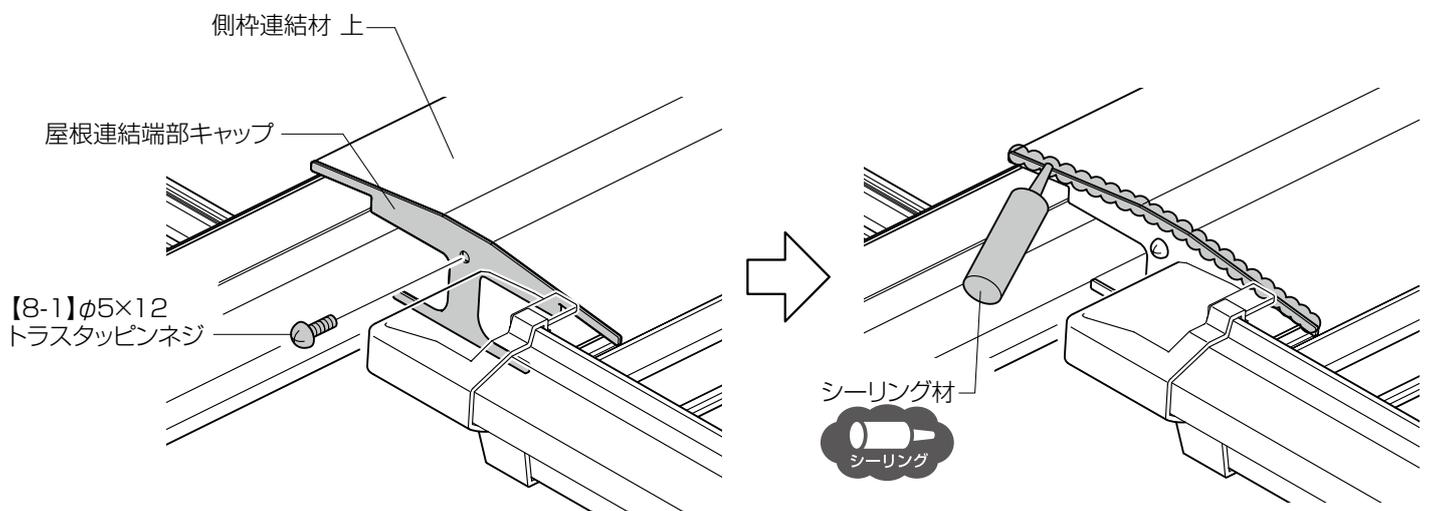
□屋根連結端部キャップの取付け



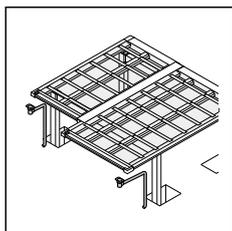
①側枠連結材 上と側枠連結材 下、屋根連結端部キャップを【8-1】で取付けてください。
②側枠連結材 上と屋根連結端部キャップの接合部にシーリングを塗布してください。

お願い

・前枠側、後枠側どちらも同様の手順になります。



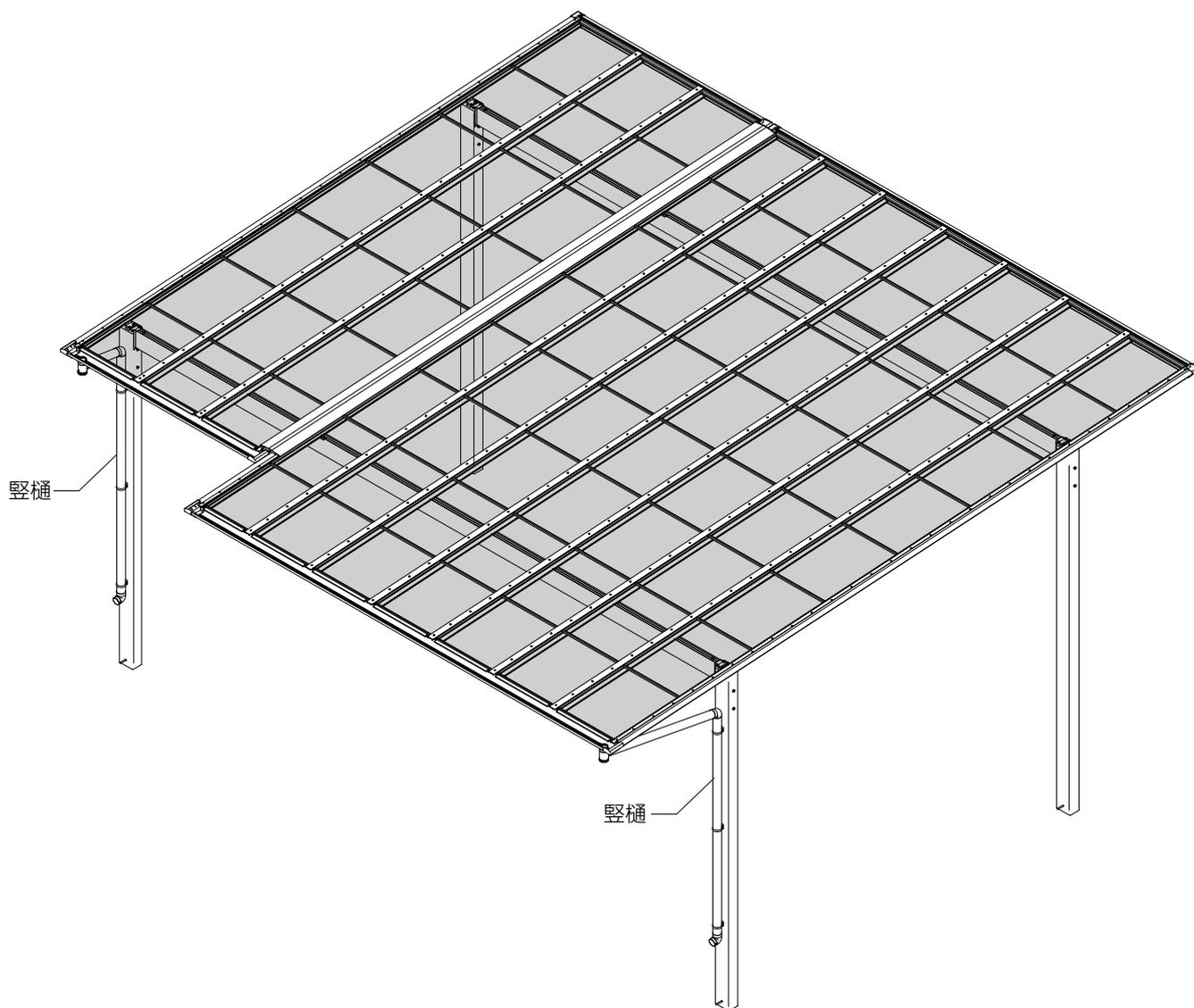
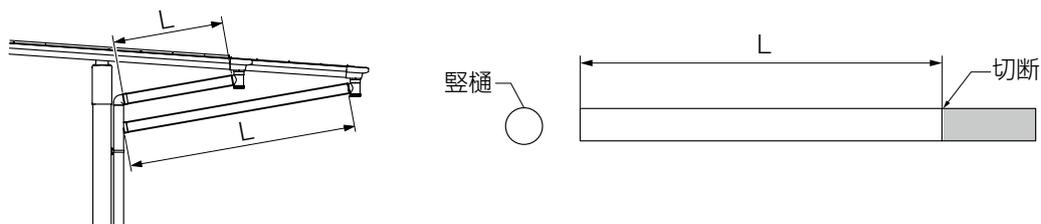
9 縦樋の取付け 2台用・3台用共通



①切詰め側、基本側それぞれの屋根に縦樋を取付けてください。

お願い

- ・取付け方法とシーリングについては、
2台用：フーゴF/ネスカF 2台用 基本・縦連棟 取付説明書 (D588)
3台用：フーゴF3台用 基本・梁延長・柱奥行移動・柱間口移動 取付説明書 (D680)
を参照してください。
- ・2台用は縦樋が追加になります。取付けには【8-3】Φ4×16ナベドリルネジを使用してください。
- ・切詰め量に応じて、勾配部の縦樋の長さが異なります。必要に応じて切詰めてください。



取説コード

D600

JZ630051E
201504A_1039
202511E_1100